

未来を拓く 世界の共創文化都市・金沢

～すべての人々と共に、心豊かで活力ある未来を創る～

未来共創計画



金沢市
令和6(2024)年2月

未来を拓く世界の共創文化都市・金沢

～すべての人々と共に、心豊かで活力ある未来を創る～

未来共創計画

はじめに



近年、頻発する地震や局地的な豪雨など、自然災害が激甚化・多発化する中にあって、令和6年能登半島地震を教訓に、市民の安全・安心の確保に向けた対策のさらなる強化が必要です。また、人口減少・少子高齢化の進展をはじめ、コロナ禍を経た人々の意識や価値観・行動の変容、北陸新幹線の敦賀延伸、東京一極集中の是正に向けた地方都市間の競争など、市政を取り巻く環境が大きく変化する時代の中で、20年先、30年先の将来を見据えた新たなまちづくりの指針が求められています。

このような中、金沢がさらなる飛躍を遂げるためには、先人達が培ってきた歴史や伝統、文化芸術はもちろん、まちづくりの規範や、公私協働を重んじる市民の精神性など、人々の暮らしの中に息づく金沢の「文化」を未来に継承しつつ、時代の要請に応えながら変革していくなければなりません。

多様性や柔軟性に価値を求め、あらゆる分野において本市独自の取組を探究し、世界への発信を強化することが大切であり、しなやかに、心豊かで活力ある未来の金沢を、市民や多様な主体の皆様と共に創り上げていきたいという想いを込め、金沢市都市像「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」(令和5年12月15日議決)を策定しました。

本都市像では、「魅力づくり」、「暮らしづくり」、「人づくり」、「仕事づくり」、「都市づくり」の5つの分野からなる基本方針とともに、各分野の横断的視点として、文化の活用、多様な人々の視点・活力の活用、デジタル化の推進を掲げています。こうした都市像の実現に向けた行動計画として、ここに「未来共創計画」を策定したものであり、その実践に全力を尽くしてまいります。

結びに、金沢市都市像及び未来共創計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提案をお寄せいただいた市民の皆様、ご協力いただいた関係各位に厚く感謝を申し上げます。

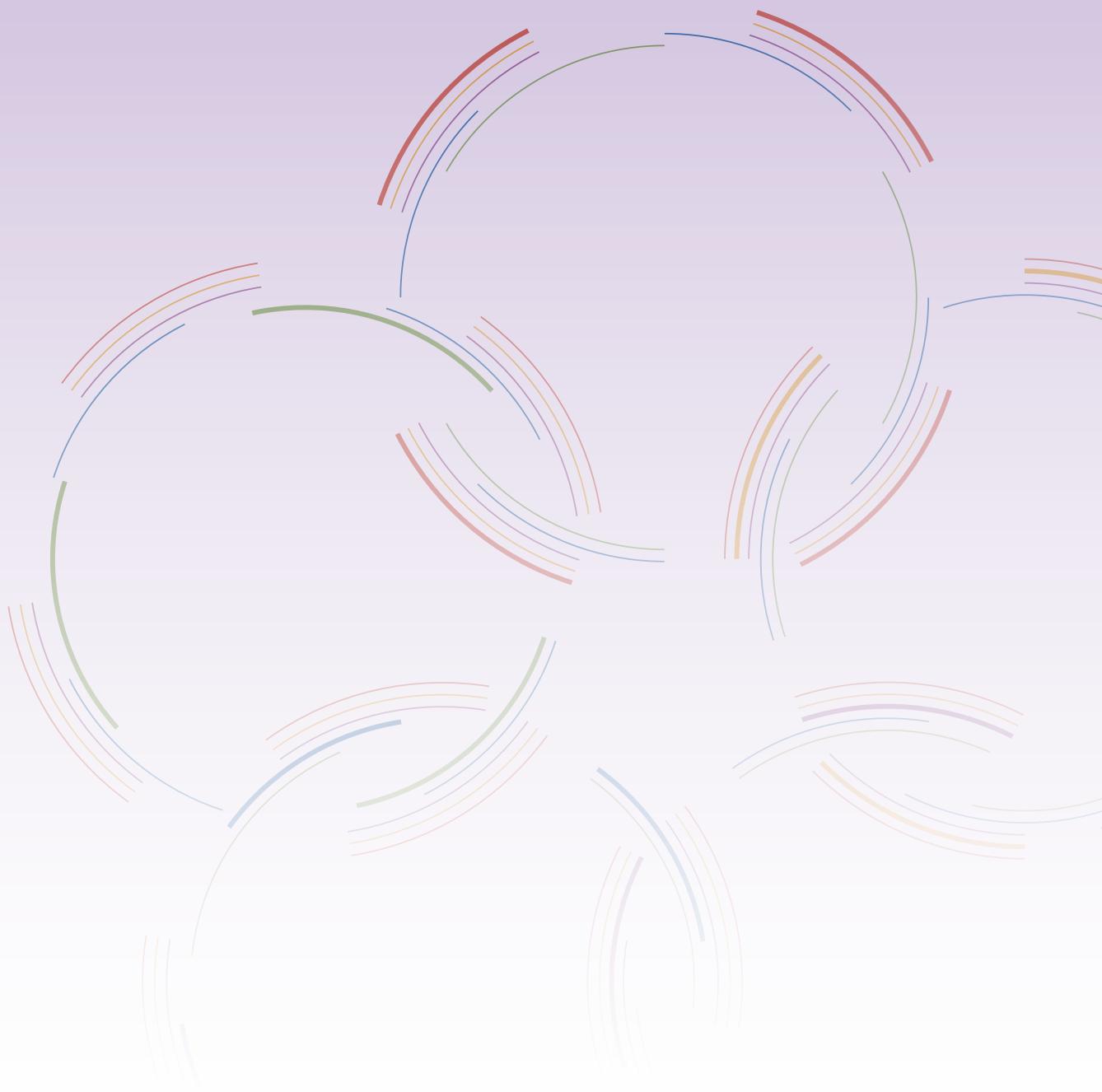
令和6年2月

金沢市長 村山 卓

目 次

I	金沢市都市像	1
II	未来共創計画の概要	11
III	基本方針ごとの主な施策	15
基本方針 1	世界に誇る伝統と創造の文化が息づくまち ～魅力づくり～	17
基本方針 2	多様な人々が共生し、心豊かに暮らせるまち ～暮らしづくり～	43
基本方針 3	共に学び、未来を創る人を育むまち ～人づくり～	67
基本方針 4	創造・変革により成長するまち ～仕事づくり～	87
基本方針 5	活力と個性があふれ、安全で持続可能なまち ～都市づくり～	113
IV	令和6年能登半島地震を教訓とした 災害対応力の強化と公共インフラの強靭化	145
V	KPI(重要業績評価指標)一覧	149
VI	持続可能な開発目標(SDGs)	155
	資料編	159
	策定経過	
	市民や多様な主体からの意見聴取【令和4年度の取組】	
	策定に向けた検討【令和5年度の取組】	
	用語解説	

I 金沢市都市像



金沢市都市像

1 趣旨

国際社会は、今、不確かで予見が難しい時代にあります。グローバル化・ボーダーレス化は、諸問題を複雑化させており、さらに地球規模での気候変動や平和秩序の低下は、国際社会の様々な矛盾を顕在化させています。

我が国にあっては、国際社会と連関した問題の解決がより難しくなっているほか、人口減少や少子高齢化、東京一極集中など、固有の問題が依然として大きく横たわっており、その解決への道筋は、いまだ不透明な状況にあります。

他方、国内外の影響を受けながらも、都市自治体は、国家間の対立や制約からは一線を画し、視座を世界に据えれば、「ユネスコ創造都市ネットワーク」や「東アジア文化都市」にみられるように、国際舞台において自らの個性や価値を主張することができます。また、各国からの旅行者が東京や京都のみならず、地方都市にも多く来訪している実状に鑑みれば、人々は既に国ではなく、都市を選んでいると言っても過言ではありません。

このような時代だからこそ、^{けう}希有な歴史を有し、独自の発展を遂げてきた金沢が新たな高みへと飛躍するため、市政を取り巻く環境の変化を踏まえ、20年先、30年先の将来をも見据えつつ、おおむね10年後の令和16(2034)年を目標年次とする新たなまちづくりの指針として、金沢市都市像を策定するものです。

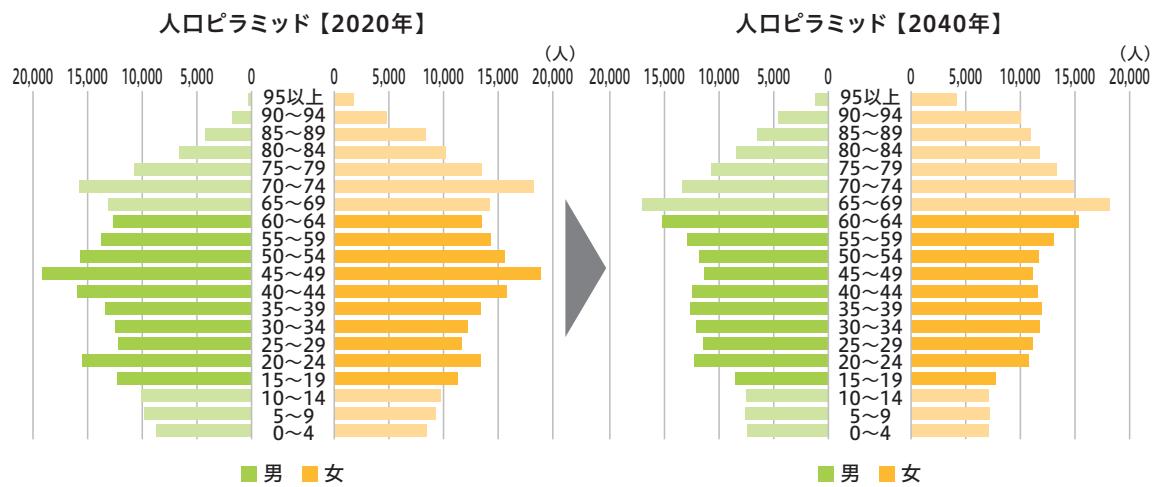
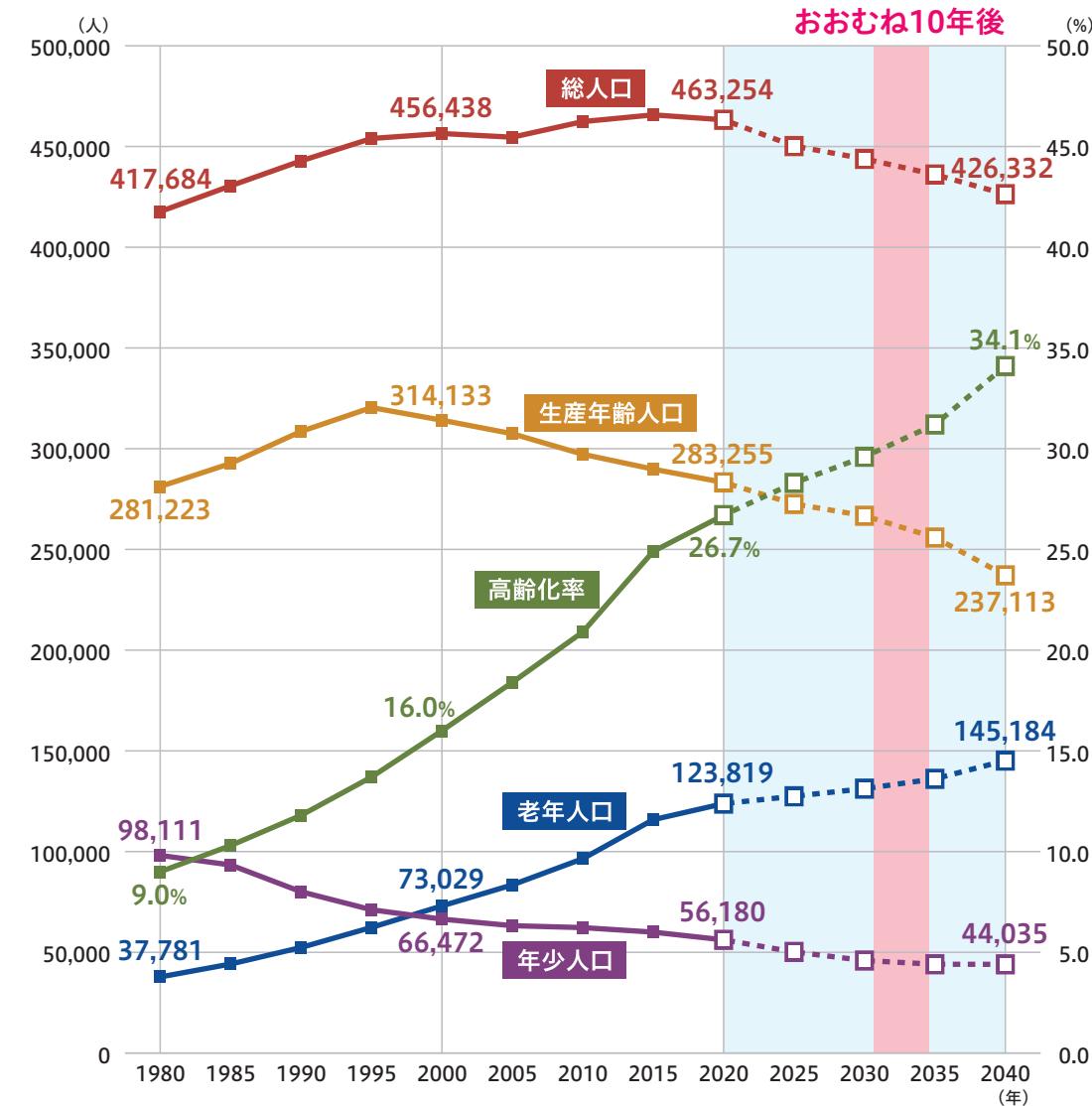
なお、本市では、昭和60(1985)年に「金沢市基本構想」を策定し、これを市政運営における最上位の basic concept として継承してきました。ここに掲げられた「市民主体」、「豊かな人間環境の構築」及び「国際的文化産業都市」の三つの理念は、金沢の歴史や個性、価値観などを礎とした普遍的な考え方であり、引き続き、継承していきます。

2 市政を取り巻く環境の変化

(1) 人口減少・少子高齢化の進展

我が国では、世界に類を見ない速度で人口減少・少子高齢化が進展しています。本市においても、国全体の動向に追随する形で推移しており、公共施設の統合や公共交通網の再編、これに伴う地域活力の低下が懸念されるほか、地域経済をはじめ、福祉、教育、地域コミュニティなど、あらゆる分野で、担い手不足などの課題が顕在化しています。

金沢市の総人口・年齢3区分別人口・高齢化率の推移

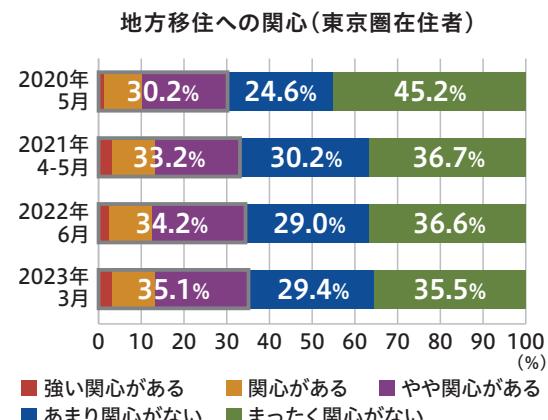
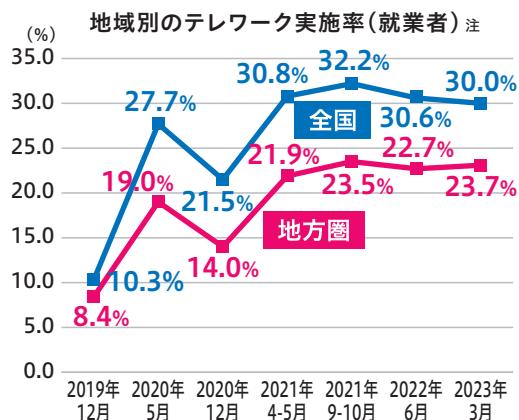


出典:2020年までは国勢調査、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(2) 新型コロナウイルス感染症による変化

新型コロナウイルス感染症は、デジタル分野における急速な技術革新を背景に、人々の価値観や行動を大きく変化させました。働き方や住まい方の多様化が進み、多地域居住や地方移住への関心が高まったほか、電子商取引をはじめ様々な場面でデジタルやオンラインの活用が進んでいます。

新型コロナウイルス感染症による変化



出典:新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査(内閣府)

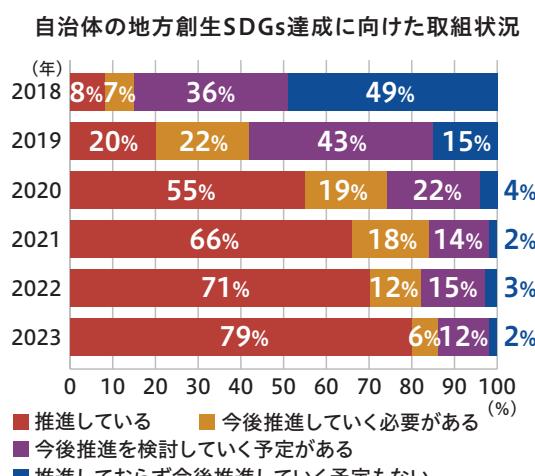
注:「テレワーク(ほぼ100%)」、「テレワーク中心(50%以上)で定期的に出勤を併用」、「出勤中心(50%以上)で定期的にテレワークを併用」、「基本的に出勤だが不定期にテレワークを利用」のいずれかに回答した人の割合。

出典:新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査(内閣府)

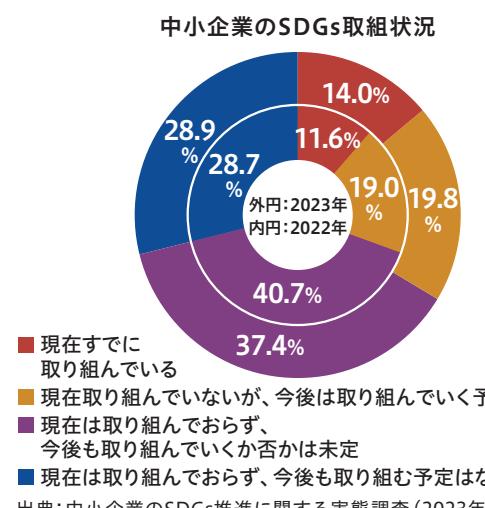
(3) 持続可能な開発目標(SDGs)の達成

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、心と身体の健康が求められる時代にあって、多様性を認め合い、あらゆる人々が心豊かに幸せを感じられる社会を実現するとともに、脱炭素社会への移行に向けた取組を進める必要性が高まっています。

SDGsに関するグラフ



出典:SDGsに関する全国アンケート調査(内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局・内閣府地方創生推進事務局)



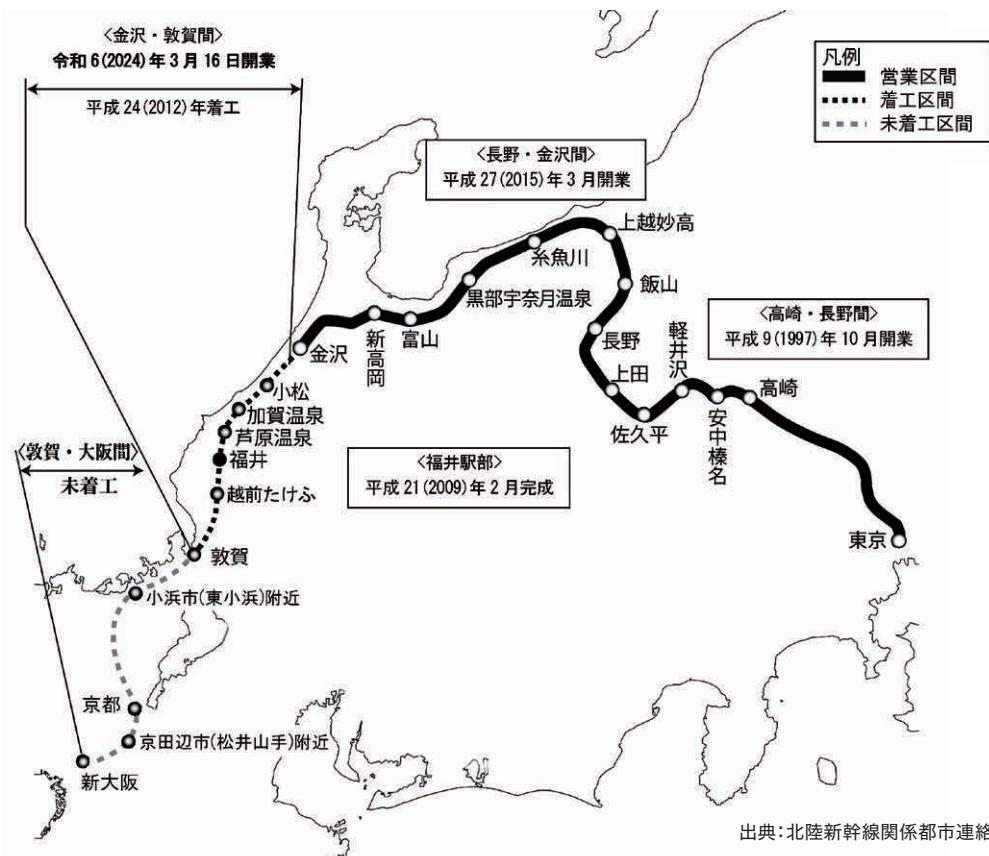
出典:中小企業のSDGs推進に関する実態調査(2023年)アンケート調査報告書(独立行政法人 中小企業基盤整備機構 広報・情報戦略統括室 総合情報戦略課)

(4) 北陸新幹線延伸の好機と都市間競争の激化

北陸新幹線の敦賀延伸を「第二の開業」と位置付け、交流人口の拡大に取り組むことはもとより、これを好機と捉え金沢の拠点性を高めるなど、大阪までの全線開業をも見据えた対応が求められています。

また、東京一極集中の是正に向けて、地方都市の存在理由・成長が求められる時代にあって、都市間競争が激しさを増す中、日本海国土軸における主要都市である金沢は、そのリーダーとしての役割が期待されています。

北陸新幹線 駅・ルート図



出典:北陸新幹線関係都市連絡協議会

(5) 安全・安心な都市の構築

気候変動の影響による局地的な豪雨や頻発する地震など、自然災害への備えが国家的な課題となっています。本市においても、防災・減災機能の強化とともに、地域との協働による減災体制の強化が重要です。

「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」

～すべての人々と共に、心豊かで活力ある未来を創る～

金沢の個性は「文化」にあります。藩政時代より本市固有の歴史に培われてきた「芸能」、「工芸」、「食」などの伝統文化が、先人たちの不断の努力により磨き高められながら連綿と継承されてきました。また、革新の息吹が吹き込まれ、独自の展開を見せており、文化芸術もあります。近年、「スポーツ」や「建築」、「木」などを価値付けすることで、新たな文化として市民とともに育てています。

他方、「文化」は「年月を経て形成される、人と暮らしに関わるすべてのもの」と広く捉えることができます。このような文化の本質に鑑みると、まちや市民が培ってきた規範や精神性も、金沢の「文化」と言えます。

金沢のまちは、豊かな自然や風土とともに、街路や用水、歴史遺産などの都市景観、すなわち文化的景観の保全により、良好な雰囲気が醸し出されています。そのことは、「保全と開発の調和」という、まちづくりの規範にもつながっており、「まちづくりの文化」とも言えます。また、いわゆる「金沢方式」もその現れです。善隣館や義勇消防を起源とする地域コミュニティの連帯に、公私協働を重んじる市民の精神性が見られます。「金沢しぐさ」と称される所作や言葉などにも、それは息づいており、そこには、風流さや奥ゆかしさ、相手を思いやる気持ちとともに、格式を重んじるこだわりが体現されています。

金沢に「住む人」の多くは、それらを自らのアイデンティティの源として、誇りと愛着を感じてきました。また、金沢に「訪れる人」の多くは、「文化」の奥深さを体感し、良好な雰囲気が醸し出されるまちのたたずまいを感じ取ることができます。これらを総合したとき、このような広義の「文化」こそが、世界にも通用する「金沢らしさ」の源泉と言えます。この個性を、将来にわたって継承するとともに、そこに住むすべての人にとって共通の拠り所として、市民生活や経済活動のみならず、福祉、環境、教育などの各般に、より一層身近なものとして生かしていく必要があります。すなわち、「魅力づくり」では、誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実や、ほんものの文化の魅力発信による都市ブランド力の向上などに取り組むほか、「暮らしづくり」では、地域への誇りと愛着の醸成や心身の健康増進などに、「人づくり」では、次代の担い手育成や豊かな心と創造力を育む情操教育などに、「仕事づくり」では、産業との融合による新たな価値の創造などに、「都市づくり」では、魅力あふれる中心市街地の活性化や品格ある都市景観の形成などに広く「文化」を生かし、文化都市の名にふさわしいまちの礎を確立します。

また、金沢が革新の息吹を取り入れながら、様々な時代を乗り越えて発展してきたように、不確かで予見が難しい現代にあっては、今に息づく「文化」を基軸に、多様であることや柔軟であることにも価値を求め、常に新たな風を加えることも大切です。そのため、高等教育機関の知見をはじめ、若い世代や民間事業者、移住者など、地域に関わる多様な人々の視点や活力を取り入れるとともに、あらゆる分野において、誰一人取り残さない金沢独自の取組を探究し、これを「新たなまちづくりの文化」へと昇華させることで、しなやかに、心豊かで活力ある未来の金沢を、すべての人々と共に創りあげていきます。

各分野への横断的視点

本市の
文化を強みに多様な分野への活用

若い世代、民間事業者、移住者など、地域に関わる
多様な人々の視点や活力の活用

あらゆる分野における
デジタル化の推進

基本方針

1

世界に誇る
伝統と創造の文化が
息づくまち
～魅力づくり～

基本方針

2

多様な人々が共生し、
心豊かに
暮らせるまち
～暮らしづくり～

基本方針

5

活力と個性があふれ、
安全で
持続可能なまち
～都市づくり～

基本方針

4

創造・変革
により
成長するまち
～仕事づくり～

基本方針

3

共に学び、
未来を創る人を
育むまち
～人づくり～

新たなまちづくりの文化へと昇華

多様な人々の視点や活力の取込 誰一人取り残さない金沢独自の取組の探究

金沢の文化

- ・先人たちの不断の努力により磨き高められながら連綿と継承されてきたもの
- ・革新の息吹が吹き込まれ、独自の展開も見せている文化芸術
- ・市民が培ってきた規範や精神性、年月を経て形成される、人と暮らしに関わるすべてのもの

4 基本方針

基本方針 ① 世界に誇る
伝統と創造の
文化が息づくまち
～魅力づくり～

- (1) 誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実
 - ・文化芸術に触れる機会の充実
 - ・デジタル技術を生かした文化の共有
 - ・文化芸術に携わる多様な主体の活動支援
 - ・文化芸術・スポーツの活動基盤の整備と利用促進 など
- (2) 歴史と伝統に培われた文化の継承・発展
 - ・伝統文化の担い手・支え手の育成
 - ・金澤町家や用水など伝統あるまちなみの継承・向上
 - ・文化財・歴史遺産を生かした魅力の向上 など
- (3) まちの品格を高める新たな文化の創造
 - ・歴史と伝統に根差した質の高い文化のさらなる魅力創造
 - ・仕事・学び・暮らしの中で文化を身近に感じ教養を高める環境の創出
 - ・スポーツ文化、建築文化、木の文化など多様な文化の振興 など
- (4) 世界の人々が憧れ滞在したくなる都市ブランド力の向上
 - ・住む人と訪れる人がまちの価値を共有し共に高めていく機会の充実
 - ・歴史と伝統に裏打ちされたほんものの魅力の創造・発信による文化観光の推進
 - ・世界が認める食文化と金沢クラフトの発信
 - ・来街者の満足度を高める受入環境の充実・強化と交流の促進 など

各分野への横断的視点

本市の 文化を強みに多様な分野への活用

若い世代、民間事業者、移住者など、地域に関わる 多様な人々の視点や活力の活用

あらゆる分野における デジタル化の推進

基本方針 ② 多様な人々が
共生し、心豊かに
暮らせるまち
～暮らしづくり～

- (1) 多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成
 - ・民間事業者や学生など多様な主体の活躍と世代間の連携による地域コミュニティの活性化
 - ・地域への誇りや愛着を醸成する地域活動への参加促進
 - ・持続可能なコミュニティを支える基盤の強化 など
- (2) 誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現
 - ・豊かな福祉コミュニティの継承と福祉意識の高揚
 - ・人と人・人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進
 - ・年齢や性別、障害の有無、国籍などに関わりなく多様性を認め合う共生社会の実現
 - ・デジタル技術の活用による福祉サービスの充実・強化 など
- (3) 心身ともに健やかに暮らせる健康都市の推進
 - ・未病対策の推進と健康を守る環境の整備
 - ・医療体制の充実と健康危機管理体制の強化
 - ・文化芸術・スポーツ活動を通じた健康増進 など
- (4) 人と自然が共生する地球にやさしい生活環境の形成
 - ・ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素化の推進
 - ・ごみの減量と資源循環の推進
 - ・自然環境の保全と次世代への継承 など

基本方針 ③ 共に学び、
未来を創る人を
育むまち
～人づくり～

- (1) 妊娠・出産から子どもの成長に合わせた切れ目のない支援
 - ・地域・各種団体・企業等との連携・協力による子育て環境の充実
 - ・すべての子どもの健やかな成長の支援
 - ・教育・福祉の連携による総合支援体制の強化 など
- (2) すべての子どもの可能性を引き出し生きる力を育む教育の実践
 - ・特色ある教育モデルの構築と実践
 - ・誰一人取り残さない子どもの学びへの支援
 - ・魅力ある教育施設の整備と学習環境の充実 など
- (3) 学都の強みを生かした次代の担い手育成
 - ・学生のまちへの愛着の醸成
 - ・未来を担う若い世代の社会参画の促進
 - ・高等教育機関との連携による人材の輩出と学術活動に資する基盤・施設整備 など
- (4) 学びの文化の形成と情操教育の推進
 - ・地域の歴史・文化を学ぶ機会の充実
 - ・生涯を通じて学び続ける環境の整備
 - ・文化芸術体験による豊かな心と創造力の育成 など

基本方針 **創造・変革**
 4 により
成長するまち
 ~仕事づくり~

基本方針 **活力と個性があふれ、**
 5 **安全で**
持続可能なまち
 ~都市づくり~

**(1) 地域経済をけん引する
新たな産業の創出・育成**

- ・DX・GXの推進と文化・産業の融合による産業活性化
- ・産学官金の連携による付加価値の高い産業の創出
- ・起業などに挑戦する学生・若い世代・女性等への支援の充実
- ・金沢発のイノベーションを誘発する企業・クリエイターの誘致 など

**(2) あらゆる世代の多様な
人材の活躍と
働き方の推進**

- ・誰もが活躍でき働きがいを感じられる環境の実現
- ・高度な専門知識と技能を有する人材の育成とグローバル化への対応強化
- ・デジタル人材の育成や技能の学び直しによる企業の生産性向上 など

**(3) にぎわいのある商業環境の
形成とものづくり産業の
継承・発展**

- ・社会の要請や住民ニーズに即した多角的な商店街機能の構築
- ・次代を担う産業人材の育成・確保と事業承継への支援
- ・世界を意識した戦略的な市場開拓への支援
- ・金沢の個性である伝統工芸品産業の継承と振興への支援 など

**(4) 次代につなぐ魅力ある
農林水産業の振興**

- ・多様な担い手の育成・確保と経営基盤の強化
- ・先端技術の活用による生産技術の継承・向上
- ・地元農水産物のブランド力向上と金沢産材の普及促進
- ・豊かな食文化を支える物流環境の整備 など

**(1) 魅力あふれる
中心市街地の活性化**

- ・骨格となる都心軸の再興
- ・多様な文化活動と地域経済が循環する中心市街地の形成
- ・居心地よく過ごせる空間の創出と魅力ある歩行環境の整備
- ・老朽ビルの更新や再開発などによるまちなかの価値向上 など

**(2) 歴史や自然と調和した
都市景観の形成**

- ・歴史に培われた景観の保全と創出
- ・無電柱化による良好な景観形成
- ・市民との協働による緑の資産の保全・継承 など

**(3) 人と活力の還流による
地域の再生**

- ・移住・定住の促進や関係人口の拡大による地域活性化
- ・外部人材の誘致・活用と地域を担うリーダーの育成
- ・田園・中山間地域における交流拠点の形成 など

**(4) 市民生活を支える
交通ネットワークの確保**

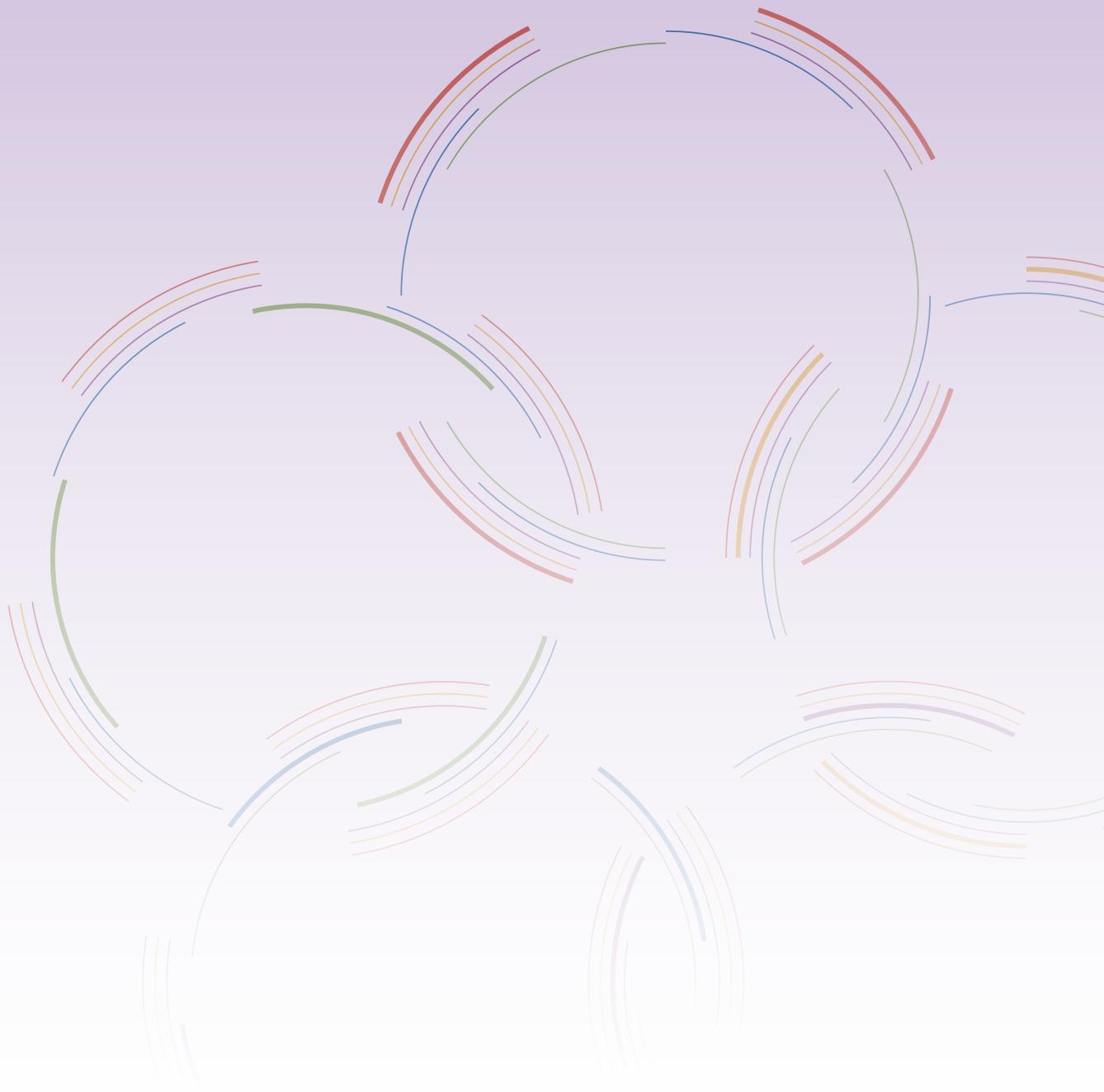
- ・快適で安全な交通利用環境の向上と交通機能の連携強化
- ・公共交通の利用促進と交通行動の転換
- ・人流・物流の円滑化・安定化に向けた広域交通基盤の充実 など

**(5) 災害に強く効率的で
質の高い都市運営の実践**

- ・地域との協働による安全・安心の確保
- ・都市防災機能の向上と快適な生活環境の形成
- ・都市施設の再編と跡地等の有効活用
- ・デジタル技術の活用や広域連携の強化による行政サービスの充実 など



II 未来共創計画の概要



未来共創計画の概要

1 計画の位置付け

本市のまちづくりの指針である金沢市都市像「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」の実現に向けた行動計画として、「未来共創計画」を策定しました。

なお、本計画は、都市像に掲げる5つの基本方針ごとに講じるべき主要な施策を取りまとめた市政運営の最上位計画です。

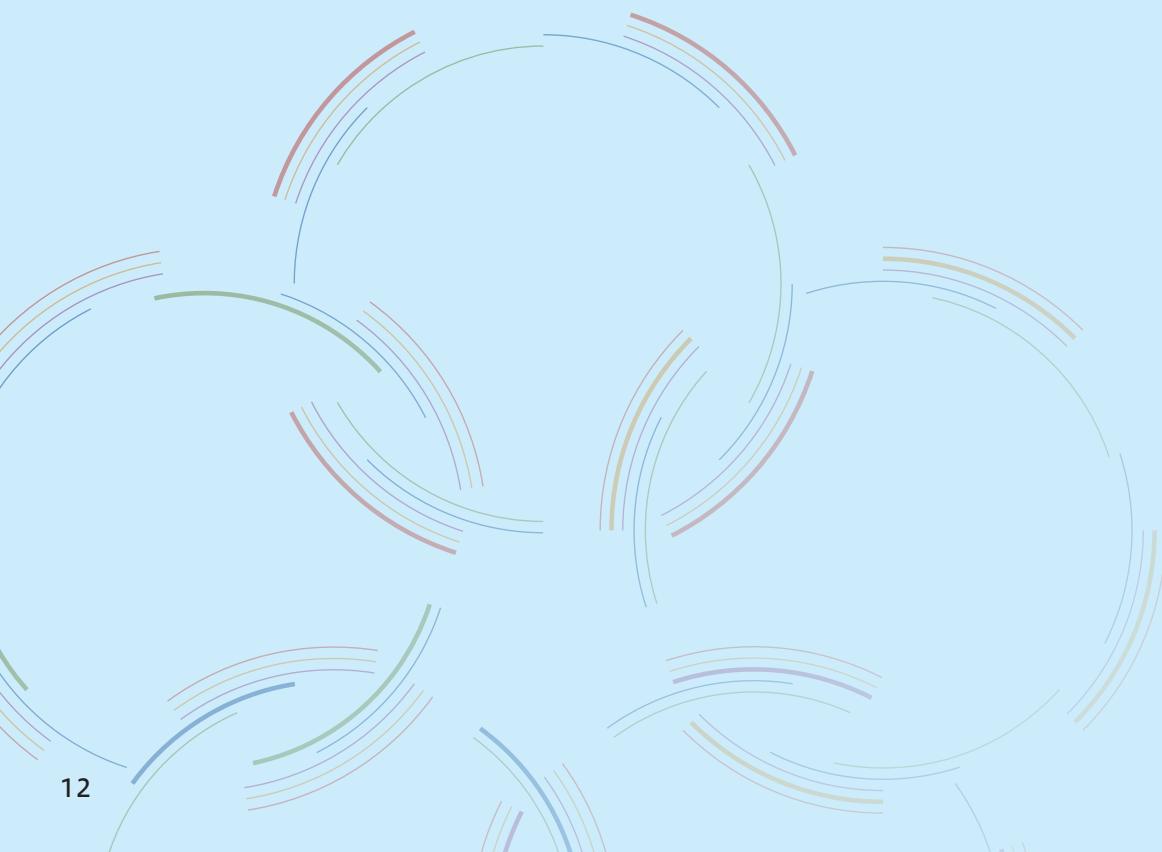
2 計画期間

本計画の計画期間は、令和6（2024）年度から令和15（2033）年度までの10年間とし、計画期間内においては、前進期（2年間）・充実期（4年間）・発展期（4年間）の3段階に設定します。

3 KPI（重要業績評価指標）

5つの基本方針に掲げる施策方針ごとに、取組の進捗や成果を測るためのKPIを設定することとし、毎年度実施する「市民意識アンケート調査」により把握する市民の意識や行動、満足度などを示す「市民意識指標」と、取組の直接的な成果や進捗状況を示す「施策指標」で構成します。

なお、KPIは、アウトプット（取組や活動の主体が実施したこと：活動量）だけでなく、アウトカム（活動が働きかけた対象の側に起きる変化：成果）の視点を盛り込みます。



4

進捗管理と計画の見直し

KPIを活用し、Plan(計画) - Do(実施) - Check(評価) - Action(改善)のサイクル(PDCAサイクル)に沿って計画の進捗管理を行い、効果的・効率的に取組を推進します。

また、策定後の社会経済情勢や市民ニーズの変化等に柔軟に対応できるよう、前進期・充実期における評価やKPIの中間目標値の達成状況を勘案しつつ、計画を見直します。

加えて、毎年度、計画の進捗状況等を把握するとともに、予算とも連動を図りながら、施策の追加や見直しを行います。



5

令和6年能登半島地震を教訓とした災害対応力の強化と 公共インフラの強靭化

市民の安全・安心の確保を図るため、令和6年能登半島地震の教訓を踏まえた災害対応力の強化等に向けた施策を本計画に反映することとします。

6

推進体制

本計画の着実な実践に向け、市長を本部長とする庁内横断組織「共創文化都市推進本部」を設置し、全庁的に取組を推進します。

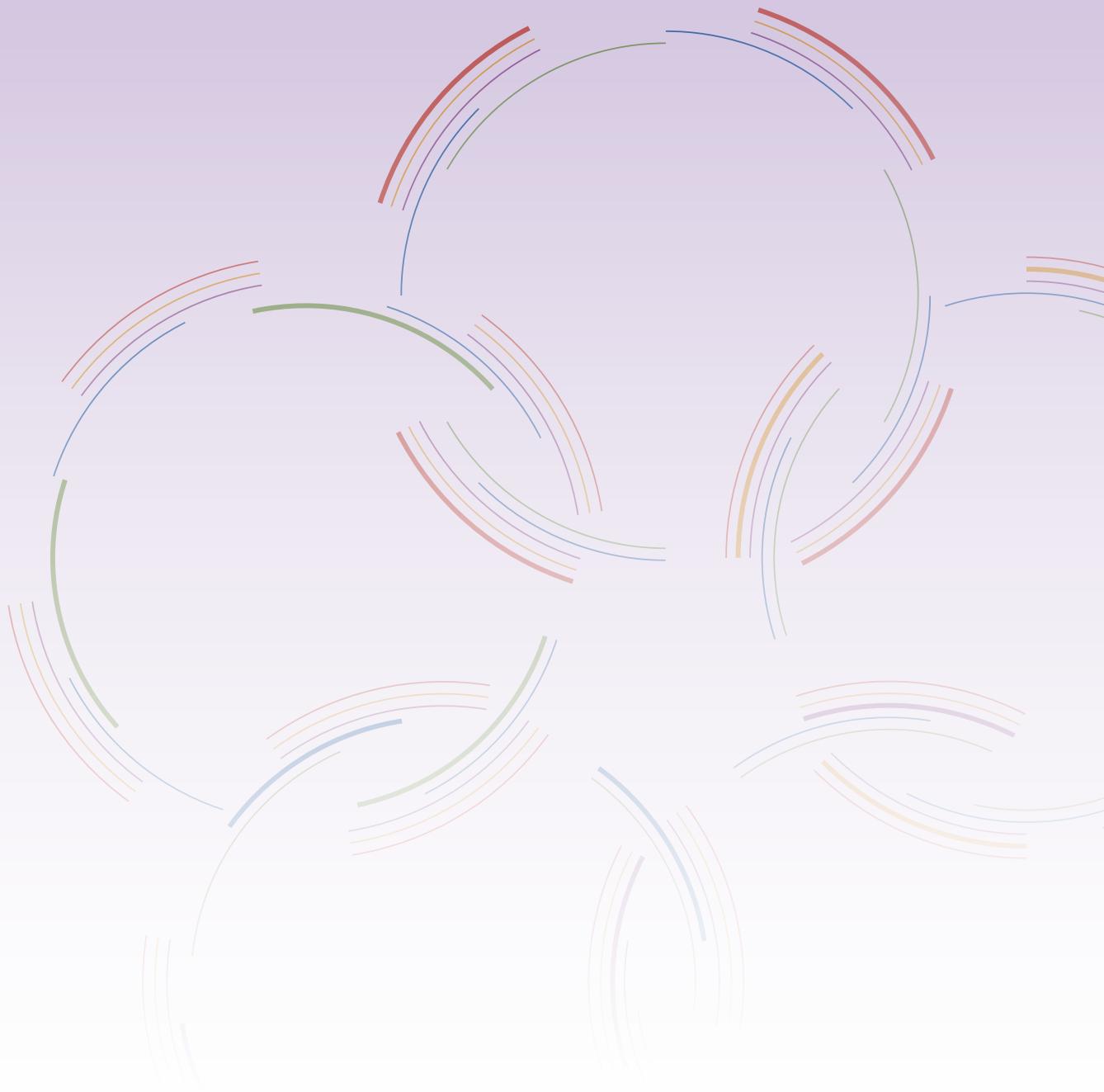
本部長：市長 副本部長：両副市長

本部員：都市政策局長、総務局長、文化スポーツ局長、経済局長、農林水産局長、

市民局長、福祉健康局長、こども未来局長、環境局長、都市整備局長、

土木局長、危機管理監、会計管理者、教育長、消防長、公営企業管理者、市立病院事務局長

III 基本方針ごとの主な施策



基本方針 ① 世界に誇る伝統と創造の文化が息づくまち ~魅力づくり~ 17

施策方針 1 誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実

施策方針 2 歴史と伝統に培われた文化の継承・発展

施策方針 3 まちの品格を高める新たな文化の創造

施策方針 4 世界の人々が憧れ滞在したくなる都市ブランド力の向上

基本方針 ② 多様な人々が共生し、心豊かに暮らせるまち ~暮らしづくり~ 43

施策方針 1 多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成

施策方針 2 誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現

施策方針 3 心身ともに健やかに暮らせる健康都市の推進

施策方針 4 人と自然が共生する地球上にやさしい生活環境の形成

基本方針 ③ 共に学び、未来を創る人を育むまち ~人づくり~ 67

施策方針 1 妊娠・出産から子どもの成長に合わせた切れ目のない支援

施策方針 2 すべての子どもの可能性を引き出し生きる力を育む教育の実践

施策方針 3 学都の強みを生かした次代の担い手育成

施策方針 4 学びの文化の形成と情操教育の推進

基本方針 ④ 創造・変革により成長するまち ~仕事づくり~ 87

施策方針 1 地域経済をけん引する新たな産業の創出・育成

施策方針 2 あらゆる世代の多様な人材の活躍と働き方の推進

施策方針 3 にぎわいのある商業環境の形成とものづくり産業の継承・発展

施策方針 4 次代につなぐ魅力ある農林水産業の振興

基本方針 ⑤ 活力と個性があふれ、安全で持続可能なまち ~都市づくり~ 113

施策方針 1 魅力あふれる中心市街地の活性化

施策方針 2 歴史や自然と調和した都市景観の形成

施策方針 3 人と活力の還流による地域の再生

施策方針 4 市民生活を支える交通ネットワークの確保

施策方針 5 災害に強く効率的で質の高い都市運営の実践



基本方針

1

世界に誇る
伝統と創造の文化が
息づくまち

～魅力づくり～

誰もが文化芸術に 親しむことができる環境の充実

取組の方向性

① 文化芸術に触れる機会の充実

- 伝統文化や音楽、アートなど、多彩な文化芸術プログラムや幼少期からの継続的な文化芸術体験の提供などを通して、より身近に文化芸術に触れる機会の充実を図ります。

② デジタル技術を生かした文化の共有

- 最先端のデジタル技術を活用し、文化施設の魅力や本市で活躍する工芸作家及び職人の作品・技術を広く国内外に発信することで、文化芸術への興味・関心を高め、文化の共有を図ります。

③ 文化芸術に携わる多様な主体の活動支援

- 市民・文化芸術団体・実演家・文化施設・教育機関・民間事業者などの連携・協働の促進に向けた機能の充実・強化を通して、文化芸術に携わる多様な主体の活動を支援します。

④ 文化芸術・スポーツの活動基盤の整備と利用促進

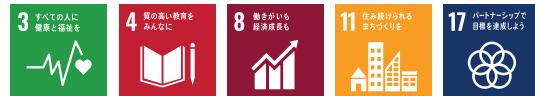
- 文化芸術・スポーツの活動基盤となる施設の整備を推進するとともに、魅力の向上とイベント等を充実し、施設の利用を促進します。



文化芸術イベント



金沢市民芸術村



✿ 主要施策

<p>① 文化芸術に触れる 機会の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じたまちなかでの文化芸術体験の推進 多彩な音楽イベントの開催 子どもの文化芸術体験の機会充実
<p>② デジタル技術を生かした 文化の共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> 金沢ミュージアム⁺の運営 デジタル工芸展の充実
<p>③ 文化芸術に携わる 多様な主体の活動支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> アーツカウンシル金沢の充実・強化
<p>④ 文化芸術・スポーツの 活動基盤の整備と利用促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 金沢市民芸術村のリニューアル 金沢21世紀美術館の魅力向上 地域のスポーツ施設の整備 文化・スポーツ施設におけるイベント等の充実

✿ KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
文化芸術に触れたり体験したりする機会が多いと感じている市民の割合	85.3% (R5年度)	90%以上	90%以上を維持

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
デジタルミュージアムのビュー数	R5年度運用開始	123,000ビュー	198,100ビュー
アーツカウンシル金沢の活動支援件数	93件 (R4年度)	195件	270件
文化芸術活動場所の利用状況	96.5% (R4年度)	95%以上を維持	
市スポーツ施設の利用者数	221.4万人 (R1年度)	235.4万人	240.4万人

主な施策

魅力づくり

1

誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実

 **主要事業**
1 文化芸術に触れる機会の充実
年間を通じたまちなかでの文化芸術体験の推進

年間を通して、市民や来街者がまちなかにおいて文化芸術を気軽に体感できる新たな仕組みを構築し、本市の質の高い文化芸術に触れる機会を創出します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
まちかど文化芸術 プログラムの推進	検討	体制整備・モデル実施・本格実施	

多彩な音楽イベントの開催

クラシック、ジャズ、アカペラのほか、総合舞台芸術であるオペラの上演など、市民や来街者が音楽に親しむことのできるイベントを通して、音楽文化の振興と文化芸術の裾野拡大を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
音楽イベントの開催		推進	
オペラの開催		推進	

子どもの文化芸術体験の機会充実

子どもが気軽に文化芸術を体験できる機会の提供や、伝統文化の子ども塾の開講により、音楽や伝統文化への理解や関心を高めるとともに、将来の担い手の確保・育成を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
子ども向け文化芸術体験 イベントの開催		推進	
子ども塾の開講		推進	

② デジタル技術を生かした文化の共有

金沢ミュージアム⁺の運営

デジタル技術を用いて所蔵品を公開する金沢ミュージアム⁺(プラス)を通して、市民や来街者、研究者等に、文化施設の魅力を発信するとともに、新たな体験を提供します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
デジタル技術を活用した文化施設の魅力発信	公開コンテンツの拡大 英語対応	公開コンテンツの拡大・機能充実	
埋蔵文化財・遺跡のデジタル発信	アーカイブ・公開コンテンツの作成		公開コンテンツの拡大 金沢ミュージアム ⁺ で公開

デジタル工芸展の充実

工芸作家や職人の作品・技術などを世界の人々に発信するデジタル工芸展の内容充実を図り、さらなる工芸の魅力を発信します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
工芸作品などのデジタル発信	拡充		

③ 文化芸術に携わる多様な主体の活動支援

アーツカウンシル金沢の充実・強化

アーツカウンシル金沢の機能強化と担い手や支え手への支援の充実を図り、誰もが文化芸術に親しみ活動しやすい環境を醸成します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
アーツカウンシル金沢の機能強化	専門人材の配置	支援の充実・体制の強化	

④ 文化芸術・スポーツの活動基盤の整備と利用促進

金沢市民芸術村のリニューアル

市民とともに多様な文化芸術活動を支えてきた金沢市民芸術村を次世代に継承していくため、施設のリニューアルに取り組みます。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢市民芸術村のリニューアル	リニューアル調査 構想策定		計画・設計・工事

金沢21世紀美術館の魅力向上

金沢21世紀美術館の大規模修繕を実施することで、建築的価値の維持と良好な鑑賞環境の確保を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢21世紀美術館の大規模修繕	実施設計	修繕工事 リニューアルオープン	

地域のスポーツ施設の整備

市民の多様なスポーツレクリエーションニーズを踏まえ、戸室・内川スポーツ広場や城北市民運動公園を整備するほか、専光寺ソフトボール場については、国際規格に対応した再整備を実施します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
戸室・内川スポーツ広場の整備		施設整備	
専光寺ソフトボール場の再整備		実施設計・再整備	
城北市民運動公園の整備		施設整備	
南総合運動公園の再整備の検討		検討	

文化・スポーツ施設におけるイベント等の充実

文化芸術に触れる機会を拡充するため、芸術文化ホールの魅力を体感できる機会を提供するとともに、ホールのさらなる利用促進を図ります。また、スポーツ施設が集積する城北市民運動公園の立地を生かしたスポーツイベント等の開催により利用促進を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
芸術文化ホールにおける魅力体感イベント等の実施	実施		
金沢スタジアムを中心としたスポーツイベント等の開催	実施		

取組の方向性

① 伝統文化の担い手・支え手の育成

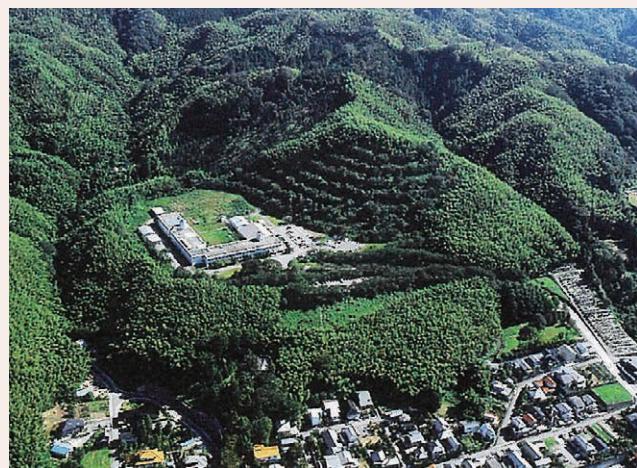
- 職人の高度な技術の継承に向けた体制の強化や、子どもが伝統文化を学ぶ機会の提供などを通して、伝統文化の担い手・支え手を育成します。

② 金澤町家や用水など伝統あるまちなみの継承・向上

- 文化的景観を形成する重要な要素となっている金澤町家の保全・活用や、金沢の特徴的な用水の魅力発信を通して、伝統的なまちなみの継承・向上を図ります。

③ 文化財・歴史遺産を生かした魅力の向上

- 地域全体で文化財・歴史遺産を守り育てる体制を構築するとともに、歴史ある史跡等の保存・活用などに取り組み、文化財・歴史遺産を生かした魅力の向上を図ります。



高尾城跡



金澤職人大学校修了生の活躍



✿ 主要施策

<p>① 伝統文化の担い手・支え手の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 金沢職人大学校の充実・発展 ● 伝統技術の継承と人材の育成 ● 伝統文化の子ども塾の開講 ● 担い手・支え手等の活動・交流機会の創出
<p>② 金澤町家や用水など伝統あるまちなみの継承・向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 金澤町家のさらなる保全・活用 ● 用水のまち・金沢の魅力発信
<p>③ 文化財・歴史遺産を生かした魅力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域全体で文化財・歴史遺産を守り育てる体制の構築 ● 高尾城跡の市史跡指定と活用 ● 金沢湯涌江戸村の整備推進 ● 市指定保存建造物「旧森紙店」の保存・活用

主な施策

魅力づくり

✿ KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
伝統文化が受け継がれていると感じる市民の割合	62.4% (R5年度)	69%	75%
歴史的な建造物やまちなみが保全・活用されていると感じる市民の割合	89.6% (R5年度)	90%以上	90%以上を維持

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
特定金澤町家の登録件数【累計】	171件 (R4年度までの累計)	290件	390件
国・県・市指定文化財件数【累計】	568件 (R4年度までの累計)	580件	590件
「地域のお宝」認定件数【累計】	9件 (R4年度までの累計)	21件	31件



主要事業

① 伝統文化の担い手・支え手の育成

金沢職人大学校の充実・発展

金沢職人大学校の機能・組織力の強化を図るとともに、全国に向けたさらなる情報発信により、修了生の活躍の機会を拡大します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢職人大学校の機能強化	機能強化計画の策定・具現化		修了生の活躍拡大

伝統技術の継承と人材の育成

薦掛けや伝統工芸品などの技術の継承を支援するとともに、後継者の育成に取り組みます。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
薦づくりの担い手育成	検討		
伝統工芸品の技術の継承		推進	

伝統文化の子ども塾の開講

「加賀宝生」「金沢・茶道」「金沢工芸」「金沢素囃子」の各子ども塾を開講し、伝統文化の担い手確保・育成を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
子ども塾の開講【再掲】		推進	

担い手・支え手等の活動・交流機会の創出

文化芸術の担い手の活躍の場を拡大し、支え手との新たな交流機会を創出します。また、工芸の作り手から学ぶつなぎ手を育成し、販売に結びつける取組を強化します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
アーティストのアウトリーチ活動の推進		推進	
工芸の作り手と使い手をつなぐ環境の整備		推進	

② 金澤町家や用水など伝統あるまちなみの継承・向上

金澤町家のさらなる保全・活用

金沢らしい歴史的なまちなみ景観を保全・継承するため、金澤町家のさらなる保全・活用を促進するとともに、現代の生活スタイルやニーズに対応した「かなざわ新町家」の周知・啓発を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
所有者や事業者による保全・活用の促進	意識啓発		
特定金澤町家の登録		推進	
「かなざわ新町家」の周知・啓発	ガイドライン作成 説明会開催		協力事業者への支援 新町家の創出促進

用水のまち・金沢の魅力発信

多様な人々や主体との連携により、ドローンなど先端技術や新たな視点を取り入れ、用水のまち・金沢の魅力を発信します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
多様な主体との連携による用水の魅力発信		動画作成・配信、魅力体験実施	
まちなみにおける用水景観の創出		推進	

③ 文化財・歴史遺産を生かした魅力の向上

地域全体で文化財・歴史遺産を守り育てる体制の構築

文化財の適切な保全に向けてクラウドファンディングアドバイザーを派遣するなど、地域の文化財・歴史文化遺産を地域全体で守り育てる体制の構築を図ります。また、地域無形民俗文化財の伝承者育成に向けた映像制作や共演会を開催するなど、地域に根付き受け継がれてきた無形民俗文化財を次代に継承する活動を支援します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
歴史文化遺産の保存活用に向けた機運醸成	市民意識調査 アドバイザー派遣	文化財保存活用地域計画改訂 アドバイザー派遣	
「地域のお宝」の保存・活用	保存活用事業支援 パネル展開催		
無形民俗文化財継承への支援	アーカイブ映像制作 共演会開催		

高尾城跡の市史跡指定と活用

地域で親しまれている高尾城跡を、新たに市史跡として価値付けし、市民共有の歴史遺産として活用します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
高尾城跡の市史跡指定と活用	調査		

金沢湯涌江戸村の整備推進

湯涌地区の振興を図るため、金沢湯涌江戸村においては管理棟を新設するなど、整備を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢湯涌江戸村の整備		施設整備 活性化策の検討	

市指定保存建造物「旧森紙店」の保存・活用

旧森紙店の歴史建造物としての価値を発信し、地域に開かれた、文化芸術的な利活用を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
「旧森紙店」の活用	設計	整備・開館	

まちの品格を高める 新たな文化の創造

取組の方向性



① 歴史と伝統に根差した質の高い文化のさらなる魅力創造

- 文化施設の再整備や、歴史遺産を活用した空間の創出を図ることで、歴史と伝統に根差した質の高い文化のさらなる魅力を創造します。

② 仕事・学び・暮らしの中で文化を身近に感じ教養を高める環境の創出

- 文化を通じたふるさと教育環境の充実や、伝統文化を習熟できる機会の提供などに取り組み、仕事・学び・暮らしの中で文化を身近に感じ教養を高める環境を創出します。

③ スポーツ文化・建築文化・木の文化など多様な文化の振興

- 歴史的庭園の新たな価値付けをはじめ、スポーツ文化・建築文化・木の文化などの魅力発信や、親しむ機会の充実などにより、多様な文化の振興に取り組みます。



旧菓子文化会館



金沢の歴史的庭園



✿ 主要施策

<p>1 歴史と伝統に根差した質の高い文化のさらなる魅力創造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 旧菫子文化会館の再整備と泉鏡花記念館のリニューアル ● 金沢美大柳宗理デザインミュージアム(仮称)の整備 ● 本多町歴史文化ゾーンの磨き上げ
<p>2 仕事・学び・暮らしの中で文化を身近に感じ教養を高める環境の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統文化を習熟できる機会の提供 ● 金沢美術工芸大学における芸術体験の拡充 ● 姉妹都市との文化交流の推進
<p>3 スポーツ文化・建築文化・木の文化など多様な文化の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的庭園の魅力発信 ● スポーツ文化の推進 ● 建築文化の発信 ● 木の文化都市・金沢」の継承と創出

✿ KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
歴史・伝統・文化により、品格あるまちの魅力が向上していると感じる市民の割合	80.3% (R5年度)	84%	88%
文化芸術などを嗜む市民の割合	51.8% (R5年度)	57%	62%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
文化・スポーツ大会の誘致件数	52件 (R4年度)	56件	61件

主な施策

魅力づくり

✿ 主要事業

① 歴史と伝統に根差した質の高い文化のさらなる魅力創造

旧菓子文化会館の再整備と泉鏡花記念館のリニューアル

旧菓子文化会館について、「木の文化都市・金沢」を象徴する建築物として再整備するとともに、隣接する泉鏡花記念館のリニューアルを含めた一体的な利活用を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
木の文化都市を象徴する建築物の整備	検討		
泉鏡花記念館との一体的な利活用	検討		

金沢美大柳宗理デザインミュージアム(仮称)の整備

デザインと建築意匠を通した美と創造の交流拠点として、金沢美大柳宗理デザインミュージアム(仮称)を整備します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢美大柳宗理デザインミュージアム(仮称)の整備		実施設計・改修工事・開館	

本多町歴史文化ゾーンの磨き上げ

本多町歴史文化ゾーンに位置する旧職員会館を解体し、隣接する県有地との一体的なゾーニングを視野に、ストーリー性をもたせた空間づくりを目指します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
本多町歴史文化ゾーンの磨き上げ	検討		

② 仕事・学び・暮らしの中で文化を身边に感じ教養を高める環境の創出

伝統文化を習熟できる機会の提供

手仕事に関心のある市民を対象に専門塾を開講するほか、金沢の食文化の歴史や最新の取組を学ぶアカデミー、料理塾を実施するなど、伝統文化を習熟する機会の充実を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
手仕事を学ぶ専門塾の開講 【再掲】	拡充		
食文化アカデミーの実施	実施		
食の名工による料理塾の開講		推進	

金沢美術工芸大学における芸術体験の拡充

キャンパス内の共通工房等を利用して市民向け美術工芸体験講座を開設し、学びの文化の形成と情操教育を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
市民向け美術工芸体験講座の開設	実施		

姉妹都市との文化交流の推進

姉妹都市文化祭等の開催により、姉妹都市との相互の文化交流を深めるとともに、姉妹都市公園の伝統的文化施設の継承と活用を図り、市民の国際理解を増進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
姉妹都市文化祭の開催	実施		
姉妹都市公園の継承・活用		施設の修復・改修	

③ スポーツ文化・建築文化・木の文化など多様な文化の振興

歴史的庭園の魅力発信

用水を巧みに組み込むなど独自に工夫された歴史的庭園の保存活用を図るとともに、価値付けにより、魅力を国内外に広く発信します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
歴史的庭園の保存活用	検討		

スポーツ文化の推進

ホームタウンチームによる市民等とのスポーツ交流や金沢マラソンの開催、文化・スポーツ大会等の誘致により、スポーツで人とまちを元気にするまちづくりを推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢スタジアムを中心としたスポーツイベント等の開催【再掲】	実施		
ホームタウンチームの交流促進	拡充		
金沢マラソンの開催		推進	
文化・スポーツ大会等の誘致		推進	

建築文化の発信

連綿と育まれてきた質の高い建築文化について、谷口吉郎・吉生記念金沢建築館を拠点に広く発信するとともに、国内外から評価の高い現代公共建築を、現代建築レガシーとして後世に継承します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
建築文化の魅力発信		推進	
金沢21世紀美術館の大規模修繕【再掲】	実施設計	修繕工事 リニューアルオープン	
金沢市民芸術村のリニューアル【再掲】	リニューアル調査 構想策定		計画・設計・工事
玉川図書館の改修	実施設計		

「木の文化都市・金沢」の継承と創出

「木の文化都市・金沢」を創出するため、官民連携による取組を強化するとともに、木の彩りを付加した歩行空間を整備するほか、モデル地区にて象徴する建築物を整備します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
官民連携による魅力発信		推進	
木の彩りを付加した歩行空間の創出		整備	
木の文化都市を象徴する建築物の整備【再掲】	検討		

取組の方向性



① 住む人と訪れる人がまちの価値を共有し共に高めていく機会の充実

- 金沢が大切にしてきた文化・暮らしの発信やマナー啓発などに取り組み、住む人と訪れる人がまちの価値を共有し共に高めていく機会を充実します。

② 歴史と伝統に裏打ちされた
ほんものの魅力の創造・発信による文化観光の推進

- 金沢の豊かな文化を生かした誘客の推進や、高付加価値旅行者層へのプロモーション強化などに取り組み、歴史と伝統に裏打ちされたほんものの魅力の創造・発信による文化観光を推進します。

③ 世界が認める食文化と金沢クラフトの発信

- 世界に誇る金沢の食文化の魅力発信や、海外との人材交流の促進等に取り組むほか、金沢の伝統工芸品の販路拡大や、首都圏魅力発信拠点の機能強化などを通して、世界が認める食文化と金沢クラフトを発信します。

④ 来街者の満足度を高める受入環境の充実・強化と交流の促進

- 観光マネジメント体制の強化や宿泊施設におけるユニバーサル化、歴史・文化を伝えるガイドの育成などに取り組み、来街者の満足度を高める受入環境の充実・強化を図るとともに、交流を促進します。

食文化の
発信イメージKOGEI Art Gallery
銀座の金沢



主要施策

<p>① 住む人と訪れる人が まちの価値を共有し 共に高めていく機会の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な観光への理解促進
<p>② 歴史と伝統に裏打ちされた ほんものの魅力の創造・発信 による文化観光の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●金沢の豊かな文化を生かした誘客推進 ●広域観光の推進 ●高付加価値旅行者層へのプロモーション強化 ●金沢港の外航クルーズ拠点としての活性化
<p>③ 世界が認める食文化と 金沢クラフトの発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●世界が認める食文化都市の実現 ●海外との人材交流の促進 ●名工の技術の継承と発信 ●金沢クラフトの魅力発信と販路拡大 ●金沢クラフト首都圏魅力発信拠点の機能強化
<p>④ 来街者の満足度を高める 受入環境の充実・強化と 交流の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●観光マネジメント体制の強化 ●安全・安心に滞在できる環境の整備・充実 ●金沢の歴史・文化的ストーリーを伝えられる ガイドの育成・充実

KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
住む人や訪れる人の、 金沢の歴史・伝統・文化に対する理解が 進んでいると感じる市民の割合	62.7% (R5年度)	69%	75%
金沢の食文化や工芸の魅力が、 世界に知られている、 認められていると感じる市民の割合	62.2% (R5年度)	68%	75%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
年間宿泊客数	(日本人)	282万人(R1年)	310万人
	(外国人)	61万人(R1年)	86万人
金沢旅行の満足度	(日本人)	95.3%(R4年度)	95%以上を維持
	(外国人)	97.4%(R1年度)	95%以上を維持

主な施策

魅力づくり

4 世界の人々が憧れ滞在したくなる都市ブランド力の向上

◆ 主要事業

① 住む人と訪れる人がまちの価値を共有し共に高めていく機会の充実

持続可能な観光への理解促進

経済・社会・環境の調和を図り持続可能な観光振興を図るため、市内観光事業者が行う金沢SDGsツーリズムを推進するとともに、旅行者への旅のマナーの周知や市民の観光受容力の向上など、官民連携による取組を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢SDGsツーリズムの推進		推進	
旅行者のマナー啓発		推進	
市民の観光受容力の向上		推進	

② 歴史と伝統に裏打ちされたほんものの魅力の創造・発信による文化観光の推進

金沢の豊かな文化を生かした誘客推進

金沢の文化を体験できるコンテンツや、冬季や夜間・早朝の魅力が体感できるコンテンツなど、質の高い文化観光旅行商品を造成するほか、金沢の歴史・文化を生かした教育旅行誘致を促進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
文化観光コンテンツの造成	実施		
冬季・夜間における観光コンテンツの造成	実施		
教育旅行の誘致	拡充		

広域観光の推進

北陸新幹線金沢・敦賀間開業及び金沢開業10周年を契機とし、食やクラフトなどテーマ性を重視した広域観光を推進し、地域全体の観光消費額の向上を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
広域観光の推進		推進	

高付加価値旅行者層へのプロモーション強化

金沢の観光資源に親和性の高い欧米豪からの高付加価値旅行者層のさらなる誘致を促進するため、効果的なプロモーション活動を展開します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
欧米豪地域からの誘客推進	拡充		

金沢港の外航クルーズ拠点としての活性化

富裕層クルーズ船社へのプロモーション活動を強化するとともに、ラグジュアリーツアーや北陸新幹線を活用したレール＆クルーズによる金沢港発着ツアーの造成を支援することにより、クルーズ拠点港としてさらなる活性化を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
世界の富裕層の誘致強化と受入体制の充実		推進	
北陸新幹線延伸を契機としたクルーズ船誘致	実施		

③ 世界が認める食文化と金沢クラフトの発信

世界が認める食文化都市の実現

世界に誇る金沢の食文化の魅力を国内外に向けて発信するとともに、市民や来街者が金沢の食文化の奥深さや豊かさを体験できる機会を創出します。また、次代を担う料理人等を育成するとともに、食の新たな価値の創造等により、食文化のさらなる発展をめざします。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
世界に向けた食文化の発信	欧州食文化プロモーション実施		
食のイベント等の開催	検討 プレイベントの開催		
全日本高校生WASHOKUグランプリの開催	拡充		
金沢未来のまち創造館における食の価値創造【再掲】		推進	

海外との人材交流の促進

市内の料理人等と海外の料理人等の相互交流を図り、技術・技能の研鑽を図るとともに、ユネスコ創造都市ネットワークへの参画や作家等の人材交流により、本市食文化や金沢クラフトのブランド力や作家の知名度の向上を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
料理人等の海外相互交流の推進		推進	
ユネスコ創造都市ネットワークを通じた交流【再掲】	拡充		

名工の技術の継承と発信

菓子・料理等の高い技術・技能を有し、本市食文化の一翼を担う名工について、市内外に向け効果的に情報発信し、さらなる発展を目指します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
名工の効果的な発信	デジタルマップ制作		

金沢クラフトの魅力発信と販路拡大

工芸の体験・販売等を行う魅力発信イベントを通して、市民や来街者が身近に工芸に触れる機会を創出します。また、若手工芸作家の海外展覧会への出展等を支援するほか、ユネスコ創造都市ネットワークへの参画や作家等の人材交流により、金沢クラフトのブランド力の向上を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
魅力発信イベントの開催		推進	
海外展覧会への出展等支援	拡充		
ユネスコ創造都市ネットワークを通じた交流	拡充		

金沢クラフト首都圏魅力発信拠点の機能強化

金沢クラフト首都圏魅力発信拠点「KOGEI Art Gallery 銀座の金沢」にて、若手のアート作品や生活工芸品、希少伝統工芸品など多彩な工芸品の展示等により、工芸の魅力発信と販路拡大を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
KOGEI Art Gallery 銀座の金沢での展示・販売	実施		

④ 来街者の満足度を高める受入環境の充実・強化と交流の促進

観光マネジメント体制の強化

データ分析に基づく質の高い観光の提供を図るとともに、インバウンド旅行者獲得に向けた海外向けのプロモーションを強化するため、金沢版DMOの機能強化を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢版DMOの機能強化	拡充		

安全・安心に滞在できる環境の整備・充実

市内宿泊施設におけるユニバーサル化やデジタル化などの環境整備を推進するとともに、簡易宿所等の安全性の向上を図り、市民だけでなく旅行者にとっても快適な滞在環境を整備します。また、市民や旅行者の受入環境の充実と都市景観の向上を図るため、歩行者用サインの見直しを行います。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
宿泊施設の環境整備への支援	拡充		
簡易宿所等の安全性の向上	認証制度創設 消防設備等の導入支援		
魅力あるまち歩きサインの整備【再掲】	検討		整備

金沢の歴史・文化的ストーリーを伝えられるガイドの育成・充実

地元ならではの観光情報の提供やおもてなしができる質の高い通訳ガイドの育成を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
通訳ガイドの育成		推進	



基本方針

2

多様な人々が共生し、
心豊かに
暮らせるまち

～暮らしづくり～

多様な主体の協働による 元気で活力あふれる 地域コミュニティの醸成

取組の方向性

1 民間事業者や学生など多様な主体の活躍と世代間の連携による 地域コミュニティの活性化

- 町会その他の地域団体をはじめ、NPO等の市民活動団体、民間事業者、学生等の交流を促進するとともに、ICTを活用したまちづくり活動を推進し、民間事業者や学生など多様な主体の活躍と世代間の連携による地域コミュニティの活性化を図ります。

2 地域への誇りや愛着を醸成する地域活動への参加促進

- 地域コミュニティの活動強化や地域への学生団体の派遣等を通して、地域への誇りや愛着を醸成する地域活動への参加を促進します。

3 持続可能なコミュニティを支える基盤の強化

- 地域コミュニティの安定性・継続性を高める取組や地域におけるデジタル化を推進し、持続可能なコミュニティを支える基盤の強化を図ります。



地域行事に参加する学生



四十万公民館
(令和3年4月供用開始)



平和町児童館
(令和5年11月供用開始)



消防団ポンプ車

主要施策

① 民間事業者や学生など多様な主体の活躍と世代間の連携による地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域・学生・企業等の交流促進 ● ICTを活用したまちづくり活動の推進
② 地域への誇りや愛着を醸成する地域活動への参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティの活動強化 ● 学生等の地域活動への参加促進
③ 持続可能なコミュニティを支える基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な「金沢方式」への見直し ● 地域におけるデジタル化の推進 ● 地域の女性リーダーの育成

KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
まちづくり活動や地域活動に参加する市民の割合	52.9% (R5年度)	58%	63%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
多様な主体との連携により取り組む地域コミュニティ活性化事業数	26事業 (R5年度)	40事業	40事業以上を維持
町会加入世帯数	143,702世帯 (R4年度)	146,000世帯	148,000世帯
地域活動発信アプリを活用している校下(地区)数	40校下(地区) (R5年度)	62校下(地区) (R8年度)	-

1

多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成

 **主要事業**
**1 民間事業者や学生など多様な主体の活躍と世代間の連携による
地域コミュニティの活性化**
地域・学生・企業等の交流促進

地域と学生・企業等との協働によるまちづくりを推進するとともに、世代を超えた住民交流を促進し、コミュニティの形成や地域の活性化を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
地域の活性化に寄与する実践型授業の推進【再掲】	拡充		
金沢未来のまち創造館における世代間交流イベントの開催		推進	
地域への学生団体の派遣【再掲】	本格実施		
市営住宅における学生の自治活動への参加促進【再掲】	モデル実施		

ICTを活用したまちづくり活動の推進

ICTを活用したまちづくりや地域の課題解決に取り組むシビックテック活動を推進するとともに、地域課題解決を目的としたプラットフォームである地域課題解決マッチングボックス「マッチ箱」の活用を促進し、地域課題の可視化・解決を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
シビックテック活動による地域課題の解決		推進	
地域課題解決プラットフォームの活用推進	拡充		

2 地域への誇りや愛着を醸成する地域活動への参加促進
地域コミュニティの活動強化

地域の活性化や町会への加入促進に向けた取組を支援するほか、旧町名の歴史的価値の継承を図ります。また、地域に根付き受け継がれてきた無形民俗文化財を次代に継承するための取組について支援し、市民協働体制の強化を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
地域コミュニティ活動への支援		推進	
旧町名の歴史的価値の継承	意識醸成・意向調査		
無形民俗文化財継承への支援【再掲】	アーカイブ映像制作 共演会開催		

学生等の地域活動への参加促進

地域の夏祭りや清掃活動などの町会行事等への学生団体の主体的な参画を促し、地域の活性化を図るほか、市営住宅への学生の入居を促すことで、市営住宅における自治活動の活性化を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
地域への学生団体の派遣	本格実施		
市営住宅における学生の自治活動への参加促進	モデル実施		

③ 持続可能なコミュニティを支える基盤の強化

持続可能な「金沢方式」への見直し

人口減少・少子高齢社会の進展等、地域コミュニティを取り巻く環境の変化を踏まえ、地元負担の見直しを含む「金沢方式」のあり方を検討します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
「金沢方式」のあり方検討	検討・見直し		

地域におけるデジタル化の推進

町会や地域活動のデジタル化を推進し、地域内の情報共有などを促進するとともに、町会役員の負担軽減を図るほか、若い世代の町会活動への参加を促進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
地域活動発信アプリの活用促進	拡充	推進	
地域のデジタル人材の育成	拡充		

地域の女性リーダーの育成

町会、公民館、PTAなどの地域団体における役員等への女性の登用を促進し、地域の多様性・持続性の向上を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
地域活動における女性リーダーの育成		推進	

誰もが安心して共に暮らせる 地域社会の実現

取組の方向性

1 豊かな福祉コミュニティの継承と福祉意識の高揚

- アクティブラジニアを活用した地域福祉活動の担い手確保や、講座の開催等を通した福祉意識の醸成に取り組み、豊かな福祉コミュニティの継承と福祉意識の高揚を図ります。

2 人と人・人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進

- 金沢らしい地域包括ケアシステムの推進や、重層的支援体制の強化を図るとともに、福祉人材の確保に取り組み、人と人・人と社会がつながり支え合う地域福祉を推進します。

3 年齢や性別・障害の有無・国籍などに関わりなく 多様性を認め合う共生社会の実現

- 性別に関わらず活躍できる環境の整備や、心のバリアフリーの推進などに取り組み、年齢や性別・障害の有無・国籍などに関わりなく多様性を認め合う共生社会の実現を目指します。

4 デジタル技術の活用による福祉サービスの充実・強化

- 福祉分野における介護ロボットやICT機器の導入支援や、障害の特性に応じたIT研修の実施などに取り組み、デジタル技術の活用による福祉サービスの充実・強化を図ります。



地域福祉のイメージ

金沢市松ヶ枝福祉館



主要施策

<p>1 豊かな福祉コミュニティの継承と福祉意識の高揚</p> <p>2 人と人・人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進</p> <p>3 年齢や性別・障害の有無・国籍などに関わりなく多様性を認め合う共生社会の実現</p> <p>4 デジタル技術の活用による福祉サービスの充実・強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> まちなか福祉拠点施設の整備検討 地域福祉活動の担い手確保 福祉意識の醸成
	<ul style="list-style-type: none"> 金沢らしい地域包括ケアシステムの推進 重層的支援体制の強化 認知症の方を支える体制の充実 介護人材の確保と定着の促進
	<ul style="list-style-type: none"> 性別に関わらず活躍できる環境の整備 心のバリアフリーの推進 日本人・外国人住民双方が暮らしやすい環境の形成 人権擁護の推進
	<ul style="list-style-type: none"> 福祉分野におけるデジタル技術等の活用促進 障害のある人のICTの活用支援

主な施策

暮らしづくり

KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
性別、国籍、障害の有無などが異なる多様な人々が、共に暮らしやすいまちだと感じている市民の割合	34.9% (R5年度)	44%	52%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
地域福祉意識醸成講座の開催回数	3回 (R4年度)	11回	11回以上を維持
重層的支援における支援プランを作成した世帯数	15世帯 (R4年度)	120世帯	120世帯以上を維持
介護分野や障害福祉分野においてロボットやICTを活用し、生産性の向上を推進した事業所数【累計】	5事業所 (R4年度までの累計)	35事業所	60事業所



主要事業

1 豊かな福祉コミュニティの継承と福祉意識の高揚

まちなか福祉拠点施設の整備検討

複雑化・多様化する福祉ニーズを踏まえ、老朽化が進む松ヶ枝福祉館について、再整備を視野に今後の施設のあり方を検討します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
松ヶ枝福祉館の あり方検討	検討		

地域福祉活動の担い手確保

高齢者の持つ知識や経験を、社会貢献やボランティアなど幅広い場に生かし、生涯現役で活躍できる社会の形成を目指します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
アクティブシニアの 活躍支援		推進	

福祉意識の醸成

地域福祉活動の情報を広く市民に発信するとともに、家庭や地域、学校における福祉教育を推進し、地域福祉への理解促進や担い手確保に取り組みます。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
地域福祉意識醸成講座の 開催		推進	

2 人と人・人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進

金沢らしい地域包括ケアシステムの推進

地域の特性を踏まえ、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムのさらなる推進のため、地域包括支援センターや在宅医療・介護連携支援センターの機能を強化するなど在宅医療・介護の連携を充実します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
地域包括支援センターの 機能強化	20圏域に見直し 介護支援専門員配置		
在宅医療・介護連携 支援センターの機能強化	ACPファシリテーターの育成		

重層的支援体制の強化

行政と各関係機関が有機的に連携した総合相談体制を構築し、複雑・複合化した課題を抱える個人や世帯へ、早期に適切な支援を行います。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
金沢版重層的支援体制の推進	拡充		

認知症の方を支える体制の充実

認知症となっても地域で暮らしていくために、誰もが気軽に相談できる地域の拠点づくりを進め、認知症の方を支える体制の充実を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
認知症地域支援センターの設置	モデル実施		

介護人材の確保と定着の促進

超高齢社会における介護サービスの需要の増加・多様化に対応するため、潜在介護人材の職場復帰やスキルアップを支援するとともに、働きやすい環境を整備し、介護人材の確保・定着促進を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
介護人材の就業やスキルアップへの支援	拡充		

③ 年齢や性別・障害の有無・国籍などに関わりなく多様性を認め合う 共生社会の実現

性別に関わらず活躍できる環境の整備

企業や地域団体などあらゆる分野において女性の参画を促進するとともに、男性の家事・育児等への参加を促進するなど、性別に関わらず活躍できる環境を整備します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
女性が働きやすい職場環境の整備促進【再掲】	実施		
女性のキャリア登用の促進【再掲】	実施		
地域活動における女性リーダーの育成【再掲】		推進	
男性のための相談支援	実施		
男性の育児休業取得の拡充【再掲】	実施		

心のバリアフリーの推進

障害のある人への差別解消や、合理的配慮の提供について理解を深めるイベントの開催やガイドラインの導入により、心のバリアフリーを推進するとともに、障害のある人の社会参加や就労を支援します。また、障害のある児童や医療的ケア児等が安心して地域で生活できるよう環境を形成します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
ユニバーサルデザイン ガイドラインの策定	策定		
障害のある人の 社会参加の促進	拡充		
障害のある人の 就労支援の推進【再掲】		推進	
児童発達支援センターを中心とした 地域の支援体制の構築【再掲】	実施	拡充	
医療的ケア児等 コーディネーターの派遣【再掲】	拡充		
保育所等における医療的 ケア児の受入支援【再掲】	実施		拡充
インクルーシブ保育の推進 【再掲】	支援体制の検討		

日本人・外国人住民双方が暮らしやすい環境の形成

外国人住民の日本語能力の向上や、地域住民との交流による相互理解を促進するなど、日本人・外国人住民双方が暮らしやすい環境づくりを推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
日本人・外国人住民の 相互理解促進	拡充		
若い世代のグローバル 人材育成【再掲】	実施		

人権擁護の推進

複雑化、多様化する人権問題に対し、市民が正しく理解・認識するため人権教育・啓発を推進するとともに、性的マイノリティや犯罪被害者等の当事者が安心して暮らせる環境を形成します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
犯罪被害者等を支援する ための条例の制定	検討		

④ デジタル技術の活用による福祉サービスの充実・強化

福祉分野におけるデジタル技術等の活用促進

IoTを活用した見守りシステムの導入や、介護・障害福祉分野における介護ロボットやICT機器の導入への支援により、家族や介護スタッフの負担軽減を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
IoT機器や介護ロボットの導入支援		推進	

障害のある人のICTの活用支援

障害があることによる情報格差を解消するため、ICTを活用し、障害のある人の情報の十分な取得利用と円滑な意思疎通を推進し、自立した生活や社会参加を促進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
障害の特性に応じたIT研修の実施		推進	
AIなど先進技術の活用による支援拡充	検討		

取組の方向性



① 未病対策の推進と健康を守る環境の整備

- 健康診査の受診率向上や保健指導を強化し、生活習慣病の発症予防等に取り組むとともに、フレイル予防の強化・充実を図り、未病対策の推進と健康を守る環境を整備します。

② 医療体制の充実と健康危機管理体制の強化

- 市立病院の再整備や、災害時における医療救護体制の強化などに取り組み、医療体制の充実と健康危機管理体制の強化を図ります。

③ 文化芸術・スポーツ活動を通じた健康増進

- 医療・福祉分野における文化芸術活動やスポーツの推進などを通じた市民の健康増進に取り組みます。



金沢健康プラザ大手町



金沢市立病院

金沢市立病院における
医療とアートの融合

主要施策

<p>① 未病対策の推進と 健康を守る環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康づくりの推進 ● フレイル予防の強化・充実 ● ICT等を活用した健康増進 ● 金沢健康プラザ大手町の再整備
<p>② 医療体制の充実と 健康危機管理体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市立病院の再整備 ● 市立病院の機能強化 ● 災害時医療救護体制の強化 ● 感染症対策の強化・充実
<p>③ 文化芸術・スポーツ活動を通じた健康増進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療・福祉分野における文化芸術活動の推進 ● 市民の健康増進に資するスポーツの推進 ● 医療・福祉分野における文化的処方の活用

主な施策

暮らしづくり

KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
夜間や休日においても必要な医療サービスを受けられる環境が整っていると感じる市民の割合	57.2% (R5年度)	63%	69%
文化芸術・スポーツ活動等を通じた心身の健康づくりに取り組む市民の割合	67.2% (R5年度)	74%	81%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
金沢市の健康寿命	平均寿命 男性:81.90 女性:87.52 健康寿命 男性:80.37 女性:84.43 (R4年)	平均寿命の増加を上回る 健康寿命の増加	



3

心身ともに健やかに暮らせる健康都市の推進

 主要事業

① 未病対策の推進と健康を守る環境の整備

健康づくりの推進

イベントや講座等の開催を通して、市民の未病に関する知識の普及・啓発を推進するとともに、生活習慣病の発症・重症化を予防するため、健康診査の受診率向上と保健指導の強化に取り組みます。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
未病に関する知識の普及・啓発	実施		
保健指導の強化	拡充		
健康診査の受診率向上		推進	

フレイル予防の強化・充実

フレイルチェックの実施体制を段階的に強化するとともに、高齢者の健康状態及び健康課題に対応した健康づくりやフレイル予防を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
フレイルチェック体制の強化	拡充		
高齢者の健康づくりや介護予防の充実	拡充		

ICT等を活用した健康増進

健康づくりの活動に対してポイントを付与するアプリを導入し、誰もが気軽に健康づくりに取り組める環境を構築し、健康無関心層の健康づくりの推進や各種健康診査の受診率の向上を図るなど、市民の健康寿命の延伸につなげます。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
健康増進を図るアプリの導入	実施		

金沢健康プラザ大手町の再整備

老朽化が進む金沢健康プラザ大手町について、市民の未病対策の拠点として再整備を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
金沢健康プラザ大手町の再整備	基本計画・基本設計		実施設計・工事

② 医療体制の充実と健康危機管理体制の強化

市立病院の再整備

老朽化が進む市立病院について、自治体病院ならではの特徴的な機能を備えた病院として再整備を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
市立病院の再整備	基本計画・基本設計・実施設計・建設工事・新病院開院		

市立病院の機能強化

地域医療全体の充実を図るため、地域医療支援病院として、介護施設への医師等派遣によるサポート体制を構築するほか、デジタル化の推進により、患者の利便性向上や病院業務の効率化を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
介護施設との連携強化	実施		
医療DXの推進	実施		

災害時医療救護体制の強化

大規模災害時に、迅速かつ的確な医療救護活動を展開するため、保健所と医療機関等との合同による初動訓練や研修会などを行い、関係機関の連携体制を強化するほか、市立病院での被災患者の受け入れや災害医療派遣チームの体制強化を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
県や医師会との連携体制の強化	拡充		
災害医療派遣チーム(DMAT)の体制強化		推進	
救急隊の増隊【再掲】	日勤救急隊の新規配置 救命救急士の養成		

感染症対策の強化・充実

感染症に関する相談等に的確に対応するため、保健所にAI電話サービスを導入するほか、専門人材を養成するなど、新興・再興感染症の発生の予防及びまん延の防止策の充実を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
新興感染症発生を見据えた体制強化	AI電話サービス導入 専門人材養成		
市立病院における感染管理認定看護師等育成		推進	

③ 文化芸術・スポーツ活動を通じた健康増進

医療・福祉分野における文化芸術活動の推進

市立病院や福祉施設においてギャラリー展示や文化体験等を実施し、安らぎの空間を創出するほか、障害のある人の文化芸術活動を推進し、その成果を発表する機会の創出を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
市立病院における医療とアートの融合	実施		
アウトサイダー・アート・プロジェクトの推進		推進	

市民の健康増進に資するスポーツの推進

年齢・性別・障害の有無に関係なく誰もが気軽に参加できるスポーツイベントの開催や意識啓発など、生涯スポーツを通じた市民の健康増進を図る取組を実施します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢スタジアムを中心としたスポーツイベント等の開催【再掲】	実施		

医療・福祉分野における文化的処方の活用

医療・福祉の分野において文化芸術資源を生かした交流活動を推進する「文化的処方」の活用に向けて検討します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
文化的処方の活用	検討		

取組の方向性

① ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素化の推進

- 再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの推進、森林等による温室効果ガスの吸収源の拡大などにより、ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素化を推進します。

② ごみの減量と資源循環の推進

- 家庭系・事業系ごみの減量化・資源化の推進や、製品プラスチックの分別収集の導入などにより、ごみの減量と資源循環を推進します。

③ 自然環境の保全と次世代への継承

- 国連環境計画（UNEP）の「都市生態系再生モデル都市」の認定を機に、用水や庭園など緑のインフラや歴史的景観の保全活動等を推進し、自然環境を保全するとともに、次世代へ継承します。



再生可能エネルギーの
活用イメージ



製品プラスチックの
分別収集





主要施策

<p>① ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●再生可能エネルギーの活用と省エネルギーの推進 ●森林等による温室効果ガスの吸収源の拡大 ●環境に配慮した交通行動への転換 ●脱炭素化に寄与する産業や技術の振興
<p>② ごみの減量と資源循環の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭系ごみの減量化・資源化の推進 ●事業系ごみの減量化・資源化の推進 ●製品プラスチックの分別収集の導入 ●食品ロスの削減 ●廃棄物処理施設の整備検討
<p>③ 自然環境の保全と次世代への継承</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●環境保全活動の推進 ●都市生態系再生モデル都市の推進

主な施策

暮らしづくり

KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
生活の中で地球環境に配慮している市民の割合	85.5% (R5年度)	90%以上	90%以上を維持
豊かな自然環境が保たれていると感じる市民の割合	83.4% (R5年度)	88%	90%以上

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
温室効果ガス排出量	3,537千t-CO ₂ (H25年度)	2,000千t-CO ₂	1,488千t-CO ₂
ごみの総排出量	146,993t (R4年度)	133,756t	132,025t

4 人と自然が共生する地球にやさしい生活環境の形成

◆ 主要事業

① ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素化の推進

再生可能エネルギーの活用と省エネルギーの推進

民間活力による公共施設への太陽光発電設備やLED照明の設置を促進するとともに、CO₂ゼロエネルギーの供給を促進します。また、市域全体での脱炭素化促進に向け、重要伝統的建造物群保存地区等、再エネ設備の整備が難しい地域などの再生可能エネルギーの導入方法を検討します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
市民・事業者に対する啓発		推進	
地域における 再生可能エネルギー活用	モデル実施・調査		
民間活力による 太陽光発電設備等の導入	検討		

森林等による温室効果ガスの吸収源の拡大

二酸化炭素の吸収源である森林において、林業経営に適した森林の主伐・再造林を推進するとともに、金沢産材の地産地消を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
市営造林の主伐【再掲】	本格実施		
林福連携による 苗木生産の推進【再掲】	実施		
金沢産材の地産地消の促進 【再掲】	拡充		

環境に配慮した交通行動への転換

二酸化炭素排出量の削減に向け、自家用車から公共交通などへの転換を図るとともに、金沢ふらっとバスの電動化など環境に配慮した車両の導入を促進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
過度な自家用車利用の 抑制		推進	
金沢ふらっとバスの 電動化	実施		

脱炭素化に寄与する産業や技術の振興

環境保全や再生可能エネルギー活用などの分野における産学連携や新製品開発、企業連携などを支援するほか、環境への負荷を減らした環境保全型農業の理解促進を図るなど、幅広い分野における脱炭素化に取り組みます。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
GXなどの重点分野における新製品開発への支援	推進		
環境保全型農業への理解促進【再掲】	実施		

2 ごみの減量と資源循環の推進

家庭系ごみの減量化・資源化の推進

ごみ出しマナーの向上を図るため、学生のアイデアを活用した啓発活動を展開するなど、ごみの削減に向けた取組を促進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
学生と協働したごみ削減の推進	実施		

事業系ごみの減量化・資源化の推進

イベントにおいて発生するごみの減量化・資源化を促進するとともに、事業系古紙の減量化・資源化に向け、引き続き排出事業者への指導・支援を行います。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
イベントにおけるごみの減量化・資源化の啓発	実施		
中小事業者におけるごみの減量化・資源化の推進		推進	

製品プラスチックの分別収集の導入

プラスチックの資源循環を一層図るため、製品プラスチックの分別収集を導入し、市民の環境意識の醸成を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
製品プラスチックの分別収集の導入	実施		

食品ロスの削減

市民・事業者・行政による相互の連携協力により、食品ロスの削減に向けた取組を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
食品ロス対策の推進	拡充		

廃棄物処理施設の整備検討

既存廃棄物処理施設の延命化を踏まえ、脱炭素化の推進にも対応できる環境エネルギーセンター等の再整備に向けたあり方を検討します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
環境エネルギーセンターの延命化		推進	
環境エネルギーセンター等の再整備に向けたあり方検討	実施		

③ 自然環境の保全と次世代への継承

環境保全活動の推進

自然環境保全に取り組む市民団体や学生との協働により、若い世代の自然環境保全意識を醸成するなど、自然環境保全に取り組む人材の育成を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
学生との連携による環境保全意識の醸成	実施		

都市生態系再生モデル都市の推進

国連環境計画(UNEP)による都市生態系再生モデル都市の認定を契機に、都市自然の保全や生態系回復に向けた本市独自の取組を推進し、国内外に広く発信します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
希少生物の保全と 外来生物対策の推進		推進	
歴史的庭園の保存活用 【再掲】	検討		
多様な主体との連携による 用水の魅力発信【再掲】		動画作成・配信、魅力体験実施	
国連大学(OUIK)との連携に よる世界に向けた取組発信	実施		



基本方針

3

共に学び、
未来を創る人を
育むまち

～人づくり～

取組の方向性

① 地域・各種団体・企業等との連携・協力による子育て環境の充実

- 放課後児童対策の推進、良質な保育環境の提供、育児に参加しやすい環境づくりなど、地域・各種団体・企業等との連携・協力による子育て環境の充実を図ります。

② すべての子どもの健やかな成長の支援

- 子どもの居場所づくりの推進を図るとともに、生活に困難を抱える子どもやひとり親家庭等への支援強化、障害のある児童や医療的ケア児等への支援体制の強化などに取り組み、すべての子どもの健やかな成長を支援します。

③ 教育・福祉の連携による総合支援体制の強化

- こども相談センターや福祉健康センターにおける包括的な相談支援や、ヤングケアラーへの支援の強化など、個々の家庭状況に応じた切れ目のない支援体制の充実を図るほか、教育・福祉施設の再整備などに取り組み、教育・福祉の連携による総合支援体制を強化します。



保育施設の様子



子どもの居場所づくり



主要施策

<p>① 地域・各種団体・企業等との連携・協力による子育て環境の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな「かなざわ子育て夢プラン」の策定 ●放課後児童対策の推進 ●良質な保育環境の提供 ●育兾に参加しやすい環境づくり
<p>② すべての子どもの健やかな成長の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの居場所づくりの推進 ●生活に困難を抱える子どもやひとり親家庭等への支援強化 ●障害のある児童や医療的ケア児等への支援体制の強化
<p>③ 教育・福祉の連携による総合支援体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●個々の家庭状況に応じた切れ目のない支援体制の充実 ●南部地区の教育・福祉施設の再整備

KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
子どもを産み育てやすい環境が整っていると感じる市民の割合	47.5% (R5年度)	59%	71%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
放課後児童クラブ受入児童数	5,369人 (R5年度)	適正数を確保 ※新たな「かなざわ子育て夢プラン」の策定に合わせて設定	
医療的ケア児の受け入れが可能な保育所等の施設数【累計】	R6年度開始	8施設	14施設
子育てや子どもの育ちに関する相談件数	10,495件 (R4年度)	11,190件	11,529件

✿ 主要事業

① 地域・各種団体・企業等との連携・協力による子育て環境の充実

新たな「かなざわ子育て夢プラン」の策定

新たな「かなざわ子育て夢プラン」を策定し、金沢の特色を生かした子ども・子育て支援施策を総合的かつ強力に推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
新たな「かなざわ子育て夢プラン」の策定と実践		策定・実践	

放課後児童対策の推進

放課後の子どもの健全な育成及び仕事と育児の両立を図るため、放課後児童クラブの整備を推進し、待機児童の解消を図るとともに、放課後児童クラブの安定した運営を支援します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
待機児童の解消に向けた受け皿の拡充	実施		
放課後児童クラブの安定運営と質の向上	実施	拡充	

良質な保育環境の提供

公立保育所としての役割や将来の保育需要などを踏まえた市立保育所の再整備を推進するとともに、幼児教育・保育の質の向上及び保育環境の充実に向け、保育士等の負担軽減や処遇改善を図るほか、国基準を上回る保育士配置を支援します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
森本地区における新保育所の整備	建設工事	開所	
保育士等の負担軽減と処遇改善	拡充		
保育環境の充実に向けた保育士配置の支援	実施		

育児に参加しやすい環境づくり

男性の育児休業取得や、場所や時間に縛られないスマートワークの導入を促進し、子育て世代の仕事と育児の両立を支援します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
男性の育児休業取得の拡充	実施		
スマートワーク導入への支援【再掲】		推進	

② すべての子どもの健やかな成長の支援

子どもの居場所づくりの推進

地域の子ども食堂や学習支援教室の開設・運営を支援するとともに、長土壙青少年交流センターなどの活用を図ることで、子どもの居場所づくりを推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
子どもの居場所づくりの推進	拡充		
中高生の多様な居場所づくりの推進	モデル実施		

生活に困難を抱える子どもやひとり親家庭等への支援強化

地域や支援団体等と連携し、生活に困難を抱える子どもや家庭の見守り支援体制を強化するとともに、ひとり親家庭等の自立促進を図るための総合的な支援体制を強化します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
子どもの見守りの推進	拡充		
地域主体の拠点型子ども宅食の推進	本格実施		
ひとり親家庭等への支援体制の強化	拡充		

障害のある児童や医療的ケア児等への支援体制の強化

児童発達支援センターを中心とした支援体制を構築するとともに、医療的ケア児等への支援や受入拠点施設の体制整備に取り組むほか、インクルーシブ保育のさらなる推進を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
児童発達支援センターを中心とした地域の支援体制の構築	実施	拡充	
医療的ケア児等コーディネーターの派遣	拡充		
保育所等における医療的ケア児の受入支援	実施		拡充
インクルーシブ保育の推進	支援体制の検討		

③ 教育・福祉の連携による総合支援体制の強化

個々の家庭状況に応じた切れ目のない支援体制の充実

妊娠婦、子育て世帯、子どもを一体的に支援する「こども家庭センター」の運営を開始し、児童虐待等の予防に向けて個々の家庭状況に応じた切れ目ない支援体制の充実を図ります。また、児童相談所の受入体制を強化するとともに包括的な相談支援体制を構築するほか、ヤングケアラーが子どもらしく日常生活を送れるよう支援体制を構築します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
児童及び妊娠婦の福祉や健康の保持増進に関する包括的な支援の充実	こども家庭センター運営開始		
母子に関する切れ目ない相談支援体制の強化	まちの子育て保健室増設	全地区で実施	
児童虐待対応の強化と包括的な相談支援体制の構築	拡充		
ヤングケアラーへの支援	拡充		

南部地区の教育・福祉施設の再整備

三馬小学校、三馬保育所、教育プラザ富桜など、南部地区における教育・福祉施設の再整備を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
教育・福祉施設の再整備	基本構想策定		

取組の方向性

① 特色ある教育モデルの構築と実践

- 新しい時代が求める自学・共創の学びを通して、デジタル力・読解力・コミュニケーション力を基盤に、児童生徒が新しい価値や最適解を見出す創造力を育む特色ある教育モデルを構築し、実践します。

② 誰一人取り残さない子どもの学びへの支援

- 不登校児童生徒の学びの保障や、特別支援教育の推進など、誰一人取り残さない子どもの学びへの支援に取り組みます。

③ 魅力ある教育施設の整備と学習環境の充実

- 魅力ある教育施設を整備するとともに、学校現場におけるデジタル化や外部人材の活用を推進し、学習環境の充実を図ります。



特色ある教育モデルの構築

✿ 主要施策

1 特色ある教育モデルの実践	<ul style="list-style-type: none"> 新しい時代に対応した金沢らしい教育モデルの構築 新たな教育行政大綱の策定
2 誰一人取り残さない子どもの学びへの支援	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒の学びの保障 校内教育支援センターの設置 特別支援教育の推進
3 魅力ある教育施設の整備と学習環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 良好な教育施設の整備 児童生徒の学習環境の充実 共同調理場の整備推進

✿ KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
すべての子どもにとって良好な教育環境が整っていると感じる市民の割合	47.9% (R5年度)	60%	72%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
「校内教育支援センター支援員」(旧「心と学びの支援員」)を配置する学校数	42校 (R5年度)	73校 (R7年度)	-
特別教室の空調設備の設置率	42% (R4年度)	100% (R9年度)	-

主要事業

1 特色ある教育モデルの構築と実践

新しい時代に対応した金沢らしい教育モデルの構築

新しい時代が求める自学・共創の学びを通して、デジタル力・読解力・コミュニケーション力を基盤に、児童生徒が新しい価値や最適解を見出す創造力を育みます。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
新金沢型学校教育モデルの構築	構築・実践		実践

新たな教育行政大綱の策定

教育を取り巻く環境の変化を踏まえた教育施策の方針の見直しを行い、新たな教育行政大綱を策定します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
新たな教育行政大綱の策定	学校教育振興基本計画・生涯学習振興基本計画 改定	策定	

2 誰一人取り残さない子どもの学びへの支援

不登校児童生徒の学びの保障

不登校児童生徒の学びの保障を図るため、「学びの多様化学校」(不登校特例校)の設置について検討するほか、不登校児童生徒へのデジタル技術を活用した支援を行います。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
「学びの多様化学校」の設置検討	検討		
デジタル技術を活用した支援	拡充		

校内教育支援センターの設置

様々な事情で教室に入れない児童生徒の学習環境を確保する「校内教育支援センター」を、各学校に設置するとともに、支援員を配置します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
校内教育支援センターの設置	支援員の増員		

特別支援教育の推進

障害の有無にかかわらず、多様性を受け入れ、児童生徒一人一人の個性や才能を引き出していく特別支援教育を推進する拠点を開設し、支援の充実を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
特別支援教育サポートセンターの開設と支援の充実	開設・支援ソフト導入等		

③ 魅力ある教育施設の整備と学習環境の充実

良好な教育施設の整備

良好で安全安心な教育施設の整備に向け、学校施設の計画的な長寿命化のほか、小中学校の特別教室における空調設備の整備を計画的に推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
学校施設の長寿命化の推進		推進	
特別教室の空調設備の整備		推進	

児童生徒の学習環境の充実

デジタル化や外部人材の活用を推進し、GIGAスクール環境の充実を図るとともに、学校司書の計画的な専任配置の推進により、児童生徒の読書活動の向上を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
GIGAスクール環境の充実	拡充		
学校図書館の充実		学校司書の増員	

共同調理場の整備推進

安全でおいしい学校給食を安定的に提供するため、共同調理場の整備を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
南部共同調理場(仮称)の整備	整備・供用開始		

取組の方向性

① 学生のまちへの愛着の醸成

- 学生の視点や行動力を生かしたまちづくり活動の推進や、大学と連携した学生と社会人の交流促進などを通して、学生のまちへの愛着を醸成します。

② 未来を担う若い世代の社会参画の促進

- 未来へつなぐ金沢行動会議の活動推進や、創造性豊かな青少年の育成に取り組み、未来を担う若い世代の社会参画を促進します。

③ 高等教育機関との連携による人材の輩出と
学術活動に資する基盤・施設整備

- 大学等との連携による地域の課題解決・活性化に向けた学びの場の創出や、地域社会に開かれた金沢美術工芸大学の推進、大学サテライト施設の設置などに取り組み、高等教育機関との連携による人材の輩出と学術活動に資する基盤・施設整備を推進します。

未来へつなぐ
金沢行動会議

金沢美術工芸大学



✿ 主要施策

① 学生のまちへの愛着の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生によるまちづくり活動の推進 ● 学生や若い世代の地元定着の促進
② 未来を担う若い世代の社会参画の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 未来へつなぐ金沢行動会議の活動推進 ● 創造性豊かな青少年の育成 ● 若者の社会や政治に参画する意識の醸成
③ 高等教育機関との連携による人材の輩出と学術活動に資する基盤・施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 高等教育機関等との連携強化 ● 地域社会に開かれた金沢美術工芸大学の推進 ● 大学サテライト機能を持つ施設の設置検討

✿ KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
若い世代が金沢に愛着を持っていると感じる市民の割合	43.5% (R5年度)	54%	65%
市政や社会参加に興味・関心がある市民の割合	44.9% (R5年度)	56%	67%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
若い世代が主体的に取り組むまちづくり企画の事業数【累計】	12事業 (R5年度)	75事業	147事業
新規大学卒業者の県内就職内定率	41.1% (R4年度)	42.5%	45%

✿ 主要事業

① 学生のまちへの愛着の醸成

学生によるまちづくり活動の推進

金沢まちづくり学生会議等と連携し、学生の視点や行動力を生かしたまちづくり活動を推進するほか、地域の行事やごみ削減に向けた取組への学生の主体的な参画を促します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
金沢まちづくり学生会議等の活動推進	拡充		
地域への学生団体等の派遣【再掲】	本格実施		
学生と協働したごみ削減の推進【再掲】	実施		

学生や若い世代の地元定着の促進

市内中小企業における奨学金返還支援への助成や大学と連携した社会人との交流会等を通して、市内の就職や首都圏からのUJITアーン就業を促進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
学生の地元就職への支援	拡充		
学生と社会人の交流の推進	実施		

② 未来を担う若い世代の社会参画の促進

未来へつなぐ金沢行動会議の活動推進

未来へつなぐ金沢行動会議が取り組むまちづくり企画の実践などを通して、若い世代のまちへの愛着の醸成や積極的なまちづくりへの参画を促します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
未来へつなぐ金沢行動会議の活動充実	拡充		

創造性豊かな青少年の育成

青少年の社会参画の促進と青少年団体活動の更なる活性化を図り、地域社会の担い手として活躍できる人材を育成します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
青少年団体活動の更なる活性化	拡充		

若者の社会や政治に参画する意識の醸成

社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動する若者の育成に取り組み、社会や政治に対する関心を深めます。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
学生による選挙啓発活動への支援	拡充		

③ 高等教育機関との連携による人材の輩出と学術活動に資する基盤・施設整備

高等教育機関等との連携強化

高等教育機関等の知見や学生の行動力を生かし、地域課題の解決や地域の活性化、人材育成に資する実践型授業を開講するとともに、社会人の学び直しを支援します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
地域の活性化に寄与する実践型授業の推進	拡充		
大学と連携した社会人の学び直しの推進		推進	

地域社会に開かれた金沢美術工芸大学の推進

金沢美術工芸大学が持つ専門知識や技術のさらなる活用を図るため、地元中小企業との連携を強化するための「社会共創センター」を設置するほか、市民向け美術工芸体験講座を開設します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
社会共創センターの設置	実施		
市民向け美術工芸体験講座の開設【再掲】	実施		

大学サテライト機能を持つ施設の設置検討

まちなかに学生を呼び込むとともに、地域における学術活動を促進する拠点の設置を検討します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
大学サテライト機能を持つ施設の設置検討	検討		

学びの文化の形成と 情操教育の推進

取組の方向性

① 地域の歴史・文化を学ぶ機会の充実

- 文化施設を活用したふるさと教育環境の充実や、市立図書館におけるふるさとの情報発信等に取り組み、地域の歴史・文化を学ぶ機会の充実を図ります。

② 生涯を通じて学び続ける環境の整備

- 公民館等における学習活動のさらなる推進や、家庭教育の推進などに取り組み、生涯を通じて学び続ける環境を整備します。

③ 文化芸術体験による豊かな心と創造力の育成

- 子ども向け文化体験イベントの開催や、保育所等における情操教育の推進などを通じて、未来を担う子どもの豊かな心と創造力を育成します。



子どもの文化芸術体験のイメージ



金沢ふるさと偉人館

✿ 主要施策

① 地域の歴史・文化を学ぶ機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●文化施設を活用したふるさと教育環境の充実 ●市立図書館における地域の歴史・文化の発信
② 生涯を通じて学び続ける環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●公民館等における生涯学習活動の推進 ●家庭教育の推進 ●子どもの読書活動の推進 ●宇宙教育活動の充実
③ 文化芸術体験による豊かな心と創造力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども向け文化体験イベントの開催 ●豊かな情操を育む環境の充実 ●子どもアート工房の開設

✿ KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
地域の歴史や文化に興味がある市民の割合	48.8% (R5年度)	61%	73%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
市立図書館の年間利用者数	90万人 (R4年度)	95万人	100万人
文化芸術プログラムを実施する保育所等の施設数	90施設 (R5年度)	120施設	149施設
「子ども塾」の修了者数【累計】	740人 (R4年度までの累計)	993人	1,194人

4 学びの文化の形成と情操教育の推進

● 主要事業

1 地域の歴史・文化を学ぶ機会の充実

文化施設を活用したふるさと教育環境の充実

金沢ふるさと偉人館を拠点とした偉人教育を推進するなど、ふるさとの自然や社会、文化、偉人について学び、まちへの愛着と誇りを醸成する機会の充実を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
金沢ふるさと偉人館の観覧の無料化	検討		

市立図書館における地域の歴史・文化の発信

市立図書館において、地域の歴史や文化に関連した資料の展示等を行うとともに、「かなざわ偉人物語」を電子書籍化し、市民が地域の歴史や文化を学ぶ機会の充実を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
地域の歴史・文化に関連した資料の展示等	実施		
電子書籍の作成・活用	実施		

2 生涯を通じて学び続ける環境の整備

公民館等における生涯学習活動の推進

生涯にわたり学び続け活躍できる人材を育成するため、公民館等における生涯学習活動への参加を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
公民館等における生涯学習活動の推進		推進	

家庭教育の推進

地域・家庭・学校など、社会全体で家庭教育を支える体制づくりに取り組むとともに、SNS等を活用した効果的な情報発信を行うなど、家庭の教育力の向上を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
家庭教育の推進	拡充		

子どもの読書活動の推進

家庭・学校・保育施設・図書館等において、子どもが読書に親しみを持てるよう、読書機会の確保と環境整備を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
金沢子ども読書 推進プランの実践	拡充		

宇宙教育活動の充実

「月の石」等の魅力ある宇宙教育関連展示の充実を図り、天体・宇宙の最新情報が学習できる施設としてのキゴ山ふれあい研修センターの機能を強化します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
天文学習棟の 展示リニューアル	基本計画策定		
「月の石」等の展示	暫定展示 基本・実施設計		

③ 文化芸術体験による豊かな心と創造力の育成

子ども向け文化体験イベントの開催

子どもが気軽に音楽や伝統文化に親しむ機会を提供し、豊かな心と創造力の育成を図るとともに、文化芸術への理解や関心を高めます。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
子ども向け文化芸術体験 イベントの開催【再掲】		推進	

豊かな情操を育む環境の充実

保育所等において園独自の文化芸術プログラムによる情操教育を推進するとともに、児童館・放課後児童クラブにおいて、文化芸術体験や創作活動の機会を創出するほか、児童生徒を対象に、文化芸術や伝統芸能の鑑賞を通した学習の機会を提供します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
保育所等における 情操教育の推進	拡充		
児童館・放課後児童クラブ での文化芸術体験の実施	本格実施		
文化芸術体験を通した 学習の推進	拡充		

子どもアート工房の開設

企業等から提供された素材を活用した芸術活動を体験できる子どもアート工房を開催し、幼児期の芸術・創作体験を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
子どもアート工房での芸術・創作活動の推進	モデル実施		



基本方針

4

創造・変革
により
成長するまち

～仕事づくり～

取組の方向性

① DX・GXの推進と文化・産業の融合による産業活性化

- 金沢未来のまち創造館における新たな価値の創造のほか、中小企業等におけるデジタル化や、再生可能エネルギー活用における新製品開発への支援に取り組み、DX・GXの推進と文化・産業の融合による産業活性化を図ります。

② 産学官金の連携による付加価値の高い産業の創出

- 民間と連携した次世代ICT人材育成拠点の構築や、金沢美術工芸大学と地元中小企業との連携強化などに取り組み、産学官金の連携による付加価値の高い産業の創出を目指します。

③ 起業などに挑戦する学生・若い世代・女性等への支援の充実

- 起業家の輩出・成長を促進する体制の強化や、起業家育成プログラムの推進に取り組むなど、起業などに挑戦する学生・若い世代・女性等への支援を充実します。

④ 金沢発のイノベーションを誘発する企業・クリエイターの誘致

- 高度技術産業等の企業立地の促進や、高等教育機関等の集積を生かした企業誘致の強化、クリエイティブな人材の集積・交流を推進し、金沢発のイノベーションを誘発する企業・クリエイターを誘致します。



工業団地



ICT人材育成のイメージ



主要施策

① DX・GXの推進と文化・産業の融合による産業活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 金沢未来のまち創造館における新たな価値の創造 ● 産業の成長に向けたDX・GXへの支援
② 産学官金の連携による付加価値の高い産業の創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間と連携した次世代ICT人材育成拠点の構築 ● 金沢美術工芸大学と地元中小企業との連携強化 ● 産学官金の連携によるドローンビジネスの産業化の推進
③ 起業などに挑戦する学生・若い世代・女性等への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 起業家の輩出・成長を促進する体制の強化 ● 起業家育成プログラムの推進
④ 金沢発のイノベーションを誘発する企業・クリエイターの誘致	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな工業団地のあり方検討 ● 高等教育機関等の集積を生かした企業誘致の強化 ● クリエイティブな人材の集積・交流の推進

KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
金沢の産業が活性化していると感じる市民の割合	48.6% (R5年度)	53%	58%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
先端デジタル技術を活用し、新たに取り組む実証実験・社会実装の事業数【累計】	R5年度開始	12事業	22事業
創業支援事業計画に基づき支援した創業者数【累計】	954人 (H26~R4年度までの累計)	1,608人	2,153人
クリエイターやICTエンジニア等の誘致件数【累計】	7件 (R1~5年度までの累計)	12件	22件

主な施策

仕事づくり

✿ 主要事業

① DX・GXの推進と文化・産業の融合による産業活性化

金沢未来のまち創造館における新たな価値の創造

最先端技術による新たなビジネスや食・工芸に付加価値を生み出すためのスタートアップ・新ビジネスの創出、独創的で卓越した人材の育成、本市の強みである食の価値創造等に取り組むとともに、これらの取組の相互連携を図りながら、金沢でしか生み出しえない新たな価値の創造を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
スタートアップ事業や新ビジネスの創出		推進	
子供の独創力育成		推進	
食の価値創造		推進	

産業の成長に向けたDX・GXへの支援

デジタル化の進展や、カーボンニュートラルの推進などに対応するため、中小企業におけるDX・GXを支援します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
中小企業DX相談窓口による支援	拡充		
GXなどの重点分野における新製品開発への支援【再掲】		推進	

② 産学官金の連携による付加価値の高い産業の創出

民間と連携した次世代ICT人材育成拠点の構築

石川県情報システム工業会と連携し、ITビジネスプラザ武蔵に次世代ICT人材の育成拠点を構築します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
次世代ICT人材育成拠点の構築	実施		

金沢美術工芸大学と地元中小企業との連携強化

地元中小企業との連携を強化するための「社会共創センター」を設置します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
社会共創センターの設置 【再掲】	実施		

産学官金の連携によるドローンビジネスの産業化の推進

中高生等を対象にドローンビジネスに資する人材の育成に取り組むほか、大学や企業のドローンを活用した市民生活の向上に資する実証実験や社会実装を支援します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
ドローンビジネスに資する人材育成	実施		
ドローンを活用した社会実験等の支援	実施		

③ 起業などに挑戦する学生・若い世代・女性等への支援の充実

起業家の輩出・成長を促進する体制の強化

若者や女性起業家のスタートアップや、起業家間のネットワーク構築を支援し、起業家を支え応援する体制の充実を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
若者や女性起業家への支援	拡充		

起業家育成プログラムの推進

高校生や小中学生向けの起業家育成プログラムの充実など、起業家精神の醸成を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
起業家育成プログラムの推進	拡充		

④ 金沢発のイノベーションを誘発する企業・クリエイターの誘致

新たな工業団地のあり方検討

金沢テクノパークにおける高度技術産業等の企業立地を促進するほか、新たな工業団地のあり方を検討します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
新たな工業団地のあり方検討	検討		

高等教育機関等の集積を生かした企業誘致の強化

大学と連携し、研修型ワーケーションの開催を支援するなど、高等教育機関の集積を生かした企業誘致を強化します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
大学との連携による企業誘致	実施		

クリエイティブな人材の集積・交流の推進

クリエイターやICTエンジニア等の積極的な誘致により、人材の集積・交流による新産業創出を促進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
リモートワーク人材の集積促進	実施		
金沢AIビレッジの形成促進		推進	

あらゆる世代の多様な人材の活躍と働き方の推進

取組の方向性

① 誰もが活躍でき働きがいを感じられる環境の実現

- 多様な企業人材の確保に向けた支援や、障害のある人の就労機会の提供、仕事と家庭の両立の推進などに取り組み、誰もが活躍でき働きがいを感じられる環境の実現を目指します。

② 高度な専門知識と技能を有する人材の育成とグローバル化への対応強化

- 未来に活躍する人材の輩出や、ものづくり技能習得への支援、国際的に活躍する人材との交流の推進などに取り組み、高度な専門知識と技能を有する人材の育成とグローバル化への対応強化を図ります。

③ デジタル人材の育成や技能の学び直しによる企業の生産性向上

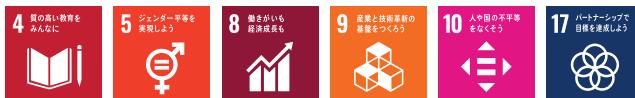
- 中小企業における従業員や離職者の再雇用に伴うリスクリミングへの支援などを通して、デジタル人材の育成や技能の学び直しによる企業の生産性向上に取り組みます。



女性の活躍



スマートワーク



主要施策

<p>1 誰もが活躍でき 働きがいを感じられる 環境の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な企業人材の確保に向けた支援 ● 障害のある人の就労機会の提供 ● 仕事と家庭の両立の促進 ● 多様な働き方の推進
<p>2 高度な専門知識と技能を 有する人材の育成と グローバル化への対応強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 未来に活躍する人材の輩出 ● 高度な知識や技能の習得促進 ● グローバル人材の育成
<p>3 デジタル人材の育成や 技能の学び直しによる 企業の生産性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 中小企業におけるデジタル人材の育成 ● 従業員のリスキリングへの支援

KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
働きがいや生きがいを感じている市民の割合	65.5% (R5年度)	72%	79%
職場や家庭において、性別等に関わらず誰もが共に活躍できる環境が整っていると感じる市民の割合	48.2% (R5年度)	60%	72%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
はたらく人にやさしい事業所表彰企業数【累計】	67社 (R4年度までの累計)	107社	140社
海外交流事業への参加者数【累計】	16人 (R5年度までの累計)	111人	206人
中小企業における リスキリングへの支援件数【累計】	R5年度開始	25件	50件

主な施策

仕事づくり

✿ 主要事業

① 誰もが活躍でき働きがいを感じられる環境の実現

多様な企業人材の確保に向けた支援

企業における無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)の解消を図るとともに、女性のキャリア登用を促進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
女性が働きやすい職場環境の整備促進	実施		
女性のキャリア登用の促進	実施		

障害のある人の就労機会の提供

就労に必要な知識や能力の向上のための訓練等を支援するほか、林福連携による就労機会の創出を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
障害のある人の就労支援の推進		推進	
林福連携による苗木生産の推進【再掲】	実施		

仕事と家庭の両立の促進

男性の育児参加を推進するなど、子育て世代の仕事と育児の両立を支援します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
男性の育児休業取得の拡充【再掲】	実施		

多様な働き方の推進

ICTの活用により、場所や時間に縛られないスマートワークの導入を促進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
スマートワーク導入への支援		推進	

② 高度な専門知識と技能を有する人材の育成とグローバル化への対応強化

未来に活躍する人材の輩出

金沢未来のまち創造館やITビジネスプラザ武蔵を拠点に、独創的で卓越した知識・技能を持つ人材を育成します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢未来のまち創造館における子供の独創力育成【再掲】	推進		
次世代ICT人材育成拠点の構築【再掲】	実施		

高度な知識や技能の習得促進

本市ものづくり産業の次代の担い手となる、中小企業の若手社員や高校生の、高度な知識や技能の習得や、資格取得を支援します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
ものづくり技能習得への支援	推進		

グローバル人材の育成

子どもや起業家のグローバルな視点を養うため、国際的に活躍する人材との交流を推進します。また、地域の国際化を担うグローバル人材を育成するため、石川中央都市圏での若い世代を対象としたセミナーや交流活動を行います。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢未来のまち創造館における海外交流の推進	拡充		
若い世代のグローバル人材育成	実施		

③ デジタル人材の育成や技能の学び直しによる企業の生産性向上

中小企業におけるデジタル人材の育成

中小企業におけるデジタル人材の育成に向けたリスクリングを支援するとともに、金沢未来のまち創造館においてDX相談窓口を開設します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
中小企業におけるデジタル人材の育成支援		推進	
中小企業DX相談窓口による支援【再掲】	拡充		

従業員のリスクリングへの支援

離職者の再雇用に伴うリスクリングや、ものづくり企業における高度な知識や技術の習得を図るためのリスクリングを支援します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
離職者の再雇用に伴うリスクリングへの支援		推進	
ものづくり企業のリスクリングへの支援		推進	

取組の方向性

① 社会の要請や住民ニーズに即した多角的な商店街機能の構築

- 商店街の新たな機能・価値の創出や、外部人材との連携による商店街の活性化などを推進し、社会の要請や住民ニーズに即した多角的な商店街機能の構築を目指します。

② 次代を担う産業人材の育成・確保と事業承継への支援

- 産学官連携によるものづくり教育コンソーシアムの構築や、子どもの職業体験機会の充実を通して、次代を担う産業人材の育成・確保を図るとともに、後継者不足の実態やニーズに即した事業承継への支援に取り組みます。

③ 世界を意識した戦略的な市場開拓への支援

- 中小企業の海外販路開拓や世界的なアートフェアなど、世界を意識した戦略的な市場開拓への支援に取り組みます。

④ 金沢の個性である伝統工芸品産業の継承と振興への支援

- 工房の開設支援や人的ネットワークの構築など工芸を未来に伝える環境を充実するとともに、後継者育成や新たな需要創出を図るなど、金沢の個性である伝統工芸品産業の継承と振興への支援に取り組みます。



中心商店街でのイベントの様子



ものづくり産業の継承・発展



主要施策

1 社会の要請や 住民ニーズに即した 多角的な商店街機能の構築	<ul style="list-style-type: none"> 時代の変化に即した商店街の新たな機能・価値の創出 外部人材との連携による商店街の活性化
2 次代を担う 産業人材の育成・確保と 事業承継への支援	<ul style="list-style-type: none"> 次期ものづくり戦略の策定 ものづくり教育コンソーシアムの構築 子どもの職業体験機会の充実 事業承継の促進
3 世界を意識した戦略的な 市場開拓への支援	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業の海外販路開拓への支援 世界的なアートフェア等への出展支援
4 金沢の個性である 伝統工芸品産業の 継承と振興への支援	<ul style="list-style-type: none"> 工芸を未来に伝える環境の充実 伝統工芸品産業の振興

KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
商店街に魅力や集客力があると感じている市民の割合	37.1% (R5年度)	46%	56%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
事業承継に寄与する取組への支援件数【累計】	R6年度開始	10件	20件
海外見本市出展等への支援件数【累計】	61件 (R4年度までの累計)	85件	105件
工芸工房の開設・改修への支援件数【累計】	28件 (R4年度までの累計)	47件	62件

✿ 主要事業

① 社会の要請や住民ニーズに即した多角的な商店街機能の構築

時代の変化に即した商店街の新たな機能・価値の創出

中心商店街が主体となって行う新たな将来像の策定を支援し、商店街の新たな機能・価値の創出を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
中心商店街の 新たな将来像の策定支援	実施		

外部人材との連携による商店街の活性化

商店街が地域住民との交流促進等を目的として実施するイベント等において、学生など外部人材による運営への参画を促進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
外部人材と連携した 商店街活動への支援	実施		

② 次代を担う産業人材の育成・確保と事業承継への支援

次期ものづくり戦略の策定

人手不足への対策を含め、本市のものづくり産業の基盤強化を目指し、次期ものづくり戦略を策定します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
次期ものづくり戦略の 策定	実施		

ものづくり教育コンソーシアムの構築

市立工業高校と産業界・高等教育機関等が連携し、ものづくり教育コンソーシアムを構築します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
ものづくり教育 コンソーシアムの構築	実施		

子どもの職業体験機会の充実

職業体験や地元ものづくり企業との交流等など、児童生徒がものづくりの楽しさや大切さを体験する機会を創出します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
職業体験や生産現場見学会等の実施	拡充		

事業承継の促進

商店街・工業団地等の事業所数の減少や経営者の高齢化など、後継者不足の実態やニーズに即して、事業承継を促進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
事業承継に向けた取組の促進	検討		

③ 世界を意識した戦略的な市場開拓への支援

中小企業の海外販路開拓への支援

ものづくり企業の海外販路拡大に向けて、市内中小企業者等の国際見本市への出展等を支援するほか、若手工芸作家の経営力向上を目指し、専門家の派遣による伴走型支援を実施します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
中小企業の海外販路開拓への支援	拡充		
若手工芸作家への伴走型支援	実施		

世界的なアートフェア等への出展支援

若手工芸作家の新たな販路拡大に向け、海外展覧会への出展等を支援します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
海外展覧会への出展等支援 【再掲】	拡充		

④ 金沢の個性である伝統工芸品産業の継承と振興への支援

工芸を未来に伝える環境の充実

金沢の工芸の普及振興を図るため、金沢卯辰山工芸工房、金沢美術工芸大学、金沢クラフトビジネス創造機構による人的ネットワークを構築するほか、作り手の工房開設を支援するなど創作活動の場を整備します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
工芸の人的ネットワーク構築	実施		
工房の開設・改修への支援		推進	

伝統工芸品産業の振興

宿泊施設や料亭等に対して金沢の工芸を用いた装飾品等の購入を支援するほか、伝統工芸品などの技術の継承に向けた取組を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
宿泊施設・料亭等地元企業への工芸品の普及促進	実施		
伝統工芸品の技術の継承【再掲】		推進	
手仕事を学ぶ専門塾の開講	拡充		

取組の方向性



① 多様な担い手の育成・確保と経営基盤の強化

- 新規就農者の確保や経営安定化への支援、森林資源の適正な管理、林業参入への支援などに取り組み、多様な担い手の育成・確保と経営基盤の強化を図ります。

② 先端技術の活用による生産技術の継承・向上

- 省力化・生産性向上に向けた農業機械の導入等によるスマート農業や、AI等デジタル技術を活用したスマート林業を推進し、先端技術の活用による生産技術の継承・向上を図ります。

③ 地元農水産物のブランド力向上と金沢産材の普及促進

- 加賀野菜や金沢そだちの消費拡大や、金沢の海の幸の魅力発信、市営造林の主伐による金沢産材の供給拡大などに取り組み、地元農水産物のブランド力向上と金沢産材の普及促進を目指します。

④ 豊かな食文化を支える物流環境の整備

- 北陸の生鮮食料品流通のハブ拠点となる中央卸売市場の再整備や、卸・仲卸事業者の物流機能の強化などに取り組み、豊かな食文化を支える物流環境の整備を推進します。



スマート農業



中央卸売市場



スマート林業



✿ 主要施策

<p>① 多様な担い手の育成・確保と 経営基盤の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農業の担い手育成 経営安定化への支援 環境に配慮した農業への理解促進 林業の担い手育成・確保 森林資源の適正な管理
<p>② 先端技術の活用による 生産技術の継承・向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業の推進 スマート林業の推進
<p>③ 地元農水産物の ブランド力向上と 金沢産材の普及促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 加賀野菜や金沢そだちの消費拡大 金沢の海の幸の魅力発信 市営造林の主伐による金沢産材の供給拡大 金沢産材の利用促進
<p>④ 豊かな食文化を支える 物流環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中央卸売市場の再整備 中央卸売市場の物流機能の強化

✿ KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
地元農水産物が、金沢の誇れる地域資源だと 感じている市民の割合	82.6% (R5年度)	87%	90%以上

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
金沢農業大学校修了生の就農者数【累計】	114人 (R4年度までの累計)	158人	193人
スマート農業機械の導入支援台数【累計】	R6年度開始	60台	100台
金沢産材の供給量	8,000m ³ (R4年度)	13,000m ³	14,000m ³ 以上
中央卸売市場の年間取扱数量	123,889t (R4年度)	150,000t	150,000t以上

主な施策

仕事づくり

4 次代につなぐ魅力ある農林水産業の振興

● 主要事業

1 多様な担い手の育成・確保と経営基盤の強化

農業の担い手育成

金沢農業大学校において実践的な人材を育成し、就農・定着を推進するほか、女性の就農を支援します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
農業大学校における人材育成		推進	
女性の就農支援		推進	

経営安定化への支援

農業経営に関する専門アドバイザー等を派遣するほか、農業大学校研修生等に対し、就農直後における経営開始資金等を支援するなど、新規就農者に対する経営安定化を支援します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
専門アドバイザーの派遣	実施		
経営開始資金等の支援	拡充		

環境に配慮した農業への理解促進

環境への負荷を減らした環境保全型農業について、生産者や消費者の理解を深め、普及促進を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
環境保全型農業への理解促進	実施		

林業の担い手育成・確保

金沢林業大学校において技術と知識を兼ね備えた優れた担い手を育成するほか、林業参入に必要な機械導入などを支援し、多様な担い手の確保を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
林業大学校における人材育成		推進	
林業参入への支援	実施		

森林資源の適正な管理

森林所有者の経営や管理への理解を深め、森林の適正な管理を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
森林経営管理制度の推進		推進	

② 先端技術の活用による生産技術の継承・向上

スマート農業の推進

省力化や生産性の向上につながるスマート農業機械等の導入を促進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
スマート農業機械等の導入支援	拡充		

スマート林業の推進

ドローンやAIなど最新のデジタル技術を活用したスマート林業を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
最新デジタル技術を活用したスマート林業の推進	拡充		

③ 地元農水産物のブランド力向上と金沢産材の普及促進

加賀野菜や金沢そだちの消費拡大

首都圏等における加賀野菜のPRを強化し、消費拡大や販路開拓を推進するとともに、希少品目の存続と消費拡大に向け、地元飲食店等と連携した取組を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
加賀野菜等の消費拡大や販路開拓の取組強化		推進	
希少品目の存続と消費拡大の推進		推進	

金沢の海の幸の魅力発信

海幸金沢や、ブランド魚種である金沢甘えび、加能ガニ金沢、金沢香箱の普及促進と魅力発信に取り組み、さらなる消費拡大を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
海幸金沢の普及促進と魅力発信		推進	

市営造林の主伐による金沢産材の供給拡大

林業経営に適した森林の主伐・再造林を推進するとともに、再造林における少花粉樹木の植栽や林福連携による苗木生産を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
市営造林の主伐	本格実施		
主伐後の再造林と花粉対策の推進	実施		
林福連携による苗木生産の推進	実施		

金沢産材の利用促進

金沢産材の普及啓発やPR活動を実施するほか、公共施設等での積極的な利活用を行うとともに、住宅等への利用など地産地消を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
金沢産材の地産地消の促進	拡充		

④ 豊かな食文化を支える物流環境の整備

中央卸売市場の再整備

生鮮食料品の安心・安全で安定した供給を図るため、令和8年の工事着手を目指し、品質管理と物流効率化された卸売市場の再整備を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
中央卸売市場の再整備	基本設計・実施設計・建設工事		
電動無人搬送機(AGV)の導入	実証実験		

中央卸売市場の物流機能の強化

卸・仲卸事業者の物流機能の強化に向け、新たな産地や販路の開拓、食品加工技術の向上に支援するとともに、市場を支える若手人材の定着・育成を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
集荷力・販売力の強化	実施		
市場を支える若手人材の定着・育成	実施		



基本方針

5

活力と個性があふれ、
安全で
持続可能なまち

～都市づくり～

取組の方向性



① 骨格となる都心軸の再興

- 都市再生特別措置法の活用や日本銀行金沢支店跡地の利活用などに取り組み、骨格となる都心軸の再興を目指します。

② 多様な文化活動と地域経済が循環する中心市街地の形成

- ナイトタイムエコノミーや、中心商業地における文化芸術体験の推進などに取り組み、多様な文化活動と地域経済が循環する中心市街地の形成を図ります。

③ 居心地よく過ごせる空間の創出と魅力ある歩行環境の整備

- 歩きたくなる歩行空間の創出や、自転車を利用しやすい環境の充実などを通して、居心地よく過ごせる空間の創出と魅力ある歩行環境の整備に取り組みます。

④ 老朽ビルの更新や再開発などによるまちなかの価値向上

- 官民連携によるエリアリノベーションを推進するとともに、老朽建築物の建替えの促進や片町地区における市街地再開発の推進に取り組み、まちなかの価値向上を目指します。



金沢駅から片町に至る都心軸



日本銀行金沢支店跡地



✿ 主要施策

① 骨格となる都心軸の再興	<ul style="list-style-type: none"> ●都市再生特別措置法の活用 ●都市軸エリアの価値向上 ●日本銀行金沢支店跡地の利活用
② 多様な文化活動と地域経済が循環する中心市街地の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●ナイトタイムエコノミーの推進 ●中心市街地のにぎわい創出
③ 居心地よく過ごせる 空間の創出と 魅力ある歩行環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●歩きたくなる歩行空間の創出 ●自転車を利用しやすい環境の充実
④ 老朽ビルの更新や 再開発などによる まちなかの価値向上	<ul style="list-style-type: none"> ●官民連携によるエリアリノベーションの推進 ●都心軸沿線における老朽建築物の建替えの促進 ●片町四番組海側・山側両地区における 市街地再開発の推進

✿ KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
中心市街地に魅力を感じている市民の割合	60.7% (R5年度)	67%	73%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
中心商店街エリアの来街者数	57,639人 (R5年度)	上昇 ※「中心市街地活性化基本計画」の 数値目標の変更に合わせて設定	
老朽ビルの更新率(片町エリア)	29% (R4年度)	32%	38%

1

魅力あふれる中心市街地の活性化

 主要事業

① 骨格となる都心軸の再興

都市再生特別措置法の活用

都市再生特別措置法を活用し、民間による開発の機運を高め、金沢駅から武蔵ヶ辻、南町、香林坊、片町に至る都心軸エリア全体の面的整備を促進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
都市再生緊急整備地域の指定	準備協議会設立		

都市軸エリアの価値向上

官民連携による、居心地が良く、滞在し、歩きたくなる公共空間の創出を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
公共空間の創出の検討	検討		

日本銀行金沢支店跡地の利活用

日本銀行金沢支店跡地について、求められる機能を実現するための整備手法等を検討し、早期の利活用を目指します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
日本銀行金沢支店跡地の利活用	整備手法等検討		

② 多様な文化活動と地域経済が循環する中心市街地の形成

ナイトタイムエコノミーの推進

夜間における観光コンテンツづくりや、文化施設を活用したイベントの開催を通して、ナイトタイムエコノミーを推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
夜の観光コンテンツづくりの推進【再掲】		推進	
夜の文化イベントの開催		推進	

中心市街地のにぎわい創出

まちなかにて市民や来街者が楽しめる文化芸術イベント等の開催や、犀川周辺の公共空間の利活用を促進するなど、中心商業地や周辺地域における新たな魅力創出を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
まちかど文化芸術 プログラムの推進【再掲】	検討	体制整備・モデル実施・本格実施	
犀川周辺エリアの 利活用促進	拡充		
中心商店街の新たな 将来像の策定支援【再掲】	実施		

③ 居心地よく過ごせる空間の創出と魅力ある歩行環境の整備

歩きたくなる歩行空間の創出

歩けるまちづくり協定の見直し・拡大を図るとともに、道路修景や再開発等により歩行環境の整備、歩行者用サインの見直しなどに取り組み、歩きたくなる歩行空間を創出します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
歩けるまちづくりの推進	協定見直し・拡大		
柿木畠ゾーンにおける 都市機能向上	道路修景		
片町四番組海側地区の 再整備【再掲】	基本設計・事業計画 作成		
片町四番組山側地区の 再整備【再掲】	基本計画策定 準備組合設立		
魅力あるまち歩きサインの 整備	検討		整備

自転車を利用しやすい環境の充実

自転車・歩行者双方が安全に通行できる空間などを計画的に整備します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
自転車通行空間等の整備		推進	

④ 老朽ビルの更新や再開発などによるまちなかの価値向上

官民連携によるエリアリノベーションの推進

民間活力による広場等の空間を生かしたまちなかのにぎわい創出などを通して、エリアの価値向上を目指します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
官民連携による広場等の にぎわい創出	検討		

都心軸沿線における老朽建築物の建替えの促進

防災性の向上と持続的なまちなかの発展を図るために、都心軸における老朽建築物の最適な更新手法を検討し、民間主導による建替えを促進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
最適な更新手法の検討	検討		

片町四番組海側・山側両地区における市街地再開発の推進

片町地区の市街地再開発事業を支援し、にぎわいの創出と防災性の向上を図るとともに、都心軸の連続性や回遊性を高めます。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
片町四番組海側地区の 再整備	基本設計・事業計画 作成		
片町四番組山側地区の 再整備	基本計画策定 準備組合設立		

歴史や自然と調和した 都市景観の形成

取組の方向性

1 歴史に培われた景観の保全と創出

- 魅力ある都市景観やまちの風情を感じる夜間景観の充実に取り組み、歴史に培われた景観の保全と創出を図ります。

2 無電柱化による良好な景観形成

- 重要伝統的建造物群保存地区やまちなかにおける無電柱化を加速化することで、良好な景観を形成します。

3 市民との協働による緑の資産の保全・継承

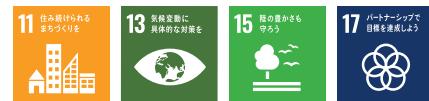
- 市民の緑化意識の啓発や、公共施設等における緑の空間の創出、公園の再生・利活用などに取り組み、市民との協働による緑の資産の保全・継承を図ります。



長町景観地区



無電柱化のイメージ



主要施策

1 歴史に培われた景観の保全と創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 魅力ある都市景観の充実 ● まちの風情を感じる夜間景観の充実
2 無電柱化による良好な景観形成	<ul style="list-style-type: none"> ● 重要伝統的建造物群保存地区やまちなかの無電柱化の推進 ● 無電柱化を加速するための最適な整備方式の検討
3 市民との協働による緑の資産の保全・継承	<ul style="list-style-type: none"> ● 緑化の推進 ● 斜面緑地の保全と活用 ● 卯辰山公園の魅力向上 ● 公園の再生・利活用の推進

KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
美しい都市景観が形成されていると感じる市民の割合	80.6% (R5年度)	85%	89%
まちなかに緑や自然が多いと感じている市民の割合	79.9% (R5年度)	84%	88%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
計画路線における無電柱化の実施率	- (R5年度)	30%	76%

主要事業

1 歴史に培われた景観の保全と創出

魅力ある都市景観の充実

長町景観地区の保全をはじめ、市民や民間事業者との理解と協力を促し、地域の暮らしや歴史・文化に根ざした美しく魅力ある景観を磨き高めます。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
長町景観地区の保全と 魅力の向上		推進	
まちの格を高める 広告景観の形成	検討		
仮囲いを活用した 都心軸の景観の向上	モデル実施		

まちの風情を感じる夜間景観の充実

まちなかの景観資源のライトアップを充実させ、連なりのある魅力的な夜間景観を創出するとともに、夜間における回遊性の向上を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
まちの風情を感じる 夜間景観の創出		推進	

2 無電柱化による良好な景観形成

重要伝統的建造物群保存地区やまちなかの無電柱化の推進

歴史的景観や文化的景観の維持向上を図るため、重要伝統的建造物群保存地区やまちなかにおける無電柱化を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
無電柱化整備		推進	

無電柱化を加速するための最適な整備方式の検討

無電柱化を加速するための最適な整備方式について、早期着手路線の一体的な調査を実施します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
無電柱化を加速するための 最適な整備方式の調査	実施		

③ 市民との協働による緑の資産の保全・継承

緑化の推進

緑の都市宣言50周年を契機に、花と緑の魅力を市民に発信し、民有地の緑化を推進するとともに、公共施設等において緑の空間を創出し、市民や来街者が集い居心地よく過ごせる場を形成します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
市民の緑化意識の啓発	市民推奨花の追加選定		
民有地等の緑化推進		推進	
庁舎前広場における緑の空間の創出	実施		

斜面緑地の保全と活用

地域主体による斜面緑地の保全・活用を支援します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
斜面緑地の保全・活用への支援	検討		

卯辰山公園の魅力向上

市民協働による森づくりを推進し、卯辰山公園の魅力向上を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
市民協働による森づくりの推進	実施		

公園の再生・利活用の推進

地域コミュニティの醸成や子育て支援に資する公園整備を推進するとともに、姉妹都市公園の伝統的文化施設の継承・活用に向けた公園設備を計画的に修復します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
夢ある公園の再生と利活用		推進	
姉妹都市公園の継承・活用 【再掲】		施設の修復・改修	

取組の方向性

① 移住・定住の促進や関係人口の拡大による地域活性化

- 若い世代を中心に首都圏等からの移住・定住の促進を図るとともに、民間企業のノウハウやネットワークを活用した関係人口の創出・拡大などに取り組み、地域活性化を図ります。

② 外部人材の誘致・活用と地域を担うリーダーの育成

- 民間事業者との連携強化や、地域ニーズに応じた地域おこし協力隊の導入、中山間地域における学生等との共創を通して、外部人材の誘致・活用と地域を担うリーダーを育成します。

③ 田園・中山間地域における交流拠点の形成

- 田園・中山間地域において、森と市民をつなぐ拠点の整備や、公共施設等の利活用、地区計画の策定支援などに取り組み、交流拠点の形成を目指します。



地域おこし協力隊



✿ 主要施策

① 移住・定住の促進や 関係人口の拡大による 地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ●首都圏等からの移住の促進 ●関係人口の創出・拡大
② 外部人材の誘致・活用と 地域を担うリーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> ●民間事業者との連携強化 ●地域おこし協力隊の活用 ●学生等との共創による中山間地域のにぎわい創出
③ 田園・中山間地域における 交流拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティの維持・活性化に向けた 地域交流拠点地区の形成 ●森と市民をつなぐ拠点の整備 ●森本地区における公共施設等の利活用

主な施策

都市づくり

✿ KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
多様な人々の交流・活躍により、 地域が元気になっていると感じる市民の割合	43.6% (R5年度)	55%	65%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
県市の施策を活用した県外からの移住者数 【累計】	506人 (R4年度までの累計)	680人	830人
地域おこし協力隊の受入隊員数【累計】	4人 (R4年度までの累計)	14人	21人

◆ 主要事業

① 移住・定住の促進や関係人口の拡大による地域活性化

首都圏等からの移住の促進

移住を検討する人へ効果的な情報発信を行うとともに、企業によるUJIターン採用や、子育て世帯・移住者の住宅取得にかかる費用を支援し、首都圏等からの移住を促進します。また、市内中小企業における奨学金返還支援への助成や首都圏での交流会等を通して、学生の地元就職や首都圏の若い世代のUJIターン就業を促進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
かなざわ暮らしの効果的な情報発信	実施		
子育て世帯・移住者の住宅取得への支援	実施		
学生の地元就職への支援 【再掲】	拡充		

関係人口の創出・拡大

民間企業のノウハウやネットワーク、SNS等を活用し、関係人口の創出・拡大に向けた取組を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
民間提案による関係人口の創出	モデル実施		
SNSを活用した市外在住者への情報発信	実施		

② 外部人材の誘致・活用と地域を担うリーダーの育成

民間事業者との連携強化

幅広い分野における民間企業のノウハウやネットワーク等を生かし、地域社会の持続的な発展や市民サービスの向上等を図るため、民間企業との包括連携協定に基づく取組を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
包括連携協定に基づく連携推進		推進	

地域おこし協力隊の活用

地域のニーズに応じた地域おこし協力隊を募集し、地域課題の解決や活性化に資する地域住民との連携した取組を支援します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
地域おこし協力隊の活用	拡充		

学生等との共創による中山間地域のにぎわい創出

中山間地域のにぎわい創出に向けて、学生等との連携による朝市の活性化策を支援します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
外部の視点を生かした朝市の活性化	実施		

③ 田園・中山間地域における交流拠点の形成

地域コミュニティの維持・活性化に向けた地域交流拠点地区の形成

田園・中山間地域において、地域特性を生かし、地域コミュニティの維持・活性化に向けた交流拠点地区形成を促進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
湯涌地区の拠点地区形成への支援	地区計画策定支援		
三谷地区の拠点地区形成への支援	調査検討	地区計画策定支援	
地域交流拠点地区形成の促進	地域別方針検討	調査検討 地区計画策定支援	

森と市民をつなぐ拠点の整備

森と市民を多面的につなげ、森づくりへの理解と参加を促すことを目的に旧東浅川小学校を活用した木育・森育、林業支援等の拠点施設を整備します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
旧東浅川小学校における拠点整備の推進	実施設計・整備工事	開設	

森本地区における公共施設等の利活用

森本地区において、保育所や小学校の統合が予定される中、地域の活性化に向けて、公共施設の跡地利活用策の検討を進めます。また、森本市民センター及び駅西消防署森本出張所の再整備に向けた方向性についての調査・検討を進めます。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
統合後の保育所の跡地利活用	検討		
三谷小学校の跡地利活用	検討		
森本市民センターの再整備	検討		
駅西消防署森本出張所の再整備	検討		

市民生活を支える 交通ネットワークの確保

取組の方向性

① 快適で安全な交通利用環境の向上と交通機能の連携強化

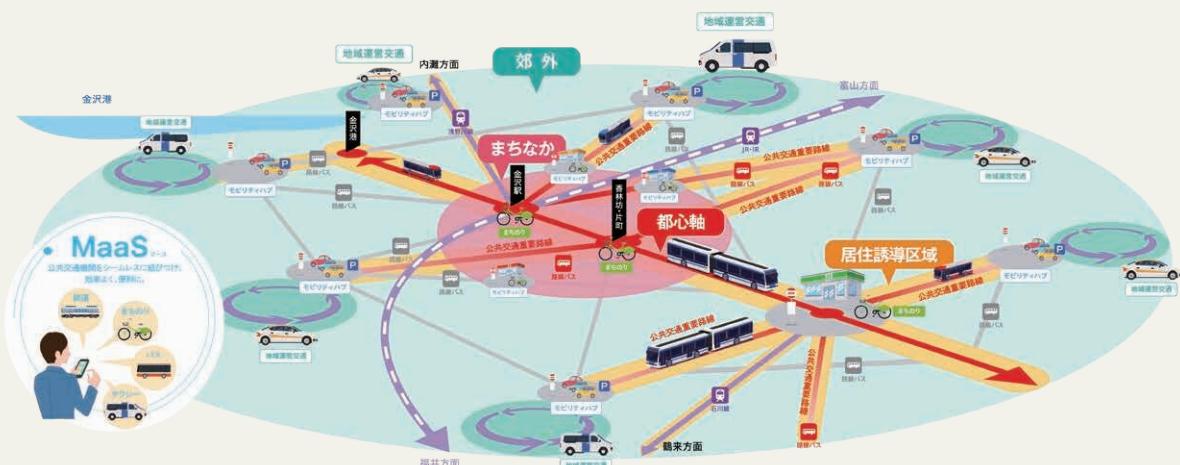
- 交通から暮らしの質を高めるため、石川中央都市圏における公共交通ネットワークの強化や、官民連携による交通結節点の整備・充実、金沢MaaSの推進など、歩行者・自転車・公共交通を優先したまちづくりにより、快適で安全な交通利用環境の向上と交通機能の連携強化を図ります。

② 公共交通の利用促進と交通行動の転換

- 地域運営交通の充実や、公共シェアサイクル「まちのり」とバス・鉄道等が連携した相互利用の促進などに取り組み、公共交通の利用促進と交通行動の転換を図ります。

③ 人流・物流の円滑化・安定化に向けた広域交通基盤の充実

- 幹線道路等における走行環境の改善のほか、金沢港の整備や北陸新幹線全線開業の促進などに取り組み、人流・物流の円滑化・安定化に向けた広域交通基盤の充実を図ります。



本市が目指す交通ネットワークのイメージ

✿ 主要施策

① 快適で安全な交通利用環境の向上と交通機能の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 石川中央都市圏における公共交通ネットワークの強化 ● 官民連携による交通結節点の整備・充実 ● 金沢MaaSの推進 ● キャッシュレス化の推進
② 公共交通の利用促進と交通行動の転換	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域運営交通の充実 ● 公共シェアサイクル「まちのり」の充実 ● 環境負荷の少ないバス車両の導入促進
③ 人流・物流の円滑化・安定化に向けた広域交通基盤の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 幹線道路等における走行環境の改善 ● 金沢港の整備促進 ● 北陸新幹線全線開業の促進

✿ KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
市内の多様な公共交通の利用環境が良いと感じている市民の割合	39.7% (R5年度)	50%	60%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
公共交通の利用者数	86,073人/日以上 (R3年度)	124,400人/日以上	130,000人/日以上
シェアサイクル「まちのり」の利用者の満足度	94.6% (R5年度)	95%以上を維持	

4 市民生活を支える交通ネットワークの確保

◆ 主要事業

① 快適で安全な交通利用環境の向上と交通機能の連携強化

石川中央都市圏における公共交通ネットワークの強化

広域的な交通ネットワークの維持・拡充を図るための、県や沿線市町、交通事業者と連携し、北陸鉄道線の大量輸送機関としての持続可能性の確保に取り組みます。また、IRいしかわ鉄道線や市町をまたぐ路線バス等の利便性向上を通じ、広域的な交流を促進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
北陸鉄道線の持続可能性の確保	特定事業計画の策定 事業構造の変更	利便性向上策の順次実施・ 老朽化した車両等の更新	
広域的な公共交通の利便性向上		推進	

官民連携による交通結節点の整備・充実

公共交通サービスの維持・高度化を図るため、新しい交通システムの第1段階として、モビリティハブなどの利用環境向上に資する施設等の整備や連節バスの導入を推進するとともに、バスレーンの社会実験等を実施し、歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくりを推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
モビリティハブの整備	実施		
バスレーンの拡充等	社会実験		

金沢MaaSの推進

多様な移動手段による移動と、移動の目的である買物などの多分野のサービスが継ぎ目なく提供される環境を整備し、市民等が便利・自由・快適に移動できるまちづくりを官民連携で進めるため、デジタル交通サービス「のりまっし金沢」の運営など金沢MaaSを推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
「のりまっし金沢」の利便性向上	拡充		
データに基づく公共交通の利活用策の検討	実施		

キヤッショレス化の推進

公共交通の利便性向上や、まちなかのにぎわい創出を図るため、交通事業者が実施する鉄道・バスのキヤッショレス化を支援します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
キヤッショレス決済導入への支援	推進		

② 公共交通の利用促進と交通行動の転換

地域運営交通の充実

郊外部の交通不便地域における移動手段を確保するため、地域が主体となって運行する地域運営交通の導入・運行を支援し、過度に自家用車に依存せず暮らせるまちづくりを推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
地域運営交通の充実	拡充		

公共シェアサイクル「まちのり」の充実

バスや鉄道等と連携し、公共交通ネットワークの強化を図るとともに、第3期「まちのり」の構築により、市民の日常の足としての都市内交通の充実や来街者の回遊性向上を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
バス・鉄道等と連携した相互利用の促進	モデル実施		
第3期「まちのり」の構築	事業者選定 自転車台数・ポート拡大 (第1段階)	自転車台数・ポート拡大 (第2段階)	

環境負荷の少ないバス車両の導入

公共交通の環境負荷をより低減させるため、金沢ふらっとバスを先駆けとして、車両更新にあわせ電動バスを導入します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢ふらっとバスの電動化【再掲】	実施		

③ 人流・物流の円滑化・安定化に向けた広域交通基盤の充実

幹線道路等における走行環境の改善

市民生活を支える交通ネットワークの確保に向け、渋滞発生箇所の対策に取り組むなど、幹線道路や公共交通重要路線の走行環境の改善を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
渋滞発生箇所の走行環境の改善	モデル改良工事		交差点改良整備

金沢港の整備促進

金沢港のさらなる発展を目指し、港湾管理者と連携し、日本海側の拠点港にふさわしい港湾機能の強化を図ります。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
金沢港大水深岸壁の整備		推進	
国際物流拠点としての機能強化		推進	
金石大野埋立用地の利活用促進		推進	

北陸新幹線全線開業の促進

北陸新幹線の整備効果を最大限に引き出すため、大阪までの早期全線開業に向けた取組を促進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
大阪までの全線開業に向けた取組の促進		推進	

災害に強く効率的で質の高い 都市運営の実践

取組の方向性



① 地域との協働による安全・安心の確保

- 令和6年能登半島地震における対応を検証し、防災体制の強化を図るとともに、地区防災計画の策定や消防団の充実強化などに取り組み、地域との協働による安全・安心の確保を図ります。

② 都市防災機能の向上と快適な生活環境の形成

- 総合治水対策や土砂災害対策の推進、水道施設等の強靭化、消防・救急体制の強化などに取り組み、都市防災機能の向上を図るとともに、快適な生活環境を形成します。

③ 都市施設の再編と跡地等の有効活用

- 人口減少・少子高齢化等を踏まえた公共施設等の適正配置を含めた都市施設の再編や、統合・移転に伴う学校跡地等の有効活用に取り組みます。

④ デジタル技術の活用や広域連携の強化による行政サービスの充実

- DXによる市民の利便性向上と行政事務の効率化や、公共工事におけるICTの活用推進、石川中央都市圏域の連携強化などに取り組み、行政サービスの充実を図ります。



災害対策本部

DXプロジェクトチーム



主要施策

① 地域との協働による安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●防災体制の強化 ●既存建築物の耐震化促進と空き家対策の推進 ●市民との協働による流域対策の強化 ●令和6年能登半島地震からの復旧・復興 ●地域の防災力の強化
② 都市防災機能の向上と快適な生活環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●総合治水対策の推進 ●水道施設等の強靭化 ●消防・救急体制の強化 ●民間活力を生かしたインフラマネジメントサイクルの構築 ●土砂災害対策の推進 ●除雪体制の強化
③ 都市施設の再編と跡地等の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設等の適正配置 ●学校跡地等の利活用 ●新しい時代を見据えた市営墓地のあり方検討
④ デジタル技術の活用や広域連携の強化による行政サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●DXによる市民の利便性向上と行政事務の効率化 ●公共工事におけるICTの活用推進 ●上下水道アセットマネジメントの推進 ●石川中央都市圏域の連携強化

KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
災害時に地域で支え合える体制が整っていると感じる市民の割合	27.8% (R5年度)	35%	42%
安全で、安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合	80.2% (R5年度)	84%	88%
行政サービス等におけるデジタル化が進んでいると感じる市民の割合	35.3% (R5年度)	60%	70%

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
地区防災計画を策定した校下(地区)数【累計】	39校下(地区) (R4年度までの累計)	62校下(地区) (R8年度)	-
コミュニティ防災士の新規登録者数【累計】	1,382人 (R4年度までの累計)	1,800人	1,800人以上を維持
石川中央都市圏における連携事業【累計】	95事業 (R5年度)	110事業	125事業

◆ 主要事業

① 地域との協働による安全・安心の確保

防災体制の強化

近年の自然災害の激甚化・頻発化を踏まえ、令和6年能登半島地震における対応を検証し、危機管理体制の強化を図るとともに、地域防災計画や避難所配置、備蓄状況などを見直し、市民の安全・安心の確保に向けた防災体制を強化します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
能登半島地震の対応検証	検証会議の設置		
危機管理体制の強化	防災アドバイザーの設置		
地域防災計画の改定	実施		
避難所の適正配置	避難所のあり方検討	新たな避難所の指定	
計画的な防災備蓄の推進		推進	
避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成	実施		
観光客等の帰宅困難者への対応強化	検討		

地域の防災力の強化

地域の防災力の向上を図るため、市内校下(地区)すべてにおける地区防災計画の策定・見直しを推進するほか、コミュニティ防災士や消防団員の確保・育成に取り組みます。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
特性に応じた地区防災計画策定の推進	実施		
コミュニティ防災士の育成		推進	
消防団の充実強化	拡充		

既存建築物の耐震化促進と空き家対策の推進

木造住宅の耐震改修を一層促進するとともに、増加する空き家の抑制や活用・流通を促進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
既存建築物の耐震改修への支援	耐震促進計画改定		推進
空き家の抑制及び活用・流通の促進	空き家等管理・活用計画改定		推進

市民との協働による流域対策の強化

局地的な大雨等に伴う浸水被害を防ぐため、市民が行う雨水貯留浸透施設の設置を支援するほか、営農者との協働による「田んぼダム」の取組を推進するなど、市民との協働による流域対策を強化します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
雨水貯留浸透施設の設置促進		推進	
田んぼの雨水貯留機能の活用	実施地域選定 モデル実施		本格実施・地区拡大

令和6年能登半島地震からの復旧・復興

公共インフラの早期復旧を図るとともに、被災者の生活再建等を支援するほか、災害からの復興に向けた経済対策を実施します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
被災者への支援	実施		
公共インフラ等の復旧	実施		
能登被災者への支援	実施		
能登被災地への支援につなげる市内の消費喚起と能登の魅力発信	実施		

② 都市防災機能の向上と快適な生活環境の形成

総合治水対策の推進

河川改修や雨水管渠整備を計画的・集中的に行うとともに、金沢港周辺や河北潟周辺における浸水対策を強化します。また、遠隔操作システムやハザードマップアプリなどデジタル技術を活用した減災・水防対策を推進します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
計画的な 河川改修・雨水管渠の整備		推進	
金沢港周辺地区の 水防施設の整備		推進	
河北潟周辺地区の 排水機場等の再整備		推進	
遠隔操作システムの活用	システムのクラウド化		AIシステム検討・実装
ハザードマップアプリの 運用	拡充		

土砂災害対策の推進

激甚化する土砂災害に対応するため、土砂災害特別警戒区域内における市有がけ地の安全対策を計画的に実施します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
市有がけ地における 安全対策		推進	

水道施設等の強靭化

施設規模の適正化を図りながら水道施設等の耐震化を進め、安全・安心な生活環境の維持と、災害時ににおけるライフラインの確保を図ります。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
水道施設の耐震化推進		推進	
下水道施設の耐震化推進		推進	

除雪体制の強化

DXを活用した除雪管理システムの導入や、民間消雪施設の長寿命化を図り、除雪体制を強化します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
DXを活用した除雪体制の高度化	拡充		
民間消雪施設の長寿命化推進	検討		

消防・救急体制の強化

救急出動件数の増加に対応するため、救急隊の増隊を視野に救急救命士を養成するとともに、老朽化が進む消防庁舎の適正配置について検討します。また、消防団の充実強化を図るほか、市内の防火安全の推進のため、デジタルツールを活用した火災予防体制を強化します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
救急隊の増隊	日勤救急隊の新規配置 救命救急士の養成		
消防庁舎の適正配置の検討	検討		
消防団の充実強化【再掲】	拡充		
火災予防体制の強化	拡充		
消防指令センター 共同運用の拡大	検討		

民間活力を生かしたインフラマネジメントサイクルの構築

効率的かつ持続的なインフラマネジメントサイクルを構築するため、包括的民間委託の導入に向けた取組を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
道路・河川・公園の維持管理における包括的民間委託の導入	検討		

③ 都市施設の再編と跡地等の有効活用

公共施設等の適正配置

人口減少・少子高齢化等を踏まえ、庁舎等公共施設のあり方と適正な配置を検討します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
森本市民センターの再整備【再掲】	検討		
消防庁舎の適正配置の検討【再掲】	検討		

学校跡地等の利活用

統合や移転に伴う学校跡地について、立地特性や防災拠点としての機能を踏まえつつ、地域の活性化につながる利活用の方向性等を検討します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
新豊町小学校跡地の利活用	検討		
馬場小学校跡地の利活用	検討		
兼六小学校跡地の利活用	検討		
三谷小学校の跡地利活用【再掲】	検討		

新しい時代を見据えた市営墓地のあり方検討

墓地に対する市民の意識やニーズの変化を踏まえ、今後の市営墓地のあり方について検討します。

主要事業	前進期 (R6～7年度)	充実期 (R8～11年度)	発展期 (R12～15年度)
新たな納骨スタイルの検討	検討		

④ デジタル技術の活用や広域連携の強化による行政サービスの充実

DXによる市民の利便性向上と行政事務の効率化

市民サービスの質の向上と職員の負担軽減を図るため、マイナンバーカードの活用などによる行政窓口のデジタル化を拡充するほか、あらゆる業務におけるDXを推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
行政窓口のデジタル化の充実	書かない窓口の導入		
公金納付のデジタル化の拡充		機能拡充	
DXによる業務効率化	生成AIの導入		
自治体ポイント制度の導入検討	検討		

公共工事におけるICTの活用促進

建設業の担い手不足が懸念される中、公共工事の生産性や安全性、施工精度の向上を図るため、最新技術によるICT施工の導入を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
ICT施工の導入	モデル実施		拡充・本格実施

上下水道アセットマネジメントの推進

上下水道施設の点検・修繕等の維持管理情報を一元管理するアセットマネジメント支援システムを構築し、資産管理の効率化と更新需要の最適化を図ります。

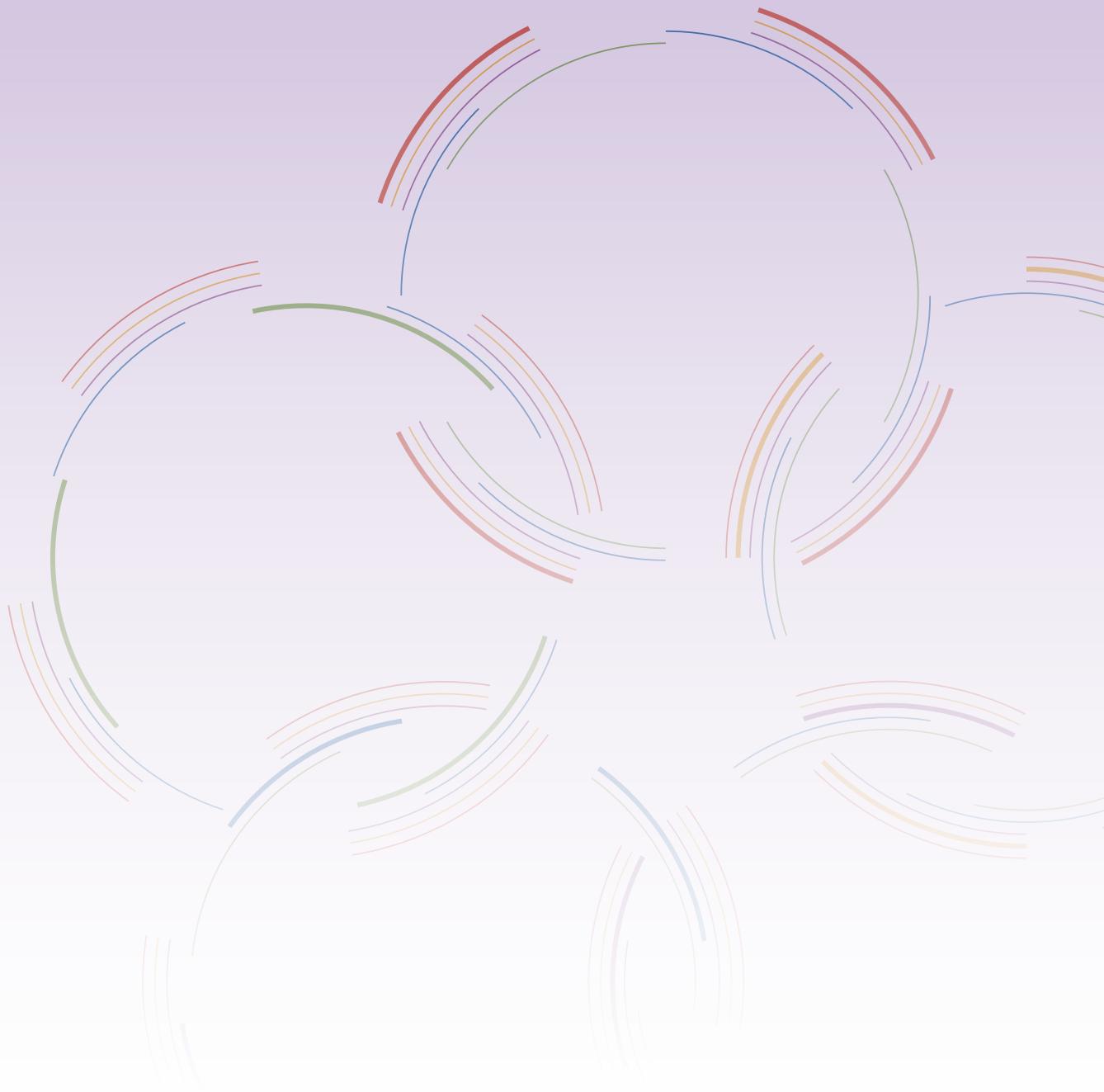
主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
アセットマネジメント支援システムの構築	システム構築		本格運用

石川中央都市圏域の連携強化

金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町の4市2町で構成する石川中央都市圏において、圏域の個性や強みを活用しながら、多様な分野における連携を推進します。

主要事業	前進期 (R6~7年度)	充実期 (R8~11年度)	発展期 (R12~15年度)
圏域全体の経済成長のけん引		推進	
高次の都市機能の集積・強化		推進	
圏域全体の生活関連機能サービスの向上		推進	

IV 令和6年能登半島地震を教訓とした 災害対応力の強化と 公共インフラの強靭化



令和6年能登半島地震を教訓とした災害対応力の強化と公共インフラの強靭化

市民の安全・安心の確保を図るため、令和6年能登半島地震の復旧・復興に取り組むとともに、その教訓を踏まえ、災害対応力の強化と公共インフラの強靭化を推進します。

令和6年能登半島地震からの復旧・復興

公共インフラの早期復旧を図るとともに、被災者の生活再建等を支援するほか、災害からの復興に向けた経済対策を実施します。

災害対応力の強化

■ 防災体制の強化

近年の自然災害の激甚化・頻発化を踏まえ、令和6年能登半島地震における対応を検証し、危機管理体制の強化を図るとともに、地域防災計画や避難所配置、備蓄状況などを見直し、市民の安全・安心の確保に向けた防災体制を強化します。

■ 消防・救急体制の強化

救急出動件数の増加に対応するため、救急隊の増隊を視野に救急救命士を養成するとともに、老朽化が進む消防庁舎の適正配置について検討します。また、消防団の充実強化を図るほか、市内の防火安全の推進のため、デジタルツールを活用した火災予防体制を強化します。

■ 地域の防災力の強化

地域の防災力の向上を図るため、市内校下(地区)すべてにおける地区防災計画の策定・見直しを推進するほか、コミュニティ防災士や消防団員の確保・育成に取り組みます。

■ 市民との協働による流域対策の強化

局地的な大雨等に伴う浸水被害を防ぐため、市民が行う雨水貯留浸透施設の設置を支援するほか、農業者との協働による「田んぼダム」の取組を推進するなど、市民との協働による流域対策を強化します。

■ 災害時医療救護体制の強化

大規模災害時に、迅速かつ的確な医療救護活動を展開するため、保健所と医療機関等との合同による初動訓練や研修会などを行い、関係機関の連携体制を強化するほか、市立病院での被災患者の受け入れや災害医療派遣チームの体制強化を図ります。

■ 感染症対策の強化・充実

感染症に関する専門人材を養成し、まん延の防止策の充実を図ります。

■ 既存建築物の耐震化促進と空き家対策の推進

木造住宅の耐震改修を一層促進するとともに、増加する空き家の抑制や活用・流通を促進します。



公共インフラの強靭化

■ 土砂災害対策の推進

激甚化する土砂災害に対応するため、土砂災害特別警戒区域内における市有がけ地の安全対策を計画的に実施します。

■ 総合治水対策の推進

河川改修や雨水管渠整備を計画的・集中的に行うとともに、金沢港周辺や河北潟周辺における浸水対策を強化します。また、遠隔操作システムやハザードマップアプリなどデジタル技術を活用した減災・水防対策を推進します。

■ 水道施設等の強靭化

施設規模の適正化を図りながら水道施設等の耐震化を進め、安全・安心な生活環境の維持と、災害時におけるライフラインの確保を図ります。

■ 除雪体制の強化

DXを活用した除雪管理システムの導入や、民間消雪施設の長寿命化を図り、除雪体制を強化します。

■ 民間活力を生かしたインフラマネジメントサイクルの構築

効率的かつ持続的なインフラマネジメントサイクルを構築するため、包括的民間委託の導入に向けた取組を推進します。

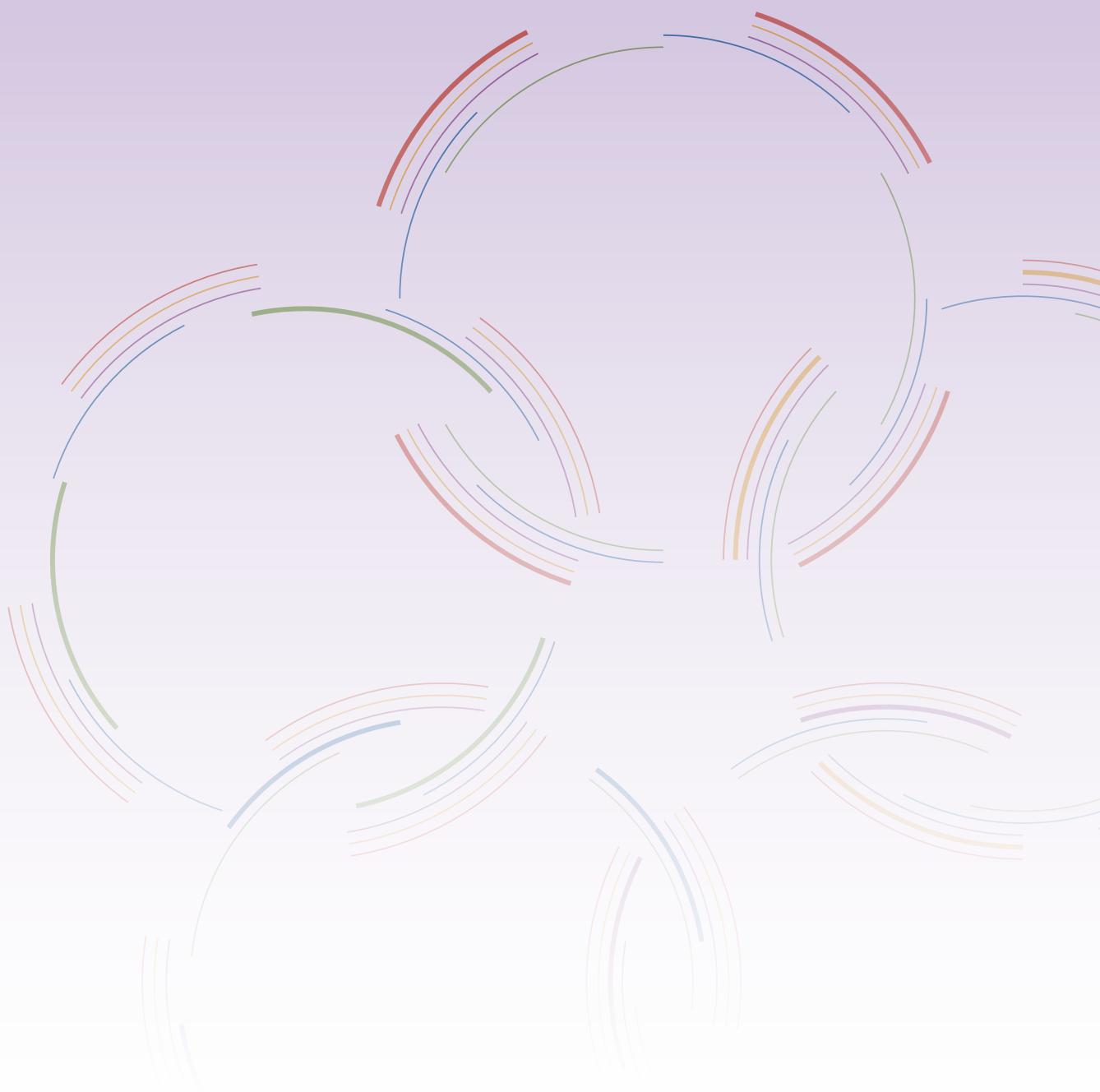
■ 上下水道アセットマネジメントの推進

上下水道施設の点検・修繕等の維持管理情報を一元管理するアセットマネジメント支援システムを構築し、資産管理の効率化と更新需要の最適化を図ります。

■ 老朽建築物の建替えの促進

防災性の向上と持続的なまちなかの発展を図るため、都心軸における老朽建築物の最適な更新手法を検討し、民間主導による建替えを促進します。

V KPI(重要業績評価指標)一覧



KPI(重要業績評価指標)一覧

基本方針	施策方針	指標	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)	最終目標値(R15年度)設定の考え方
基本方針 1 世界に誇る伝統と創造の文化が息づくまち ~魅力づくり~						
施策方針 1 誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実						
市民意識指標	文化芸術に触れたり体験したりする機会が多いと感じている市民の割合	85.3% (R5年度)	90%以上	90%以上を維持	高い水準の基準値を踏まえ、90%以上を目指す。	
施策指標	デジタルミュージアムのビュー数	R5年度運用開始	123,000ビュー	198,100ビュー	「金沢ミュージアム+」において、年間198,100ビューを目指す。	
	アーツカウンシル金沢の活動支援件数	93件 (R4年度)	195件	270件	基準値の約3倍の年間270件を目指す。	
	文化芸術活動場所の利用状況	96.5% (R4年度)	95%以上を維持		金沢市民芸術村の主要施設と金沢市俵芸術交流スタジオの主要貸施設において、高い水準の基準値を踏まえ、95%以上の維持を目指す。	
	市スポーツ施設の利用者数	221.4万人 (R1年度)	235.4万人	240.4万人	毎年度1万人程度の増加を図り、年間240万人以上を目指す。	
施策方針 2 歴史と伝統に培われた文化の継承・発展						
市民意識指標	伝統文化が受け継がれていると感じる市民の割合	62.4% (R5年度)	69%	75%	基準値の約2割増となる75%を目指す。	
施策指標	歴史的な建造物やまちなみが保全・活用されていると感じる市民の割合	89.6% (R5年度)	90%以上	90%以上を維持	高い水準の基準値を踏まえ、90%以上を目指す。	
	特定金澤町家の登録件数【累計】	171件 (R4年度までの累計)	290件	390件	毎年度20件程度の新規登録を図り、累計390件を目指す。	
	国・県・市指定文化財件数【累計】	568件 (R4年度までの累計)	580件	590件	毎年度2件程度の指定・登録を図り、累計590件を目指す。	
	「地域のお宝」認定件数【累計】	9件 (R4年度までの累計)	21件	31件	毎年度2件程度の認定を図り、累計31件を目指す。	
施策方針 3 まちの品格を高める新たな文化の創造						
市民意識指標	歴史・伝統・文化により、品格あるまちの魅力が向上していると感じる市民の割合	80.3% (R5年度)	84%	88%	基準値の約1割増となる88%を目指す。	
施策指標	文化芸術などを嗜む市民の割合	51.8% (R5年度)	57%	62%	基準値の約2割増となる62%を目指す。	
	文化・スポーツ大会の誘致件数	52件 (R4年度)	56件	61件	毎年度1件程度の増加を図り、年間61件を目指す。	
施策方針 4 世界の人々が憧れ滞在したくなる都市ブランド力の向上						
市民意識指標	住む人や訪れる人の、金沢の歴史・伝統・文化に対する理解が進んでいると感じる市民の割合	62.7% (R5年度)	69%	75%	基準値の約2割増の75%を目指す。	
施策指標	金沢の食文化や工芸の魅力が、世界に知られている、認められていると感じる市民の割合	62.2% (R5年度)	68%	75%	基準値の約2割増の75%を目指す。	
	年間宿泊客数	(日本人)	282万人 (R1年)	310万人	336万人	コロナ禍前の約2割増となる年間336万人を目指す。
		(外国人)	61万人 (R1年)	86万人	92万人	コロナ禍前の約5割増となる年間92万人を目指す。
	金沢旅行の満足度	(日本人)	95.3% (R4年度)	95%以上を維持		高い水準の基準値を踏まえ、95%以上の維持を目指す。
		(外国人)	97.4% (R1年度)	95%以上を維持		

基本方針	施策方針	指標	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)	最終目標値(R15年度)設定の考え方
------	------	----	-----	------------------	------------------	--------------------

基本方針 2 多様な人々が共生し、心豊かに暮らせるまち ~暮らし力づくり~

施策方針 1 多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成

市民意識指標	まちづくり活動や地域活動に参加する市民の割合	52.9% (R5年度)	58%	63%	基準値の約2割増となる63%を目指す。
	多様な主体との連携により取り組む地域コミュニティ活性化事業数	26事業 (R5年度)	40事業	40事業以上を維持	令和10年度までに毎年度3事業程度の追加を図り、年間40事業以上を目指す。
施策指標	町会加入世帯数	143,702世帯 (R4年度)	146,000世帯	148,000世帯	毎年度400世帯程度の増加を図り、148,000世帯を目指す。
	地域活動発信アプリを活用している校下(地区)数	40校下(地区) (R5年度)	62校下(地区) (R8年度)	-	令和8年度までに62校下(地区)すべてにおける導入を目指す。

施策方針 2 誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現

市民意識指標	性別、国籍、障害の有無などが異なる多様な人々が、共に暮らしやすいまちだと感じている市民の割合	34.9% (R5年度)	44%	52%	基準値の約5割増となる52%を目指す。
	地域福祉意識醸成講座の開催回数	3回 (R4年度)	11回	11回以上を維持	市内の善隣館11館すべてにおける講座の開催を目指す。
施策指標	重層的支援における支援プランを作成した世帯数	15世帯 (R4年度)	120世帯	120世帯以上を維持	令和10年度までに毎年度20世帯程度の増加を図り、年間120世帯以上を目指す。
	介護分野や障害福祉分野において口ボットやICTを活用し、生産性の向上を推進した事業所数【累計】	5事業所 (R4年度までの累計)	35事業所	60事業所	毎年度5事業所程度の新規導入を図り、累計60事業所を目指す。

施策方針 3 心身ともに健やかに暮らせる健康都市の推進

市民意識指標	夜間や休日において必要な医療サービスを受けられる環境が整っていると感じる市民の割合	57.2% (R5年度)	63%	69%	基準値の約2割増となる69%を目指す。
	文化芸術・スポーツ活動等を通じた心身の健康づくりに取り組む市民の割合	67.2% (R5年度)	74%	81%	基準値の約2割増となる81%を目指す。
施策指標	金沢市の健康寿命	平均寿命 男性:81.90 女性:87.52 健康寿命 男性:80.37 女性:84.43 (R4年)	平均寿命の増加を上回る 健康寿命の増加		未病対策の推進と健康を守る環境の整備や、文化芸術・スポーツ活動を通じた健康増進などにより、平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加を目指す。

施策方針 4 人と自然が共生する地球にやさしい生活環境の形成

市民意識指標	生活の中で地球環境に配慮している市民の割合	85.5% (R5年度)	90%以上	90%以上を維持	高い水準の基準値を踏まえ、90%以上を目指す。
	豊かな自然環境が保たれていると感じる市民の割合	83.4% (R5年度)	88%	90%以上	基準値の約1割増となる90%以上を目指す。
施策指標	温室効果ガス排出量	3,537千t-CO ₂ (H25年度)	2,000千t-CO ₂	1,488千t-CO ₂	2050年度の市内の温室効果ガス排出量の実質ゼロに向けて、基準値の約57%の削減となる年間1,488千t-CO ₂ を目指す。
	ごみの総排出量	146,993t (R4年度)	133,756t	132,025t	基準値の約1割の削減となる年間132,025tを目指す。

基本方針	施策方針	指標	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)	最終目標値(R15年度)設定の考え方
------	------	----	-----	------------------	------------------	--------------------

基本方針 3 共に学び、未来を創る人を育むまち ～人づくり～

施策方針 1 妊娠・出産から子どもの成長に合わせた切れ目のない支援

市民意識指標	子どもを産み育てやすい環境が整っていると感じる市民の割合	47.5% (R5年度)	59%	71%	基準値の約5割増となる71%を目指す。
施策指標	放課後児童クラブ受入児童数	5,369人 (R5年度)	適正数を確保 ※新たに「かなざわ子育て夢プラン」の策定に合わせて設定		待機児童の解消に向けた適正な受入児童数の確保を目指す。
	医療的ケア児の受け入れが可能な保育所等の施設数【累計】	R6年度開始	8施設	14施設	市内7区域ごとに1施設以上かつ市内全域で14施設を目指す。
	子育てや子どもの育ちに関する相談件数	10,495件 (R4年度)	11,190件	11,529件	基準値の約1割増となる年間11,529件を目指す。

施策方針 2 すべての子どもの可能性を引き出し生きる力を育む教育の実践

市民意識指標	すべての子どもにとって良好な教育環境が整っていると感じる市民の割合	47.9% (R5年度)	60%	72%	基準値の約5割増となる72%を目指す。
施策指標	「校内教育支援センター支援員」(旧「心と学びの支援員」)を配置する学校数	42校 (R5年度)	73校 (R7年度)	-	令和7年度までに全市立小中学校への支援員配置を目指す。
	特別教室の空調設備の設置率	42% (R4年度)	100% (R9年度)	-	令和9年度までに全特別教室への設置を目指す。

施策方針 3 学都の強みを生かした次代の担い手育成

市民意識指標	若い世代が金沢に愛着を持っていると感じる市民の割合	43.5% (R5年度)	54%	65%	基準値の約5割増となる65%を目指す。
施策指標	市政や社会参加に興味・関心がある市民の割合	44.9% (R5年度)	56%	67%	基準値の約5割増となる67%を目指す。
	若い世代が主体的に取り組むまちづくり企画の事業数【累計】	12事業 (R5年度)	75事業	147事業	毎年度12事業程度の実施を図り、累計147事業を目指す。

施策方針 4 学びの文化の形成と情操教育の推進

市民意識指標	地域の歴史や文化に興味がある市民の割合	48.8% (R5年度)	61%	73%	基準値の約5割増となる73%を目指す。
施策指標	市立図書館の年間利用者数	90万人 (R4年度)	95万人	100万人	毎年度1万人程度の増加を図り、年間100万人を目指す。
	文化芸術プログラムを実施する保育所等の施設数	90施設 (R5年度)	120施設	149施設	毎年度6施設程度の増加を図り、市内全施設での実施を目指す。
	「子ども塾」の修了者数【累計】	740人 (R4年度までの累計)	993人	1,194人	基準値の約6割増となる累計1,194人を目指す。

基本方針	施策方針	指標	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)	最終目標値(R15年度)設定の考え方
------	------	----	-----	------------------	------------------	--------------------

基本方針 4 創造・変革により成長するまち ~仕事づくり~

施策方針 1 地域経済をけん引する新たな産業の創出・育成

市民意識指標	金沢の産業が活性化していると感じる市民の割合	48.6% (R5年度)	53%	58%	基準値の約2割増となる58%を目指す。
施策指標	先端デジタル技術を活用し、新たに取り組む実証実験・社会実装の事業数【累計】	R5年度開始	12事業	22事業	毎年度2事業程度の実施を図り、累計22事業を目指す。
	創業支援事業計画に基づき支援した創業者数【累計】	954人 (H26~R4年度までの累計)	1,608人	2,153人	毎年度110人程度の創業を図り、累計2,153人を目指す。
	クリエイターやICTエンジニア等の誘致件数【累計】	7件 (R1~5年度までの累計)	12件	22件	令和10年度までは毎年度1件程度、以降は毎年度2件程度の誘致を図り、累計22件を目指す。

施策方針 2 あらゆる世代の多様な人材の活躍と働き方の推進

市民意識指標	働きがいや生きがいを感じている市民の割合	65.5% (R5年度)	72%	79%	基準値の約2割増となる79%を目指す。
施策指標	職場や家庭において、性別等に関わらず誰もが共に活躍できる環境が整っていると感じる市民の割合	48.2% (R5年度)	60%	72%	基準値の約5割増となる72%を目指す。
	はたらく人にやさしい事業所表彰企業数【累計】	67社 (R4年度までの累計)	107社	140社	毎年度6社程度の表彰を実施し、累計140社を目指す。
	海外交流事業への参加者数【累計】	16人 (R5年度までの累計)	111人	206人	毎年度20人程度の参加を図り、累計206人を目指す。
	中小企業におけるリスクリングへの支援件数【累計】	R5年度開始	25件	50件	毎年度5件程度の支援を図り、累計50件を目指す。

施策方針 3 にぎわいのある商業環境の形成とものづくり産業の継承・発展

市民意識指標	商店街に魅力や集客力があると感じる市民の割合	37.1% (R5年度)	46%	56%	基準値の約5割増となる56%を目指す。
施策指標	事業承継に寄与する取組への支援件数【累計】	R6年度開始	10件	20件	毎年度2件程度の支援を図り、累計20件を目指す。
	海外見本市出展等への支援件数【累計】	61件 (R4年度までの累計)	85件	105件	毎年度4件程度の支援を図り、累計105件を目指す。
	工芸工房の開設・改修への支援件数【累計】	28件 (R4年度までの累計)	47件	62件	毎年度3件程度の支援を図り、累計62件を目指す。

施策方針 4 次代につなぐ魅力ある農林水産業の振興

市民意識指標	地元農水産物が、金沢の誇れる地域資源だと感じている市民の割合	82.6% (R5年度)	87%	90%以上	基準値の約1割増となる90%以上を目指す。
施策指標	金沢農業大学校修了生の就農者数【累計】	114人 (R4年度までの累計)	158人	193人	毎年度7人程度の就農を図り、累計193人を目指す。
	スマート農業機械の導入支援台数【累計】	R6年度開始	60台	100台	市内の認定農業者(240経営体・令和5年現在)の1/3以上への普及に向けて、累計100台を目指す。
	金沢産材の供給量	8,000m ³ (R4年度)	13,000m ³	14,000m ³ 以上	基準値の約75%増となる14,000m ³ 以上を目指す。
	中央卸売市場の年間取扱数量	123,889t (R4年度)	150,000t	150,000t以上	再整備基本構想に定める取扱数量150,000t以上の実現を目指す。

基本方針	施策方針	指標	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)	最終目標値(R15年度)設定の考え方
------	------	----	-----	------------------	------------------	--------------------

基本方針 5 活力と個性があふれ、安全で持続可能なまち ~都市づくり~

施策方針 1 魅力あふれる中心市街地の活性化

市民意識指標	中心市街地に魅力を感じている市民の割合	60.7% (R5年度)	67%	73%	基準値の約2割増となる73%を目指す。
施策指標	中心商店街エリアの来街者数	57,639人 (R5年度)	上昇 ※「中心市街地活性化基本計画」の数値目標の変更に合わせて設定		骨格となる都心軸の再興や、多様な文化活動と地域経済が循環する中心市街地の形成などにより、来街者(10歳代以上、外国人旅行者を除く)の増加を図る。
	老朽ビルの更新率(片町エリア)	29% (R4年度)	32%	38%	片町1丁目交差点から犀川大橋における新耐震基準(S56年以降の建築)の建物の割合について、基準値の約3割増となる38%を目指す。

施策方針 2 歴史や自然と調和した都市景観の形成

市民意識指標	美しい都市景観が形成されていると感じる市民の割合	80.6% (R5年度)	85%	89%	基準値の約1割増となる89%を目指す。
	まちなかに緑や自然が多いと感じている市民の割合	79.9% (R5年度)	84%	88%	基準値の約1割増となる88%を目指す。
施策指標	計画路線における無電柱化の実施率	- (R5年度)	30%	76%	金沢方式無電柱化推進実施計画に掲げる「整備中路線4路線(2.04km)」及び「早期着手路線5路線(2.04km)」について、延長の約76%を占める8路線(3.1km)の完成を目指す。

施策方針 3 人と活力の還流による地域の再生

市民意識指標	多様な人々の交流・活躍により、地域が元気になっていると感じる市民の割合	43.6% (R5年度)	55%	65%	基準値の約5割増となる65%を目指す。
施策指標	県市の施策を活用した県外からの移住者数【累計】	506人 (R4年度までの累計)	680人	830人	毎年度30人程度の移住を図り、累計830人を目指す。
	地域おこし協力隊の受入隊員数【累計】	4人 (R4年度までの累計)	14人	21人	中山間地域においては隔年で1人程度、中山間地域以外においては毎年度1人程度の受入れを図り、累計21人を目指す。

施策方針 4 市民生活を支える交通ネットワークの確保

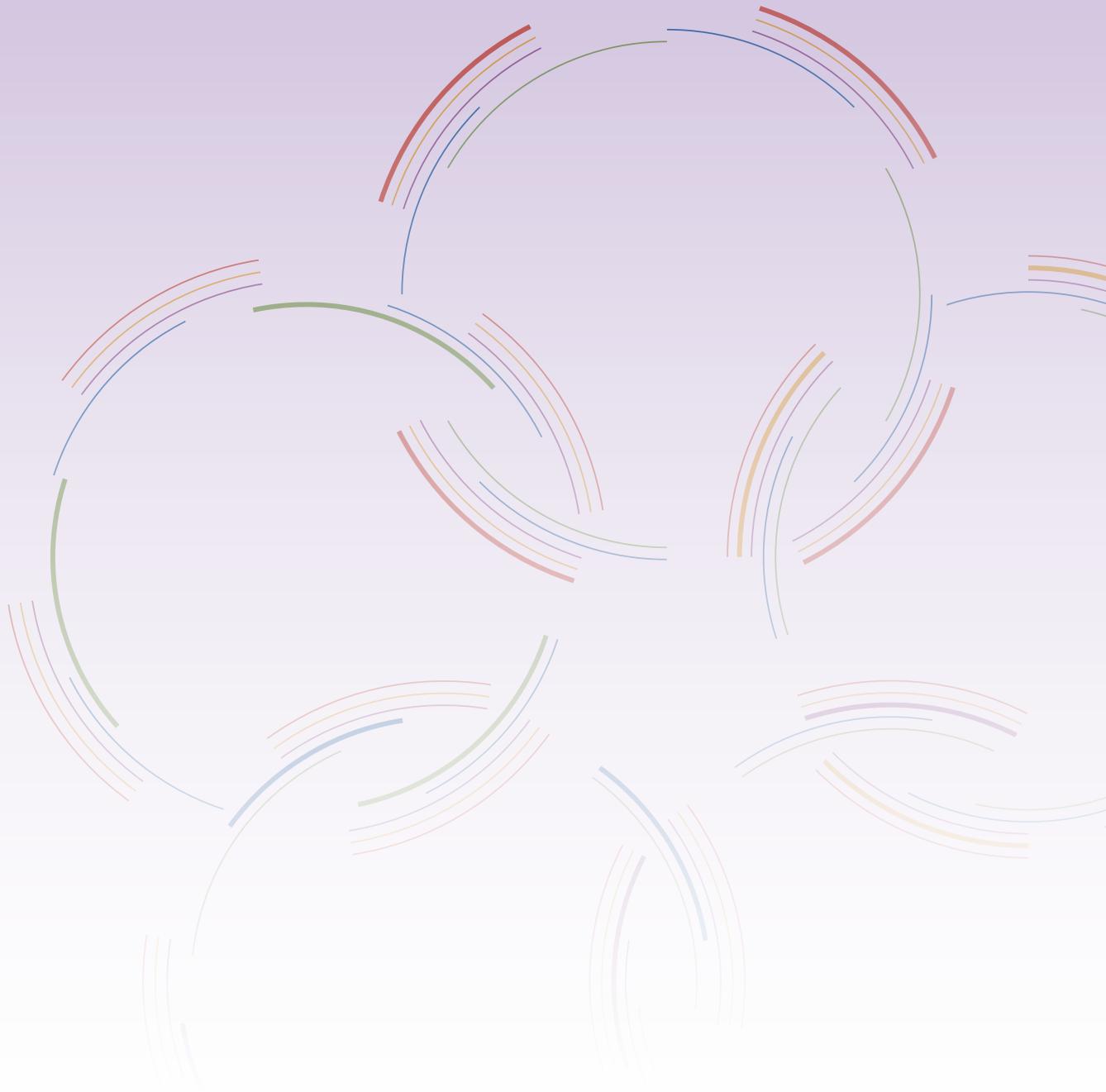
市民意識指標	市内の多様な公共交通の利用環境が良いと感じている市民の割合	39.7% (R5年度)	50%	60%	基準値の約5割増となる60%を目指す。
施策指標	公共交通の利用者数	86,073人/日以上 (R3年度)	124,400人/日以上	130,000人/日以上	基準値の約5割増となる130,000人(1日あたり)を目指す。
	シェアサイクル「まちのり」の利用者の満足度	94.6% (R5年度)	95%以上を維持		高い水準の基準値を踏まえ、95%以上を目指す。

施策方針 5 災害に強く効率的で質の高い都市運営の実践

市民意識指標	災害時に地域で支え合える体勢が整っていると感じる市民の割合	27.8% (R5年度)	35%	42%	基準値の約5割増となる42%を目指す。
	安全で、安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合	80.2% (R5年度)	84%	88%	基準値の約1割増となる88%を目指す。
	行政サービス等におけるデジタル化が進んでいると感じる市民の割合	35.3% (R5年度)	60%	70%	基準値の約2倍となる70%を目指す。
施策指標	地区防災計画を策定した校下(地区)数【累計】	39校下(地区) (R4年度までの累計)	62校下(地区) (R8年度)	-	令和8年度までに62校下(地区)すべてにおける策定を目指す。
	コミュニティ防災士の新規登録者数【累計】	1,382人 (R4年度までの累計)	1,800人	1,800人以上を維持	1町会当たり1人以上の防災士の配置に向けて、毎年度100人程度の育成・新規登録を図り、累計1,800人以上を目指す。
	石川中央都市圏における連携事業【累計】	95事業 (R5年度)	110事業	125事業	毎年度新たに3事業の連携を図り、累計125事業を目指す。

VI 持続可能な開発目標

Sustainable Development Goals



持続可能な開発目標

Sustainable Development Goals

SDGsとは？

平成27(2015)年9月、国連サミットで採択された2030年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)と169のターゲット(具体目標)から構成されています。

地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓い、発展途上国のみならず、先進国自身の普遍的な取組を推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



金沢SDGsの推進

1 「金沢SDGs5つの方向性」「金沢ミライシナリオ」

- 金沢で効果的にSDGsを進めるため、金沢独自の目標である「金沢SDGs5つの方向性」を平成31(2019)年に策定し、その翌年の令和2(2020)年には、行動計画「金沢ミライシナリオ」を策定。多様な主体と共に総合的かつ効果的に取組を推進しています。

2 IMAGINE KANAZAWA 2030

- 持続可能な金沢をパートナーシップで実現するプロジェクト。市民、地域、NPO、企業、行政など様々な主体が集まり、今、金沢が抱えている問題と一緒に考え、解決に向けて対話を重ねていく場を提供しています。



3 「SDGs未来都市」・「自治体SDGsモデル事業」

- 令和2(2020)年7月に内閣府より「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されています。
- 「金沢市第2期SDGs未来都市計画」(計画期間:令和5(2023)年度～令和7(2025)年度)を策定し、取組を推進しています。

SDGs 17のゴール

 <p>1 貧困をなくそう</p>	<p>貧困をなくそう</p> <p>あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる</p>	 <p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>飢餓をゼロに</p> <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>
 <p>3 すべての人に健康と福祉を実現しよう</p>	<p>すべての人に健康と福祉を</p> <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>質の高い教育をみんなに</p> <p>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う</p>	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>安全な水とトイレを世界中に</p> <p>すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>働きがいも経済成長も</p> <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p>
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>強靭(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>人や国の不平等をなくそう</p> <p>国内及び各国家間の不平等を是正する</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>住み続けられるまちづくりを</p> <p>包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	 <p>12 つくる責任つかう責任</p>	<p>つくる責任つかう責任</p> <p>持続可能な消費生産形態を確保する</p>
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>気候変動に具体的な対策を</p> <p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>海の豊かさを守ろう</p> <p>持続可能な開発のために、海・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>
 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>陸の豊かさも守ろう</p> <p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>平和と公正をすべての人に</p> <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的に説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>
 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>	<p>※内閣府地方創生推進事務局「地方創生に向けた自治体SDGsの推進について」抜粋</p>	

S
D
G
S

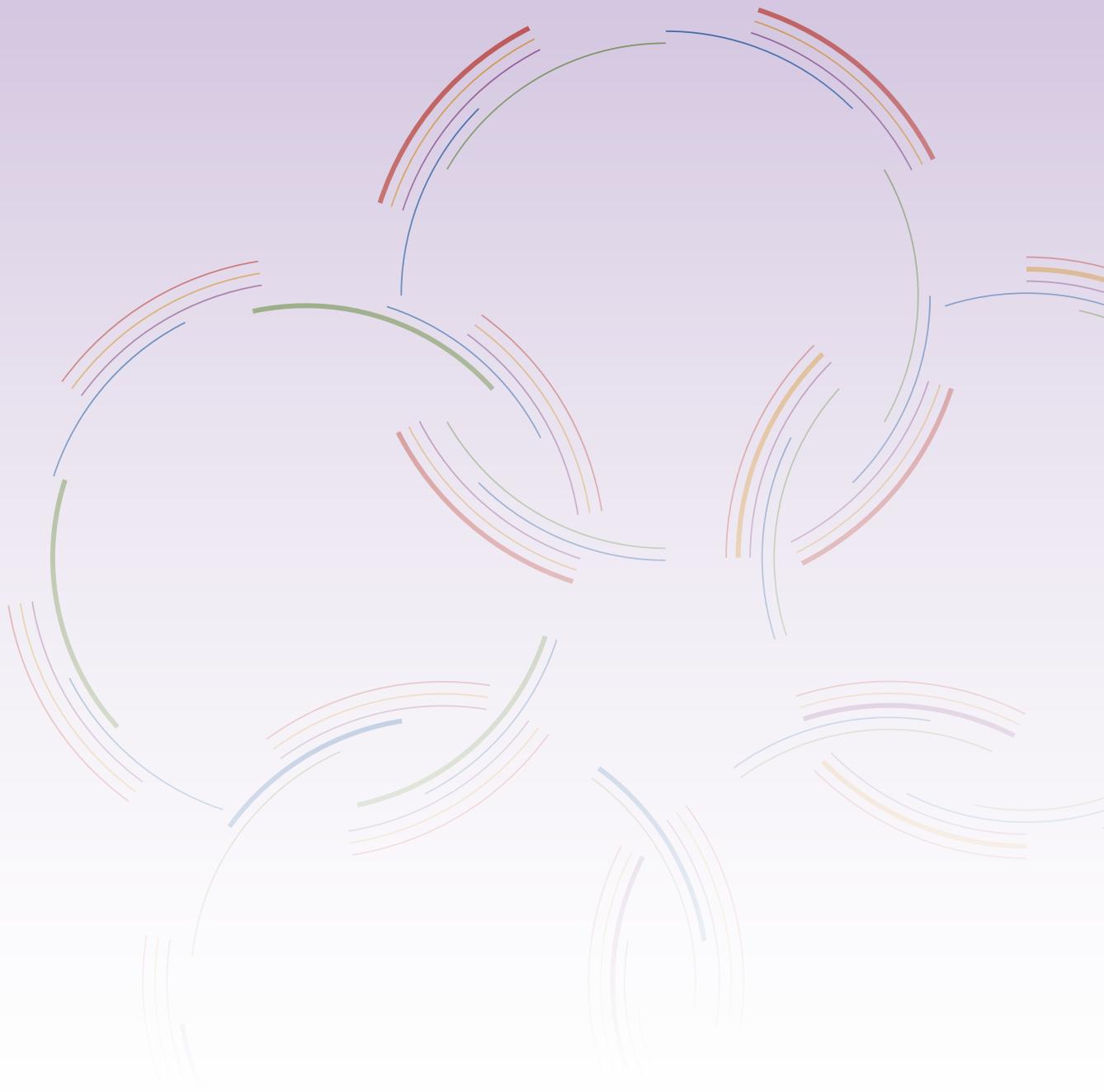
資料編

策定経過

市民や多様な主体からの意見聴取【令和4年度の取組】

策定に向けた検討【令和5年度の取組】

用語解説



策定経過

新たな都市像（金沢市都市像）の策定に向け、令和4年度は、シンポジウムや市民参加型のワークショップ、地域団体や各種団体との意見交換会などを通して、市民や多様な主体から、今後のまちづくりに関する意見の聴取に取り組みました。

令和5年度は、有識者や関係団体で構成する「新たな都市像検討委員会」を設置し、令和4年度に聴取した意見を踏まえつつ、策定に向けた検討を本格化するとともに、市長を本部長とする「新たな都市像庁内策定本部」を立ち上げ、検討委員会での議論の進捗に合わせて、都市像の実現に向けた行動計画（未来共創計画）の策定も見据えた施策等に関する検討を進めました。

開催日	内 容
令和4年 8月 5日	「10年後の金沢を考えるシンポジウム」開催
8月 5日～令和5年 2月10日	市民向けアンケート調査 実施
8月27日～11月30日	地域団体との意見交換 「金沢の未来を語るまちづくりミーティング」計9回 開催 「金沢の未来を語る会」計4回 開催
9月 1日	「未来へつなぐ金沢行動会議」設置
10月15日～令和5年 2月25日	「10年後の金沢を考えるワークショップ」 テーマごとに計5回 開催
令和5年 1月16日	各種団体との意見交換「10年後の金沢を考える市長講話会」開催
1月16日～ 2月10日	各種団体向けアンケート調査 実施
3月24日	新たな都市像検討委員会 準備会合 開催
4月19日	第1回 新たな都市像庁内策定本部会議 開催
4月26日	第1回 新たな都市像検討委員会 開催
5月16日～ 5月23日	新たな都市像検討委員会 テーマ別意見交換 テーマごとに計5回 開催
5月26日	市長と若手職員による金沢の未来を語る会 開催
7月14日	第2回 新たな都市像検討委員会 開催
7月28日	第2回 新たな都市像庁内策定本部会議 開催
8月17日	第3回 新たな都市像検討委員会 開催
8月29日	第3回 新たな都市像庁内策定本部会議 開催
8月30日	新たな都市像検討委員会からの素案の提言
10月 4日～11月 2日	新たな都市像（素案）についてのパブリックコメント 実施
10月16日	第4回 新たな都市像庁内策定本部会議 開催
10月25日～26日	地域団体への新たな都市像（素案）説明会 計2回 開催
11月10日～11月30日	行動計画の策定に向けた市民意識アンケート調査 実施
11月21日	第5回 新たな都市像庁内策定本部会議 開催
12月 1日	「金沢市都市像の策定について」 令和5年度金沢市議会12月定例月議会に上程
12月15日	「金沢市都市像の策定について」議決
令和6年 2月16日	第6回 新たな都市像庁内策定本部会議 開催
2月21日	「未来共創計画」策定

市民や多様な主体からの意見聴取 【令和4年度の取組】

(1) 10年後の金沢を考えるシンポジウム

新たな都市像の策定に向けた議論のキックオフとして、文化芸術がまちづくりに果たす役割などについて考えるシンポジウムを開催しました。

開催日時：令和4年8月5日

会 場：金沢市アートホール

構 成：【第1部】 市長講演 「親和力で奏でる金沢」
村山 卓 市長

【第2部】 基調講演 「文化によるまちづくり」

湯浅 真奈美 氏

(ブリティッシュ・カウンシル 東アジア地域アーツ部門ディレクター)



【第3部】 トークセッション 「文化でつなぐ金沢の未来」

パネリスト 林田 堅太郎 氏

(私設現代アート美術館「KAMU kanazawa」館長)

宮永 春香 氏(美術家、金沢美術工芸大学准教授)

湯浅 真奈美 氏

村山 卓 市長

コーディネーター 大場 吉美 氏(金沢学院大学名誉教授)

来場者数：220人

動画配信：約2,000回視聴(令和5年3月時点)



(2) 地域団体との意見交換

各地域団体の皆様と、10年後の金沢の未来像について、市長との意見交換会を開催しました。

①「金沢の未来を語る まちづくりミーティング」

対象: 市内の各校下(地区)町会連合会

開催回数: 地域ブロック別に計9回開催

参加者数: 計213人

開催日	対象校下(地区)
令和4年 8月27日	野町、弥生、中村町、十一屋、泉野、長坂台、新豊町、菊川
8月31日	三馬、米泉、富樫、伏見台、額、四十万、扇台
9月 3日	馬場、浅野町、森山、小坂、千坂、夕日寺
9月10日	材木、味噌蔵、長町、松ヶ枝、長土塀、芳斎、此花、瓢箪
10月 8日	米丸、新神田、押野、西南部、三和
10月12日	諸江、浅野川、鞍月、粟崎、川北、大浦
10月15日	長田町、戸板、西、二塚、安原、大徳、金石町、大野町
11月19日	森本、花園、湖南、薬師谷、三谷
11月30日	小立野、崎浦、内川、犀川、湯涌、田上、東浅川、俵、医王山

②「金沢の未来を語る会」

対象: 金沢市公民館連合会、金沢市校下婦人会連絡協議会

開催回数: 計4回開催(令和4年9月20日、11月1日、11月10日、11月15日)

参加者数: 計61人



(3) 10年後の金沢を考えるワークショップ

5つのテーマごとに、今後のまちづくりのアイデアや方向性を考える市民参加型のワークショップを開催しました。

対象: 18歳以上で、金沢市内に在住又は通勤・通学されている方(一般公募)

会場: 金沢未来のまち創造館

参加者数: 計90人

	テーマ	アドバイザー
令和4年 10月15日	暮らしづくり	須田麻佑子氏 ((一社)Try Angle 代表、金沢市移住者ネットワークメンバー)
11月13日	人づくり	長谷川由香氏 (子育て向上委員会 代表、(株)アスタリスク 代表取締役)
12月17日	魅力づくり	本山 陽子氏 (galleria PONTE 代表、KOGEI Art Fair Kanazawa 実行委員会副委員長)
令和5年 1月21日	仕事づくり	金間 大介氏 (金沢大学融合研究域融合科学系 教授、東京大学未来ビジョン研究センター 客員教授)
2月25日	都市づくり	宮下 智裕氏 (金沢工業大学建築学部建築学科 教授)



(4) 未来へつなぐ金沢行動会議

若い世代が金沢のまちに愛着を持つとともに、まちづくりへの積極的な参画を促すため、18歳以上40歳未満の公募委員により設置した「未来へつなぐ金沢行動会議」において、未来の金沢への思いや、住み続けたいまちの姿などについてワークショップを実施しました。

委員数: 28人(学生8人、社会人20人)



(5) 各種団体との意見交換

市内の各種団体の皆様を対象に、「10年後の金沢を考える市長講話会」を開催し、今後のまちづくりに関する意見交換を実施しました。

開催日: 令和5年1月16日

会場: 金沢商工会議所

参加団体: 58団体

(6) アンケート調査の実施

今後のまちづくりに関する意見について、広くアンケート調査を実施しました。

①市民向けアンケート調査

期間: 令和4年8月5日～2月10日

調査方法: •前述のシンポジウム、ワークショップ及び地域団体との意見交換の参加者や、県内大学に通学する学生に回答を依頼

•ホームページにて募集

回答方法: 会場での回収、郵送、インターネット

回答者数: 1,782人

②各種団体向けアンケート調査

期間: 令和5年1月16日～2月10日

調査方法: 各種団体との意見交換の参加団体に回答を依頼

回答方法: 会場での回収、郵送、インターネット

回答者数: 52団体

策定に向けた検討 【令和5年度の取組】

(1) 新たな都市像検討委員会

有識者や関係団体で構成する「新たな都市像検討委員会」を設置し、令和4年度に聴取した今後のまちづくりなどに関する意見を踏まえつつ、新たな都市像の策定に向けた検討を進めました。

①構成等

設置根拠: 新たな都市像検討委員会設置要綱

設置期間: 令和5年4月1日～令和6年3月31日

委員名簿

※敬称略、五十音順

氏名	役職等
安宅 建樹	金沢商工会議所 会頭
出原 立子	金沢工業大学 情報フロンティア学部学部長／メディア情報学科 教授
砂塚 隆広	一般社団法人金沢経済同友会 代表幹事
諫訪 貴子	ダイヤ精機株式会社 代表取締役／内閣官房 新しい資本主義実現会議 委員
高柳 晃一 (桶川 秀志)	金沢市社会福祉協議会 会長
竹上 勉	金沢市公民館連合会 会長
田邊 俊治	金沢学院大学 教育学部教育学科 教授
谷口 亮輔	未来へつなぐ金沢行動会議 代表
道地 慶子	石川工業高等専門学校 副校長／建築学科 教授
中川 一成	金沢市町会連合会 会長
中谷 陽	金沢まちづくり学生会議 代表
能木場 由紀子	金沢市校下婦人会連絡協議会 会長
八田 誠	一般社団法人金沢市観光協会 副理事長
松永 浩行	独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 副本部長
眞鍋 知子	金沢大学 融合研究域融合科学系 教授
矢ヶ崎 紀子	東京女子大学 副学長／現代教養学部国際社会学科 教授
山崎 剛	金沢美術工芸大学 学長
吉田 仁 (久保 幸男)	一般財団法人石川県芸術文化協会 理事長
委員長 和田 隆志	金沢大学 学長

() は前任者

②会議

開催日	内 容 等	
令和5年 3月24日	準備会合	・新たな都市像の策定に向けて ・令和4年度の取組について ・新たな都市像検討委員会の設置について
4月26日	第1回会議	・10年後の金沢に向けた意見交換
5月16日 16日 17日 18日 23日	テーマ別意見交換 ①都市づくり ②暮らしづくり ③人づくり ④仕事づくり ⑤魅力づくり	テーマごとに関係する委員、若い世代の代表者及び担当課の職員が参加し、意見交換 ・未来を見据えた10年後の金沢の将来像と具現化に向けた取組・施策の方向について
7月14日	第2回会議	・新たな都市像の構成案について
8月17日	第3回会議	・新たな都市像の素案について



③提言

委員長より市長へ、新たな都市像の素案について提言をいただきました。

提 出 日：令和5年8月30日



(2) 新たな都市像庁内策定本部

市長を本部長とする「新たな都市像庁内策定本部」を立ち上げ、検討委員会での議論の進捗に合わせて、都市像の実現に向けた行動計画（未来共創計画）の策定も見据えた施策等に関する検討を進めました。

設置根拠: 新たな都市像庁内策定本部設置要綱

設置期間: 令和5年4月1日～令和6年3月31日

構 成: 本部長: 市長 副本部長: 両副市長

本部員: 都市政策局長、総務局長、文化スポーツ局長、経済局長、農林水産局長、市民局長、福祉健康局長、こども未来局長、環境局長、都市整備局長、土木局長、危機管理監、会計管理者、教育長、消防長、公営企業管理者、市立病院事務局長

事務局: 企画調整課



(3) 市長と若手職員による金沢の未来を語る会

若い世代の視点を積極的に取り入れるべく、未来を見据えた10年後の金沢の将来像をテーマに、市長と本市若手職員による意見交換を実施しました。

開催日: 令和5年5月26日

参加者: 市長、各局の若手職員(11人)



(4) 市民の意見の反映

①パブリックコメントの実施

案 件: 新たな都市像(素案)について
期 間: 令和5年10月4日～11月2日
提出方法: メール、郵送、ファクシミリ又は窓口へ持参
意 見 数: 110件(意見者数32人)

②新たな都市像(素案)説明会の開催

各地域団体の皆様を対象に、新たな都市像(素案)についての説明会を開催しました。

○金沢市町会連合会

開 催 日: 令和5年10月25日
参加人数: 57人

○金沢市公民館連合会及び金沢市校下婦人会連絡協議会

開 催 日: 令和5年10月26日
参加人数: 26人

③市民意識アンケート調査の実施

新たな都市像の実現に向けた行動計画(未来共創計画)の策定に当たり、計画のKPIの設定に必要なアンケート調査を実施しました。

調査期間: 令和5年11月10日～30日
対 象: 満18歳以上の市内在住者
標 本 数: 5,000人(住民基本台帳から無作為抽出)
調査方法: 郵送による調査票の配付
回答方法: 郵送、インターネット
回答者数: 1,975人

用語解説

IoT (Internet of Things)	パソコンやスマートフォンに限らず、センサー、家電、車など様々なモノがインターネットでつながること。
ICT (Information and Communication Technology)	情報処理及び通信技術の総称。
アウトサイダー・アート・プロジェクト	アウトサイダー・アートとは、日本においては、知的障害や精神障害のある人たちで優れた美術センスを持ち、何物にもとらわれず自分の感性だけで創作表現した美術のことをいう。金沢市では、そのような障害のある人たちの作品を社会に認知・評価をしてもらうためのプロジェクトに取り組んでいる。
アウトリーチ	手を伸ばすという意味。アーツカウンシル金沢では、学校や施設等に出向いてコンサート等を行うことで、音楽をはじめとする各種芸術活動に触れあう機会を提供している。
アクティブシニア	趣味やスポーツなどの活動、これまでの知識や経験を活かした地域活動やボランティア活動、就労など様々な活動に意欲的に取り組む高齢者。
アセットマネジメント	既存ストックを資産としてとらえ、資産管理の効率的な運用を行うこと。公共事業により整備された施設などの維持管理、補修を効率的に行うことで、施設劣化をコントロールして、施設全体に発生する経費の平準化などを行う。
アンコンシャスバイアス	無意識の思い込み。誰もが潜在的に持っている思い込みのこと。育つ環境、所属する集団の中で無意識のうちに脳にきざみこまれ、既成概念、固定観念となっていく。
インクルーシブ	包み込むような、包摂的なという意味であり、「ソーシャル・インクルージョン」(社会的包摂)という言葉から来ている。あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み、支え合うという社会政策の理念を表す。インクルーシブ保育は、年齢や性別、障害の有無等に関わらず、境遇の違う子どもを分け隔てなく保育すること。
インバウンド	外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。
AI (Artificial Intelligence)	人工知能のことで、人間がコンピューターに対してあらかじめ分析上注目すべき要素をすべて与えていなくとも、コンピューター自らが学習し、一定の判断を行うことなどが可能となる。
ACP (Advance Care Planning)	人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組。人生会議ともいう。ACPファシリテーターとは、本人の価値観や意向、人生の目標に一致した医療・ケアの意思決定を実現するために、本人、家族等、医療・ケアチームと協働し、本人中心の意思表明や意思決定のための対話を促進する熟練した医療・ケア提供者らである。

SNS (Social Networking Service)	登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと。
SDGs (Sustainable Development Goals)	持続可能な開発目標。2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。
エリアリノベーション	特定のエリアにおいて、良好な環境やエリアの価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組。
金沢AIビレッジ	金澤町家や中心市街地の建物等にクリエイター等の事業所が集積するもの。
金沢版DMO (DMO:Destination Management Organization)	金沢市観光協会を中心とした、金沢ならではの旅行商品づくりや戦略的なプロモーション、人材の育成、民間手法を活用したマーケティングに取り組む観光地域づくりの推進組織。
金澤町家	本市の歴史・伝統・文化を伝える昭和25年以前の建築物で、伝統的な構造・形態・意匠を有するもの。
関係人口	移住した「定住人口」と観光に訪れる「交流人口」の間に位置付けられる概念で、地域と多様に関わる人々を指す。
GIGAスクール環境 (GIGA:Global and Innovation Gateway for All)	国のGIGAスクール構想に伴い、1人1台学習用端末と高速大容量の通信ネットワークが整備された環境。
クラウドファンディング	不特定多数の人が、インターネット等を通じて、他の人々や会社、各種団体に資金提供などを行うこと。
コンソーシアム	2つ以上の個人、企業、団体、政府(あるいはこれらの任意の組合せ)から成る団体であり、共同で何らかの目的に沿った活動を行ったり、共通の目標に向かって資源を蓄える目的で結成される。
GX (Green Transformation)	産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体の変革を行うこと。
シビックテック	市民自らがテクノロジーを活用して地域課題を解決しようとする取組や考え。Civic(市民)とTech(テクノロジー)をかけあわせた造語。
スマートワーク	ICTを活用した、場所や時間に縛られない柔軟な働き方。
ゼロカーボンシティ	2050年に温室効果ガスの排出量又は二酸化炭素を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らが又は地方自治体として公表された地方自治体。
DX (Digital Transformation)	データとデジタル技術を活用して様々なサービスを変革すること。

ドローン	遠隔操作または自動操縦により飛行させることができる無人航空機のこと。
ナイトタイムエコノミー	18時から翌日朝6時までの活動を指し、地域の状況に応じた夜間の楽しみ方を拡充し、夜ならではの消費活動や魅力創出をすること。
ハザードマップ	災害想定区域や避難場所、避難情報の伝達経路、過去の災害実績などを住民にわかりやすく示した図。
フレイル	年齢とともに心身の活力（筋力や認知機能など）が低下して要介護状態に近づくこと。
MaaS (Mobility as a Service)	地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもののこと。
未病	発病には至らないものの健康な状態から離れつつある状態。自覚症状はなくても検査で異常がみられる場合と、自覚症状があっても検査では異常がない場合に大別される。
モビリティハブ	鉄道・バス・タクシー・地域運営交通・シェアサイクル・自動車などの多様な交通モードとの接続・乗継拠点。
ヤングケアラー	本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがある。
UJターン	次の3つの人口還流現象の総称。 Uターン：出身地から進学や就職のため大都市等に転出した後に、再び出身地に戻ること。 Jターン：出身地から進学や就職のため大都市等に転出した後に、出身地に近い地域などに移住すること。 Iターン：就職のため出身地以外の地域に移住すること。
ユニバーサルデザイン	すべての人（身体機能、場所、時間、コンピューター環境、あらゆる状況・環境のユーザー）の利用を想定し、設計されたデザイン。
リスキリング	新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要な技術・能力を獲得する（させる）こと。
リモートワーク	オフィスから離れた遠隔地で働く勤務形態。在宅勤務やテレワークとも呼ばれる。

未来を拓く世界の共創文化都市・金沢
～すべての人々と共に、心豊かで活力ある未来を創る～

未来共創計画

発行年月 令和6(2024)年2月

発行者 金沢市

企画・編集 都市政策局 企画調整課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL 076-220-2031 FAX 076-264-2535

E-mail kikaku@city.kanazawa.lg.jp

